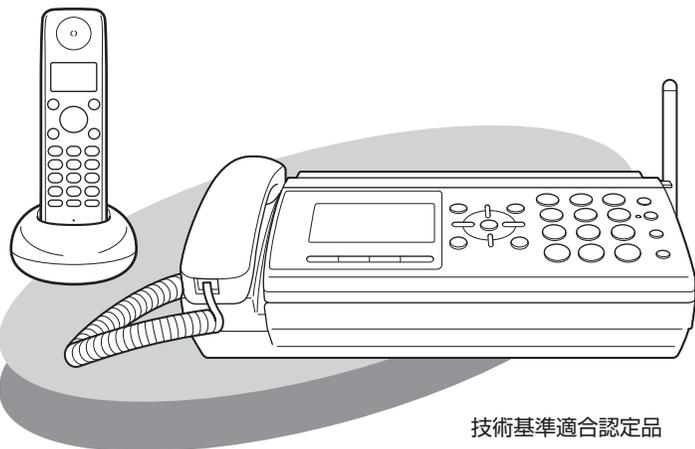




NTTFAX P-721NDw/ P-721ND 取扱説明書



技術基準適合認定品

ND ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ



ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

Ni-MH

このたびは、NTTFAX P-721NDw/P-721NDをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
ご使用前に「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(P.2~10)を必ずお読みください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手元に置いてお使いください。

- ・設置／接続方法
- ・日付／回線種別の設定

準備

- ・基本操作
(電話、ファクス、コピー、留守番電話)

かんたんに使う

- ・電話帳登録
- ・さかのぼり録音
- ・メモリ代行受信
- ・ナンバー・ディスプレイ

べんりらに使う

- ・着信モード
- ・ベル音の調整
- ・リストのプリント

さらに使いやすくする

- ・ネットワーク機能の設定と操作

※パソコンとの連携機能については、添付CD-ROM内の「ネットワークガイド」もあわせてご覧ください。

ネットワーク機能を使う

- ・困ったときは (Q&A)
- ・お手入れのしかた
- ・消耗品／別売品のご案内

こんなときは

- ・主な仕様
- ・操作早わかりガイド
- ・機能設定／登録早見表

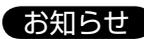
付録

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

■本書中のマークの説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項や、知っておくと便利な内容を示しています。

■ご使用にあたって

- 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品は、お買い求め時には国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 本商品と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 電話交換局から遠距離の場合にはお使いになれないことがありますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの 116 番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、ご連絡をいただいた日をもって「機器使用料」は不要となります。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（→P.132）に従って消去願います。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子が接触しないように、端子にテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。

■商標について

- Windows[®]、Internet Explorer[®]、Windows Vista[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

電池パックのお取り扱いについて



- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 電池パックの充電は、本商品に装着し専用の充電器を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス・マイナスの向きが決められています。子機に装着するときは、端子の向きを確かめて入れてください。まちがった入れかたをすると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックのコネクタの赤(プラス)・黒(マイナス)を針金などの金属類で接触しない(ショートさせない)でください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品に付属の子機専用です。付属の子機以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・ 直接はんだ付けしない。
 - ・ プラス・マイナスを針金などの金属類で接触しない。
 - ・ 外装チューブ(被覆)をはがしたり、傷つけない。
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し、使用を中止してください。



- 子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、電池パックを交換してください。長期間電池パックを装着したままでご使用になると、液もれによるトラブルが発生する場合があります。
- むれた手で電池パックを交換しないでください。感電の原因となることがあります。



- 電池パックは、直射日光の強いところや高温多湿の場所での使用、保管は避けてください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックの充電温度範囲は5℃～35℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれや発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。電池パックの液がもれたり、発熱・破裂させる原因となることがあります。
- 電池パックの取り付けは、充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。
- コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因となります。
- 電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線、故障の原因となります。

本商品の設置場所について

警告

- 本商品や電源プラグおよび充電器のプラグ、電話機コード、電話用コンセント、LANケーブル、LANケーブルのコネクタのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源プラグおよび充電器のプラグ、電話機コードのモジュラープラグ、電話用コンセント、LANケーブル、LANケーブルのコネクタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品や電源プラグおよび充電器のプラグ、電話機コード、LANケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
 - 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
 - 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
 - ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
 - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線は、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。アース線を外す場合は、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。アース線を取り付けられるところは次の部分です。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
 - 接地工事(第D種)が行われている接地端子次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。
 - ガス管・電話専用アース線・避雷針
 - 水道管や蛇口

- 電源プラグおよび充電器のプラグは、容易に抜き差し可能なコンセントから給電してください。

注意

- 極端に暑い場所(35℃以上)や寒い場所(5℃以下)では使用しないでください。誤動作、故障の原因となることがあります。

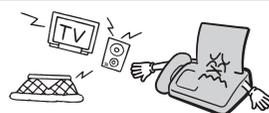
- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



- 本商品の底面部は、温度が上昇しますのでカーペットやソファなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因になることがあります。

お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など)。



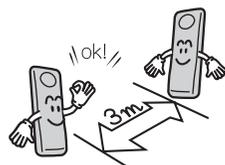
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。このような現象が本商品の影響によると思われる場合は、本商品の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
 - ー 本商品をテレビ等から遠ざける
 - ー 本商品またはテレビ等の向きを変える
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎるときは、子機が使用できないことがあります。

- 硫化水素が発生する場所(温泉地)や、塩分の多いところ(海岸)などでは、本商品の寿命が短くなる可能性があります。

- 金属製家具などの近くへの設置は避けてください。親機と子機間の電波が飛びにくくなります。

お願い

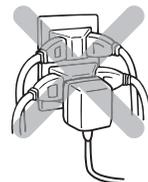
- 周囲の環境(壁、家具など)によっては使用範囲が狭くなります。
 - ・ 親機と子機間で内線通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。
- 本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。
 - ・ 親機と子機間、子機と別の子機間は約 3m 以上離してご使用ください。
 - ・ 同じ電話回線に他のコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを接続すると、電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
 - ・ 隣接する電話回線 2 本以上に、それぞれコードレスホンまたはコードレス電話機付ファクスを 1 セットずつ接続して使用する場合は、距離を十分に取って使用できる位置を確認してからお使いください。
- 親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててお使いください。
 - ・ アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、子機使用中に、雑音が入る場合があります。
 - ・ 親機と子機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから親機を設置してください。
- 子機を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品の隙間から虫(ゴキブリなど)が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・ 厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。
- 本商品を、次のようなところに設置しないでください。
 - ・ 記録紙カセットや記録紙サポーターが壁にあたる場所(紙づまりの原因となります。)
 - ・ ピアノなどの上(傷や、熱によるひび割れ、変色の原因となります。)
 - ・ じゅうたんや布団、カーペット、ソファ、漆などの上(通風孔をふさぎ、発熱などでじゅうたんや布団、カーペット、ソファ、漆などが変色したり火災の原因となります。)
 - ・ 原稿排出口に光が直接あたる場所(コピーや送信ファクスの画質劣化の原因となります。)
 - ・ 温度変化が激しい場所(結露による誤動作の原因となります。)



本商品のお取り扱いについて



- 電源は、AC 100V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグおよび充電器のプラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器は、必ず付属のものを使用し、それ以外のは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグおよび充電器のプラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から 1 年に 1 回は、電源プラグおよび充電器のプラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。





● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグおよび充電器のプラグや電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

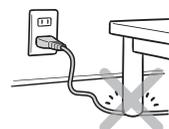
● 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源プラグおよび充電器のプラグ、電話機コードのモジュラープラグ、電話用コンセントに異物や水などが入った場合は、電源プラグおよび充電器のプラグや電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。

● 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください(分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります)。



● 充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。修理は当社のサービス取扱所にご相談ください。

● 電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 電源コードおよび電話機コードが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、電話機コードのモジュラープラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● 本商品や電源プラグおよび充電器のプラグ、電話機コード、電話用コンセント、LAN ケーブル、LAN ケーブルのコネクタに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグ、および電話機コードの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 本商品をお手入れするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 子機をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。



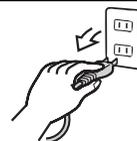
● 子機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切る(電池パックを外す)か持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。



● 本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療機器の近くや病院内など使用を制限された場所では使用をしないでください。

● 本商品を移動するときは、電源プラグや電話機コードを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグや電話機コードが電源コンセント、電話用コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 電源プラグおよび充電器のプラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



● 本商品や電源コード、電話機コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 近くに雷が発生したときは、電源プラグおよび充電器のプラグ、電話機コードを電源コンセント、電話用コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



● 充電器の充電部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。

● 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● 子機は、総務省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くするなど、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

● ペットの糞尿がかからないようにしてください。発煙や発火の原因となることがあります。

● サーマルヘッドやその周辺には手を触れないでください。高温でやけどをすることがあります。



● 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグおよび充電器のプラグを電源コンセントから抜いてください。また、電池パックを使用しているときは、電池パックを取り出してください。

● 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

● 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

● インクフィルムの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に手を引っかけて、開閉部で手を挟むなど、けがの原因となることがあります。ご注意ください。

● 記録紙をセットするときや紙づまりの処理をするときは、紙の端で手を切ったりしないでください。

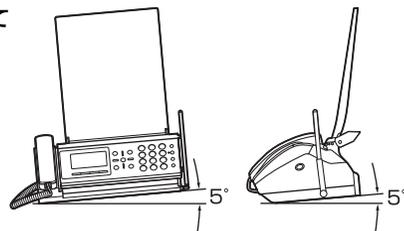
● 紙づまりの処理などで本商品内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が本商品内部に触れないようにしてください。やけど・感電の原因となることがあります。

● 原稿送り用ローラや記録ローラのお手入れには、中性洗剤を使用しないでください。ローラ類を傷める原因となることがあります。

本商品のお取り扱いについて

注意

- モニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳を痛める場合があります。
- 本商品のアンテナを誤って目にささないように注意してください。
- ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。本商品の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。
- 記録紙は、青焼紙と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。
- インクフィルムは、子供の手の届かないところに保管してください。
- インクフィルムは、開封した状態で放置しないでください。
- 本商品は右図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



- 受話器を無理に引っ張らないでください。親機の落下により、けがや事故の原因となります。

お願い

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



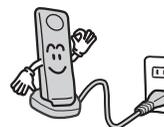
- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、電話機コードのモジュラープラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。



- ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

- 親機の電源プラグおよび充電器の電源プラグを抜いたままにしないでください。

- 親機**
- 親機および子機ともに使えません。
- 充電器**
- 子機が充電できません。
 - 子機のクイック通話が設定されている場合、充電中に充電器の電源プラグが外れると子機はお話している状態となります。



- 充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。

- 子機は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。

- ぬらさないでください。
- 浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
- 受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
- ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。



お願い

- 本商品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、子機を使っでの通話は、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。重要な通話の際には、親機のご利用をおすすめします。
- 補聴器の種類によっては子機で通話中に雑音が入る場合があります。雑音が入る場合は、親機をお使いください。
- 通信やコピーなどの動作中に電源プラグを抜いたり、本商品の開閉部を開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 記録紙およびインクフィルムは当社指定品をご使用ください。指定品以外の記録紙やインクフィルムをお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。指定品につきましては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- しわ、折れ、破れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となることがあります。
- 残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。
- 紙づまりのとき、記録紙は破れないように慎重に取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、紙片を本商品の中に残さずすべて取り除いてください。
- ファクスやコピーの記録紙は、プリント中に追加しないでください。また、厚さの異なる記録紙と一緒にセットしないでください。
- 冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、写らない部分が発生する原因となります。
- キャッチホンサービスをご契約になる場合は、次の点にご注意ください。
ファクスの送信中や受信中に電話がかかってきた場合
 - ・ 画像に線が入ったり、通信が中断されてしまうことがあります。
※キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込みの回数を「0回」に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
 - ・ 着信音が鳴らないため、電話がかかってきたことがわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承ください。受話器で通話中に他の方から電話がかかってきた場合
必ず[オンフック/キャッチ]ボタン(親機)、[キャッチ]ボタン(子機)を押して切り替えてください。他の方法ではうまく切り替わらないことがあります。
※オンフックで通話中(親機)の場合は、[オンフック/キャッチ]ボタンを押すと、先につながっていた相手先との通話が切れてしまいます。受話器をとってから[オンフック/キャッチ]ボタンを押してください。

お知らせ

- おやすみモードを設定している場合は、緊急の用件でも着信ベルは鳴りませんのでご注意ください。緊急の用件が想定される相手の場合は、とくていコール(☎ P.73)をご利用ください。

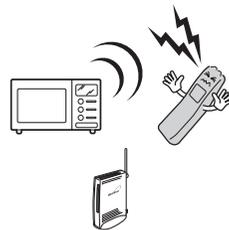
電波に関するご注意

本商品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局が運用されていないことをご確認ください。
- 2 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本商品の電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問合せください。

本商品の子機と同じ周波数帯域（2.4GHz）の電波を利用している機器の近く（下記参照）では、電波干渉により子機での通話や周辺機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。設置およびご使用になる際は下記の点にご注意ください。

- 子機を電子レンジなどの近くで使用しないでください。子機での通話の音声が届かなくなったり、使用できなくなることがあります。親機も電子レンジなどから3m以上離して設置してください。
- ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3m以上離れてご使用ください。雑音や映像の乱れの原因になります。
- 子機での通話中に声の途切れや雑音が入るときは、ダブルアクセスの設定を変更してみてください。→ 「ダブルアクセスを設定する」(P.90)
- 無線LAN機器（ルータ、AV機器、防犯機器など）を使用している環境では、子機での通話が途切れたり、無線LAN機器の動作に影響を及ぼすことがあります。親機や子機は、なるべく無線LAN機器から3m以上離れてご使用ください。または、WIFI BANDの設定を変更してみてください。WIFI BANDの設定の変更で変化が見られない場合は、ダブルアクセスの設定を変更してみてください。→ 「WIFI BAND（ワイファイ バンド）を変更する」(P.84)、「ダブルアクセスを設定する」(P.90)
- その他、下記の中にも同じ周波数帯の電波を使用している機器があります。下記の機器の周辺でも子機での通話の音声が届かなくなったり、使用できなくなることがあります。機器の動作に影響を与える場合もありますので、なるべく離れて設置およびご使用ください。



- ・ 火災報知機
- ・ アマチュア無線局
- ・ 万引き防止システム
- ・ 工場や倉庫などの物流管理システム
- ・ ワイヤレス機器（書店やCDショップなど）
- ・ マイクロ波治療器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・ Bluetooth TM 対応機器や VICS
- ・ 自動ドア
- ・ 鉄道車両や緊急車両の識別システム（道路交通網システム）など
- ・ 自動制御装置
- ・ ゲーム機のワイヤレスコントローラー

子機は電波を使用しているため、通話を傍受（第三者が無線電波を故意または偶然に受信）されることが考えられます。この点に配慮して（重要な通話は親機を使用するなど）ご使用ください。

- トラックや車、オートバイ、電車が近くを通ったとき、雑音が入ったりする場合があります。

■ その他のご注意

- 親機との距離が離れると、送話／受話が途切れるなど通話が不安定になり、子機からのボタン操作の無線信号が親機に正しく伝わらず、動作が不安定になることがあります。このような場合は親機に近づいてご使用ください。
- 通話中に「ポッ、ポッ…」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のままでいると、約30秒後に親機側で保留になります。さらに約1分経過すると電話が切れます。なお、電波状態によっては、保留されずに電話が切れてしまうこともあります。
- 通話中に「ピッ、ピッ、ピッ…」という音がしたときは、電池パックの充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると、約1分後に子機通話が切れます。電池パックの充電残量が少なくなる（電池電圧が約3.4V以下になる）と子機は使用できなくなります。
- 車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。
- ふる場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。
- めれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。子機には防水機能がありませんので、故障の原因になります。
- 子機の通話中に電池パックを取り外さないでください。まれに誤動作することがあります。

本書の見かた

本書の構成	ページ	記述内容
準備	P.20 ~ 30	本商品を使うための準備（組み立てや接続）、覚えておきたい操作の基本などを説明しています。本商品をお使いになる前に一通り目を通しておいてください。
かんたんに使う	P.31 ~ 40	電話、ファクス、コピー、留守番電話をできるだけ簡単に使う方法を説明しています。本商品をすぐにお使いになりたいときに、お読みください。
べんりに使う	P.41 ~ 83	電話、ファクス、留守番電話の便利な機能を説明しています。さまざまな機能を使ってより便利にお使いになりたいときに、お読みください。
さらに使いやすくする	P.84 ~ 90	画面表示の調整やベル音の調整など、お好みに応じて本商品をさらに使いやすくする方法を説明しています。
ネットワーク機能を使う	P.91 ~ 112	本商品をネットワークに接続したときの使いかたや設定を説明しています。
こんなときは	P.113 ~ 133	困ったときの対処方法、本商品のお手入れの方法、子機の増設について説明しています。
付録	P.134 ~ 140	主な仕様、操作早わかりガイド、機能設定／登録早見表を記載しています。

■本書の表記

親機／子機／受話器／ インクフィルム	本書では、「主電話機」を「親機」、「コードレス電話機」を「子機」、「ハンドセット」を「受話器」、「インクリボン」を「インクフィルム」と表記しています。
待受中	電話やファクスの着信を待っている状態（通話も送信／受信もしていない状態）です。本書で説明している操作はほとんどの場合「待受中」に行います。 特に断りのない場合は待受中に操作してください。 通話中に行う操作は見出しに次のイラストで示しています。
通話中 	電話をかけたたり受けたりして、相手と通話をしている状態です。
 	親機と子機の操作が異なる場合は、左のマークで示しています。
ボタン名称	本商品の本体にボタン名が印字されているボタンは、そのボタン名を示しています。詳細は「ボタンの名称と機能概要」（  P.16、18）をご覧ください。

お知らせ

- 本書では、P-721NDに子機を増設した場合を中心に説明しています。P-721NDwで異なる項目については「※P-721NDwでは…」と記載しています。

品名	機器構成	増設できる子機の台数
P-721ND	親機と子機 1 台	最大 2 台
P-721NDw	親機と子機 2 台	最大 1 台

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	2
本書の見かた.....	11
目次.....	12
各部の名称とはたらき.....	15
親機.....	15
ボタンの名称と機能概要.....	16
メニューの使いかた.....	17
子機.....	18
ボタンの名称と機能概要.....	18
ディスプレイの見かた.....	19

準備

本体と付属品の確認.....	20
設置する場所の確認.....	21
親機と子機の電波の届く範囲.....	21
子機の準備.....	22
子機の使用上のご注意.....	22
子機を組み立てる.....	22
子機を充電する.....	22
子機の日時を設定する.....	23
親機を接続する.....	24
電話用コンセントの確認.....	24
ブランチ接続していないかどうかの確認.....	24
親機の接続.....	24
回線種別や時刻を設定する.....	26
回線種別を設定し直すには.....	26
時刻を設定し直すには.....	27
記録紙のセット.....	27
おすすめする記録紙.....	27
えらべる受信スタイル.....	28
記録紙のセットのしかた.....	28
組み立てと接続が正しくできたか確認する.....	30
電話をかけてみる.....	30
コピーをとってみる.....	30
回線付加サービスを利用するには (ナンバー・ディスプレイなど).....	30

かんたんに使う

電話をかける.....	31
ダイヤルボタンを押してかける.....	31
子機のと리카た/クイック通話.....	32
クイック通話をONにする/ OFFにする.....	32
ファクスを送る/コピーをとる.....	33
原稿のサイズ/読み取れる範囲.....	33
原稿セットのしかた.....	33
ファクスを送る(自動送信).....	34
コピーをとる.....	34
留守番電話を使う.....	35
留守設定をする.....	35
留守設定を解除する.....	36
録音された用件を聞く/消去する.....	37
再生中の操作.....	38
電話やファクスを受ける.....	39
ベルが鳴ったら.....	39
着信の種類を判断する(電話かファクスか).....	40

べんりに使う

電話.....	41
同じ相手先にもう一度かける(リダイヤル).....	41
受話器や子機を持たずに電話をかける (オンフックダイヤル).....	41
電話帳に相手先を登録する(親機).....	42
相手先の名前と電話番号を登録する.....	42
登録した名前や電話番号を変更する.....	43
登録した名前と電話番号を消去する.....	43
親機の電話帳から子機に転送する.....	44
電話帳に相手先を登録する(子機).....	45
相手先の名前と電話番号を登録する.....	45
登録した名前や電話番号を変更する.....	46
登録した名前と電話番号を消去する.....	46
リダイヤルデータを電話帳に登録する.....	46
電話帳でかける.....	47
通話中の相手に待ってもら(保留).....	47
受けた電話を転送する(外線転送).....	48
親機から子機に転送する.....	48
子機から親機に転送する.....	48
子機から子機に転送する.....	48
親機と子機/子機と子機で通話する(内線通話).....	49
親機から子機にかける.....	49
子機から親機にかける.....	49
子機から子機にかける.....	49
通話の内容を録音する(さかのぼり録音).....	50
さかのぼり録音を設定する.....	50
通話中にさかのぼり録音をする.....	51
電話を切ったあとにさかのぼり録音をする.....	52
電話を切ったあとに直前の通話の録音を 消去する.....	52
保存した通話を聞く/消去する.....	52
通話中に留守番電話の用件を再生する.....	53
お断りメッセージで応答する(迷惑電話お断り).....	53
固定電話から携帯電話への通話サービスを簡単に使う (携帯通話設定).....	53
携帯通話設定を一時的に解除する.....	54
ベル音/受話音/スピーカ音の音量調整.....	55
ベル音.....	55
受話音.....	56
スピーカ(モニタ音/再生音).....	56
ダイヤル回線でトーン信号を送る.....	56
ファクス.....	57
電話をかけて通話中に送る(手動送信).....	57
ボタンを押して受ける(手動受信).....	57
原稿の画質や読み取り濃度を変える.....	58
自分の名前や電話番号をつけて送る.....	59
相手先の受信記録に電話番号を表示する.....	59
相手先の記録紙に印字する発信元を登録する.....	59
相手先の記録紙に発信元を印字する.....	60
ダイヤルトーンを待つて発信する.....	60
海外へ送るとき.....	60
送れなかったファクスを確認する(不達レポート).....	61
電話に出て相手がファクスだったときは簡単に受信する (ファクスかんたん受信).....	61

ファクスをプリントできないときいったんメモリに蓄積する(メモリ代行受信).....	62
メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする.....	62
メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する.....	62
受信したファクスを縮小する/分割する.....	63
縮小率を設定する.....	63
分割してプリントする.....	63
Fネット(ファクシミリ通信網サービス)を利用する.....	64
留守番電話.....	65
録音された用件を全て消去する.....	65
自作の応答メッセージを使う.....	65
応答メッセージを録音する.....	65
録音した応答メッセージを消去する.....	66
応答メッセージを選ぶ.....	66
外出先から操作する(外線リモート).....	66
リモート操作を設定する.....	66
外出先から留守設定をする.....	67
外出先から用件の再生/留守設定を操作する.....	67
録音された用件があるか外出先から確認する(トールセイバ).....	68
着信ベルや動作音を鳴らなくする(おやすみモード).....	68
おやすみモードを設定する/解除する.....	69
開始時刻/終了時刻で自動的に切り替える.....	69
ナンバー・ディスプレイ.....	70
ナンバー・ディスプレイを設定する/解除する.....	70
ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示.....	71
ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示.....	71
自分の電話番号を通知する/非通知にする.....	72
自作のメッセージで応答する相手先を選択する.....	72
受けた電話の相手先によってベル音を変える(着信鳴り分け/プライベートコール).....	72
あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす(とくていコール).....	73
番号通知をお願いするメッセージで応答する(番号リクエスト).....	74
受けたくない相手先からの着信を拒否する(着信拒否).....	75
着信拒否リストに登録する.....	75
登録した相手先を確認する/消去する.....	75
着信拒否を設定する/解除する.....	75
着信データを見る/消去する.....	76
着信データを使って電話をかける(コールバック).....	77
着信データを電話帳に登録する(かんたん登録).....	77
留守中に受けた電話を確認する.....	78
キャッチホン.....	79
通話中に別の電話を受ける(キャッチホン).....	79
キャッチホン・ディスプレイを設定する/解除する.....	79
キャッチホン・ディスプレイの表示.....	80
モデムダイヤルイン.....	81
ダイヤルインを設定する/解除する.....	81
ダイヤルインの動作.....	82
ダイヤルインの利用例.....	83

さらに使いやすくする

電話専用/ファクス専用/切替を選ぶ(着信モード).....	84
WIFI BAND(ワイファイバンド)を変更する.....	84
ディスプレイの表示濃度を変える.....	85
ボタンを押したとき音を鳴らす/鳴らさない(キータッチトーン).....	85
ボタン操作を受け付けなくする/解除する(チャイルドロック).....	86
チャイルドロックを一時的に解除する.....	86
ベルの音色を変える/メロディにする.....	87
ベルが鳴る回数を変える.....	87
着信ベルの回数を変える.....	87
呼出ベルの回数を変える.....	88
保留のメロディを変える.....	88
リストをプリントする.....	89
エラーコード表.....	90
ダブルアクセスを設定する.....	90

ネットワーク機能を使う

ネットワーク機能をご利用になるには.....	91
ご利用になれる機能は.....	91
ネットワークの設定をする.....	92
IPアドレスを設定する.....	92
メールの設定をする.....	95
メールの基本設定をする.....	95
送信元メールアドレスを設定する.....	95
SMTPアドレスを設定する.....	95
POP3を設定する.....	95
その他のメール設定.....	96
メール送信設定をする.....	96
メール受信設定をする.....	97
メールフィルタリストに登録する.....	100
ユーティリティソフトをインストールする.....	101
ネットワークガイドの開きかた.....	103
ネットワークガイド 目次.....	103
各機能の説明.....	104
メールを送信する(スキャンtoメール).....	104
画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法.....	105
受信したメールをプリントする(メールtoプリント).....	106
自動プリント.....	106
手動プリント.....	107
ファクス受信文書をメール送信する(ファクスtoメール転送).....	108
転送先のメールアドレスに登録する.....	109
スキャンした画像をパソコンに保存する(スキャンtoパソコン).....	109
画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法.....	110
ファクス受信文書をパソコンに保存する(ファクスtoパソコン).....	111
転送先にするパソコンを設定する.....	111
パソコンで設定や閲覧をする(機能設定メニュー).....	112

こんなときは

困ったときは	113
紙つまりのとき	113
つまった紙を取り除く	113
ファクスが正常に送れない／受けられないとき	114
停電したとき	115
操作ができなくなったとき	115
困ったときは (Q&A)	115
お手入れのしかた	126
インクフィルムを交換する	126
子機の電池パックを交換する	128
日ごろのお手入れ	129
親機／子機の外装のお掃除	129
親機内部のお掃除 (原稿送り用ローラ／ 記録ローラ／ゴム板／インクフィルム押さえ部／ 原稿読み取り部)	129
インクフィルム／記録紙の保管	131
消耗品・別売品／増設／廃棄	132
消耗品・別売品のご案内	132
子機を増設するとき	132
本商品の登録／設定をお買い求め時に 戻したいとき	132

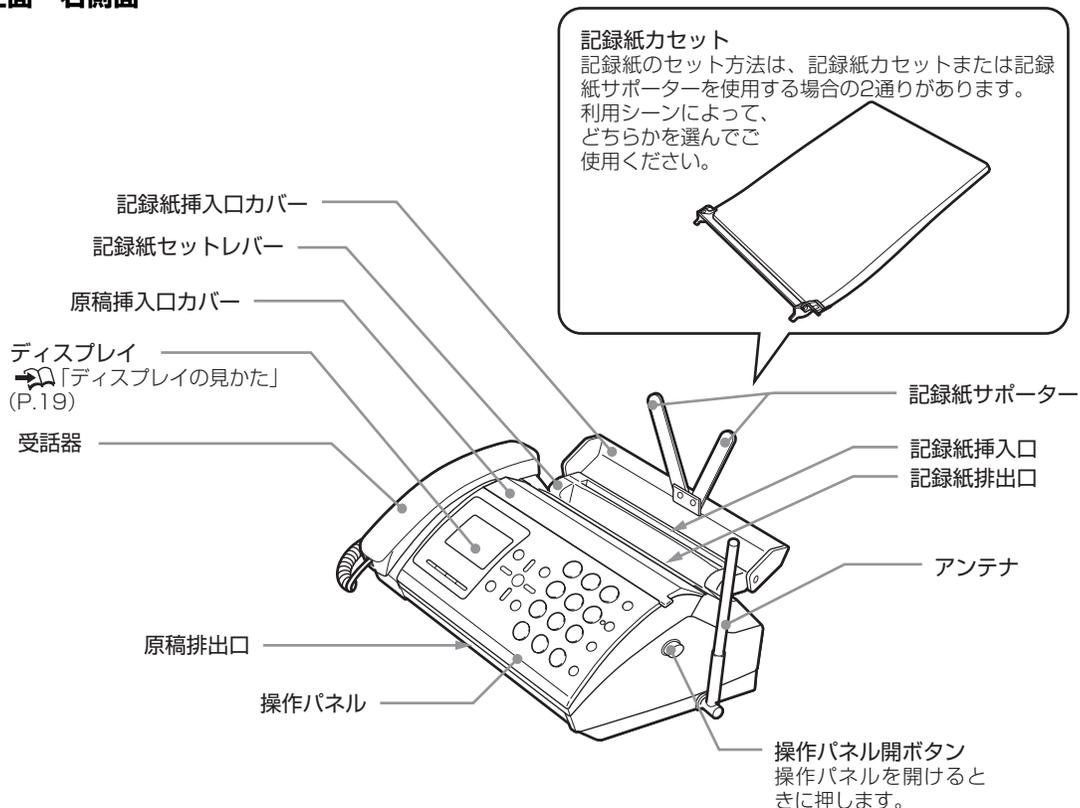
付 録

主な仕様	134
ファクス	134
コードレス電話	134
留守番電話	134
ネットワーク	134
操作早わかりガイド	135
機能設定／登録早見表	138
索引	141
文字入力について	144
保守サービスのご案内	147

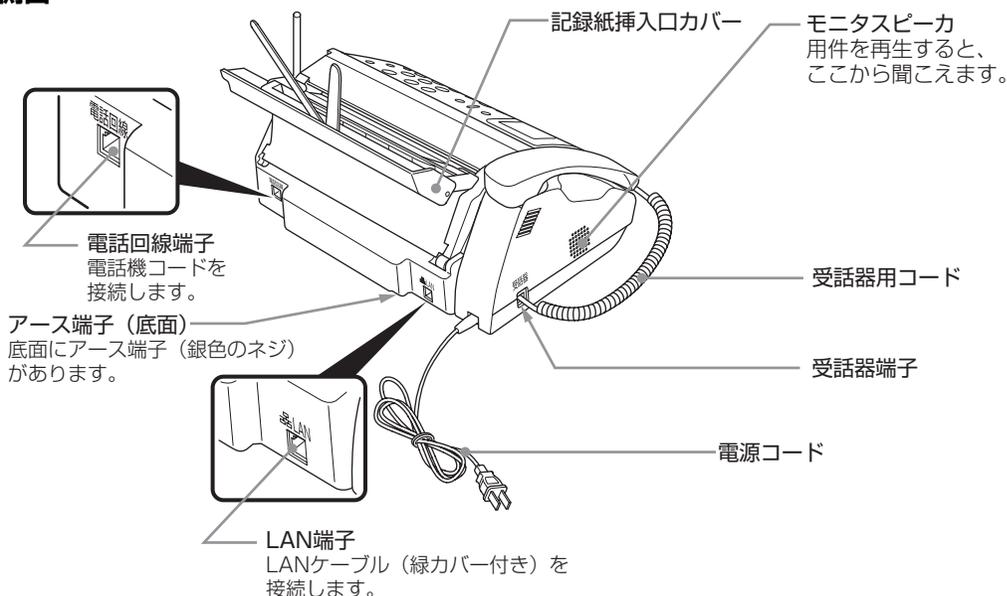
各部の名称とはたらき

親機

■正面・右側面



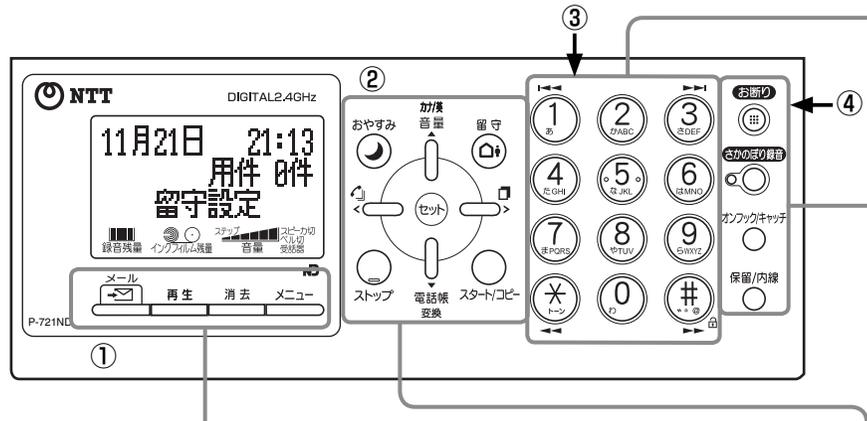
■背面・左側面



※ 本商品のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるもので、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

ボタンの名称と機能概要

本書では操作パネルのボタンの名称を次のように表記しています。本商品にボタン名が印字されているものはそのボタン名がわかるようにしています。なお、「かんたんに使う」編ではボタン名とともにボタンの形状も記しています。



①

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
		[メール]	新着メールの確認と手動プリントや削除の操作 (→P.106、107)
		[再生]	録音された用件の再生 (→P.37)
		[消去]	用件の消去、入力文字の消去 (→P.37、145)
		[メニュー]	メニューの選択 (→P.17)

②

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
 おやすみ		[おやすみ]	おやすみモードの設定/解除 (→P.69)
 留守		[留守]	留守設定/解除 (→P.35、36)
 ストップ		[ストップ]	ファクスの送信やコピーをやめる (→P.34) 登録や設定を途中でやめる (→P.17)
 スタートコピー		[スタート/コピー]	ファクスの送信/コピーの開始 (→P.34) ファクスの手動送信/受信 (→P.57) スキャンtoパソコンの開始 (→P.109)
 ◀、▶(着信データ) ▲、カナ/英、音量 ▼、電話帳、変換 ▶、□(リダイヤル)		[セット]	入力した数字や文字の決定 選択した項目の決定
		[▲] / [▼] / [◀] / [▶]	電話帳を選択する 登録した情報やメニューの設定項目の選択 カーソルの移動
	 加/英 音量	[カナ/英] [音量]	入力モードを切り替える (→P.144) ベル音/受話音/スピーカ音の調整 (→P.55)
	 電話帳 変換	[電話帳] [変換]	電話帳を表示させる (→P.47) 入力した文字を変換する (→P.145)
	 着信データ リダイヤル	[<] (着信データ) [>] (リダイヤル)	着信データを表示させる (→P.76) リダイヤルデータを表示させる (→P.41)

③

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
	①～⑨、①、 ①	[1]～[9]、[0]、 [#]	番号の指定、項目の選択
	ダイヤルボタン 例：「ダイヤルボタンで電話番号を入力」		電話番号／日時などの入力 相手先名などの入力
		[*]	再生位置の操作（約15秒前にスキップ）（→P.38） トーン信号を送る（→P.56）
		[#]	再生位置の操作（約30秒先にスキップ）（→P.38） チャイルドロックの一時解除（→P.86）
		[1]	再生位置の操作（先頭、前の用件）（→P.38）
		[3]	再生位置の操作（次の用件）（→P.38）

④

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
	[お断り]	[お断り]	お断りメッセージで応答する（→P.53）
	[さかのぼり録音]	[さかのぼり録音]	通話録音を保存する（→P.50～52） 電話番号にポーズ（-）を入れる
	[オンフック/キャッチ]	[オンフック/キャッチ]	受話器を持たずに電話をかける（→P.41） キャッチホンを受ける（→P.79）
	[保留/内線]	[保留/内線]	通話を保留にする（→P.47） 内線電話をかける（→P.49）

メニューの使いかた

あらかじめ設定しておく必要のある本商品の動作モードや詳細な機能の調整などは、メニューを使って操作します。

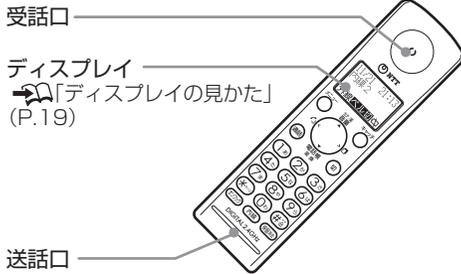
- ・メニューを使うときは、待受中（ファクスの送信／受信をしていないとき）や受話器による通話中に を押します。
- ・10種類のメインメニューがあり、ダイヤルボタンの①～⑨、または①で選べます。→「機能設定／登録早見表」（P.138）
- ・メインメニューの下位にはいくつかの機能メニューがあり、 を押したあと、[▲] または [▼] を押して選びます。
- ・操作を終了するときは、 [ストップ] を押します。

お知らせ ● 操作の途中で90秒以上何もしないとメニューを終了して待受中に戻ります。

■ 操作の途中でやめるには： [ストップ] を押す。

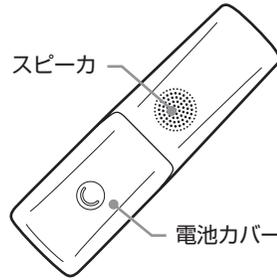
子機

■正面

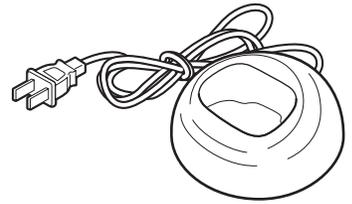


ディスプレイ
→「ディスプレイの見かた」
(P.19)

■背面



■充電器



ボタンの名称と機能概要



ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんを使う	べんりに使う	
① 1あ 2か 3さ 4た 5な 6は 7ま 8や 9ら *トーン 0わ #記	①あ～⑨ら、 0わ #記	[1]～[9]、[0] [#]	番号の指定、項目の選択
	ダイヤルボタン 例：「ダイヤルボタンで電話番号を入力」		電話番号／日時などの入力 相手先名などの入力
*トーン	*トーン	[*]	トーン信号を送る (→P.56)
#記	#記	[#]	チャイルドロックの一時解除 (→P.86)
② ワフック 内線 保留消去	ワフック 内線 保留消去	[オンフック] [内線] [保留 消去]	子機を持たずに電話をかける (→P.42) 内線電話をかける (→P.49) 通話を保留にする (→P.47) 入力文字の消去 (→P.146)

ボタン	本書の表記		機能概要	
	かんたんを使う	べんりに使う		
③ メニュー	○ [メニュー]	[メニュー]	メニューの選択 入力した数字や文字の決定 選択した項目の決定	
<p>同じボタンに2つ以上の機能があります。操作の対象に応じて機能が変わります。</p>	▲ / ▼ / < / >		電話帳を選択する 登録した情報やメニューの設定項目の選択 カーソルの移動	
	カナ/英 音量	[カナ/英] [音量]		入力モードを切り替える (→P.146) ベル音/受話音/スピーカ音の調整 (→P.55)
	電話帳 変換	[電話帳] [変換]		電話帳を表示させる (→P.47) 入力した文字を変換する (→P.146)
		< (着信データ)		着信データを表示させる (→P.77)
		> (リダイヤル)		リダイヤルデータを表示させる (→P.41)
キャッチ	○ [キャッチ]	[キャッチ]	キャッチホンを受ける (→P.79) 電話番号にポーズ (-) を入れる	
通話	通話	[通話]	電話をかける (→P.31) 電話を受ける (→P.39)	
切	切	[切]	電話を切る (→P.31) 登録や設定を途中でやめる	

ディスプレイの見かた

親機

全点灯時の絵表示（ピクト）を表しています。

バックライトは、登録・設定中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約90秒で消灯します。

16桁（全角8文字）×3行

操作をしていないときは、日時と留守録の件数が表示される



●音量表示 (P.55)



- ベル … ベル音量を示す
- スピーカ … モニタスピーカの音量を示す
- 受話器 … 受話音量を示す
- ベル切 … ベルを鳴らないようにしているとき
- スピーカ切 … モニタスピーカの音を出ないようにしているとき
- ステップ … ステップアップ着信音量を選んだとき

●インクフィルム残量表示

インクフィルムのおおよその残量を表示します。

インクフィルム残量表示	印刷できる枚数
	41 ~ 75
	11 ~ 40
	01 ~ 10
	インクフィルムなし (P.126)

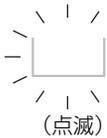
お知らせ

- インクフィルムを交換した場合は、リセットしないと、正しく表示されません (P.127)。
- 次のような場合は、表示よりもインクフィルムが少なくなっていることがあります。
 - ・ ひんばんに操作パネルを開け閉めした
 - ・ インクフィルムを手で巻き取った
 - ・ 親機の電源をひんばんに入切した

●録音残量表示



…録音できる残り時間



…録音できない

- ・ 用件が30件に達した
- ・ 残量が20秒以下

(点滅)

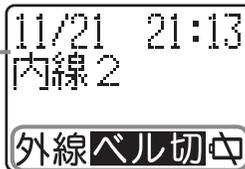
子機

全点灯時の絵表示（ピクト）を表しています。

バックライトは、ボタン操作開始時や着信時に点灯し、動作終了後、約15秒で消灯します。

12桁（全角6文字）×4行

操作をしていないときは、日時と内線番号が表示される



- 外線 … 外線で通話中
- ベル切 … 呼出音が鳴らないようにしているとき
- ☎ … バッテリーが消耗したとき

■通話時間表示

電話中は、ディスプレイに通話時間の目安が表示されます。

親機 10分30秒 … ダイヤルしたあと、約10秒経つと表示されます。また、相手が出ると0秒から表示し直されます。

お知らせ ● 受話器を戻したあと約5秒間、通話時間が表示されます。

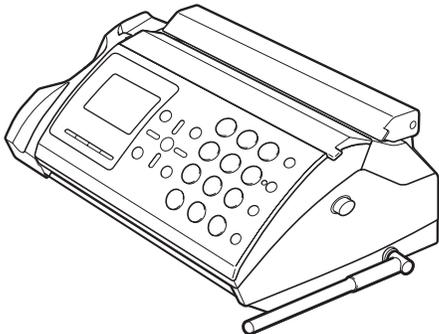
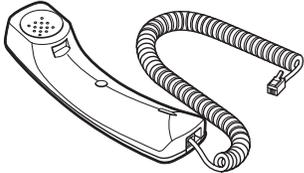
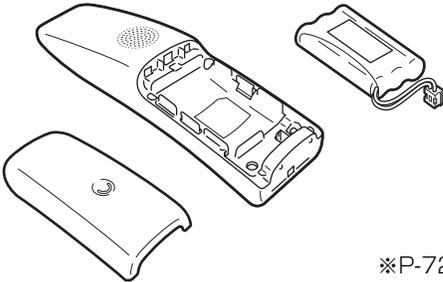
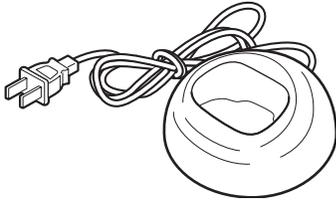
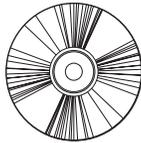
子機 10分30秒 … を押すと表示されます。相手が出てそのまま続けて表示されます。また相手が出なくても表示されます。

お知らせ ● 通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示し直されます。

準備

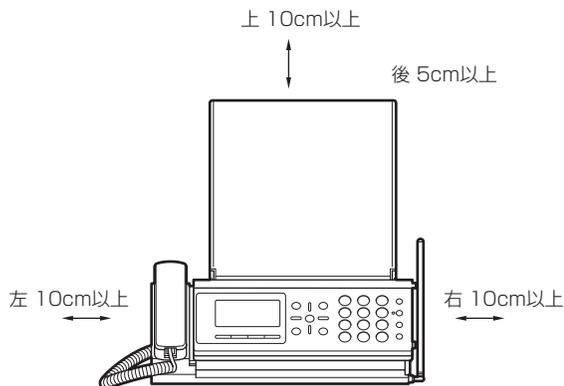
本体と付属品の確認

付属品に足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡ください（☎ P.147）。

<p><input type="checkbox"/> 親機 1台</p>  <p>テスト用インクフィルム（セキュリティ強化タイプ） 1本 ・あらかじめ親機にセットしてあります。 ・工場出荷時のテスト用であり、別売のインクフィルムよりもプリントできる枚数が少なくなります。別売のインクフィルムを早めにお買い求めください。☞「消耗品・別売品のご案内」（P.132）</p> <p>●インクフィルムを交換するときは インクフィルムを交換するときは、指定のインクフィルムをお使いください。当社指定以外のインクフィルムは使用できません。☞「インクフィルムを交換する」（P.126）</p>	<p><input type="checkbox"/> 受話器 1個</p> 	<p><input type="checkbox"/> 記録紙カセット 1個</p>  <p>お知らせ ●記録紙カセット表面には、シールなどを貼らないでください。記録紙づまりの原因となることがあります。</p>
<p><input type="checkbox"/> 子機 1台（電池カバー付） 電池パック 1個（子機用）</p>  <p>※P-721NDwでは2組</p>	<p><input type="checkbox"/> 子機充電器 1台</p>  <p>※P-721NDwでは2台</p>	
<p><input type="checkbox"/> 電話機コード 1本 （約1.8m）</p> 	<p><input type="checkbox"/> 取扱説明書 1冊（本書） <input type="checkbox"/> かんたん取り付けガイド 1部 <input type="checkbox"/> ネットワーク設定 操作ガイド 1部 <input type="checkbox"/> パソコンでPPPoE接続をしているときのご注意 1部 <input type="checkbox"/> 保証書 1枚 <input type="checkbox"/> NTT通信機器お取扱相談センタシール 1枚 <input type="checkbox"/> 記録紙（A4普通紙） 5枚（保護台紙付） ・保護台紙には印刷できません。</p>	<p><input type="checkbox"/> ユーティリティソフト CD-ROM 1枚</p> 
<p><input type="checkbox"/> LANケーブル（緑カバー付き） 1本 （約2.0m）</p> 		

設置する場所の確認

下の図を参考に操作を行うのに十分なスペースを確保してください。消耗品の交換や点検、お手入れなどを行うスペースも考慮してください。

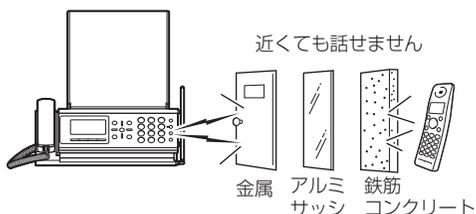
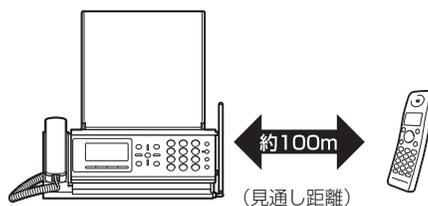


お知らせ

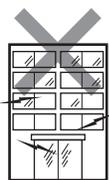
- 親機を壁にかけて使用することはできません。
- 水平な場所に設置しないと、正常に動作しないことがあります。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因になることがあります。
 - ・ ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ (TA)、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
 - ・ 携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器およびACアダプタ
 - ・ テレビ、ラジオ、蛍光灯、CD プレーヤー、ヘッドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
 - ・ 自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- 直射日光の当たる場所には置かないでください。送信/コピー画質がうすくなったり、本商品の誤動作、故障の原因となります。
- 「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(P.2) の記載も参照してください。

親機と子機の電波の届く範囲

- 使用できる範囲は、親機と子機の間には障害物がない状態で約100mです。子機と親機が離れすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。
- 子機と子機で通話（子機間通話、P-721NDは子機増設時のみ）するときも、お互い親機と通話できる範囲でご使用ください。子機どうしが近くても、どちらかが親機と通話できる範囲から外れると、子機どうしの通話はできなくなります。
- 建物内の異なる階層（上下）や屋外を経由すると、通話できないことがあります。
- 親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。
- 親機と子機の間には鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシなどの障害物がある場合は、電波が届きません。
- 親機と子機の間には何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。



金属製家具の近くなど



マンションなど、鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合



蛍光灯などの電気製品の近くなど

子機の準備

子機の使用上のご注意

本商品の子機は、2.4~2.4835GHz（ギガヘルツ）の全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域を回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80mです。本商品には、それを示す右記のマークが貼り付けられています。

2.4 F H 8

お知らせ

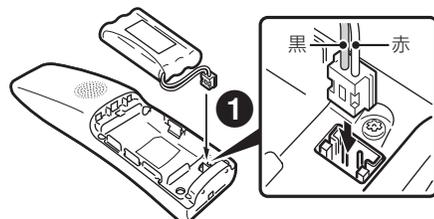
- 当社指定の2.4Gデジタルコードレス電話機（子機）以外の電話機やPHSは接続できません。

子機を組み立てる

1 子機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープなど梱包材をはがす

2 電池パックを取り付ける

- 1 コネクタを配線の向き（赤／黒）に注意して図のように差し込む
・ 向きが合わない状態で無理に押し込まないでください。
- 2 電池パックを図のようにセットし、溝に合わせてコードを収める
- 3 電池カバーを図のように子機の溝に合わせ、軽く下に押しながら手前から奥へすべらせるように差し込む
・ 電池カバーを外すときは、下に押しながら手前に引きます。



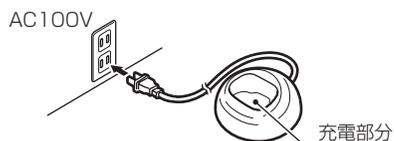
お知らせ

- 親機の電源が接続されていないときは、「通話圏外」と表示されます。



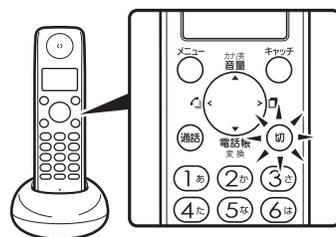
子機を充電する

1 充電器を電源に接続する
充電器のプラグを電源コンセントに差し込む



2 子機を充電器に置く
図のようにボタンが手前になるように置く

- ・ 充電が始まると (切) が赤く点灯します。
- ・ 充電器に置いている間は (切) が点灯したままになりますが、過充電になることはありません。



お知らせ

- お買い求め時は充電されていません。はじめてご使用のときは、10時間以上充電してください。
- 子機は長期間使わない場合を除いて、できるだけ充電器に戻してください。
 - ・ 充電器に置いている間は (切) が点灯していますが、充電しすぎることはありません。
- 子機を長期間使わない場合（充電器の電源プラグを抜いておくとき）は、電池パックを取り外してください。
 - ・ 電池パックを子機に入れたまま充電せずに放置すると劣化することがあります。
- 充電しても使用時間が短くなった場合
 - ・ 電池パックの寿命です。電池パックを交換してください。→ 「子機の電池パックを交換する」(P.128)
- 充電器はテレビやステレオ、携帯電話の充電器などと別の電源コンセントにつなぐことをおすすめします。
 - ・ 同じ電源コンセントにつなぐと、雑音の原因となることがあります。
 - ・ 同じ電源コンセントにつなぐ場合は、テレビやステレオ、携帯電話の充電器などから充電器をできるだけ離して置いてください。

■ 充電について

充電時間：約10時間（お買い求め時、あるいは電池の残量がない状態から）

フル充電した子機の使用可能な時間 **連続通話時**：約6時間（※） **連続待受時**：約300時間

※：ダブルアクセス（→P.90）を「OFF」に設定した場合の連続通話時間です。「ON」に設定した場合は約4時間、「AUTO」にした場合は約4～6時間になります。

お知らせ ● 親機の電源が入っていない状態では、子機の連続待受時間は短くなります。

■ 残量が不足したときの警告

状態	ディスプレイの表示	警告音
待受中	 (点灯) 「充電してください」	「ピーピッ」(ボタンを押したときに鳴る)
通話中	 (点灯)	「ピッ、ピッ、ピッ…」

お知らせ ● 通話中に警告音がした場合、そのまま通話を続けると、約1分後に通話が切れます。

子機の日時を設定する

1 ○ [メニュー] を押す

メニュー
◆ 電話帳登録

2 [▲] または [▼] で
「日付・時刻」を選び
○ [メニュー] を押す



メニュー
◆ 日付・時刻
2000年
01/01 00:00

3 ダイヤルボタンで
現在の日付と時刻を入力する

2007年
11/21 21:13

日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。

年：西暦（下2桁）

月日：（例：11月21日→1121）

時刻：24時間制（例：午後9時13分→2113）

4 ○ [メニュー] を押す

お知らせ

● 本商品の時計は平均月差±60秒以内です。周囲の温度により月差は変わります。また、親機の電源が入っていない場合は、さらに月差が大きくなる場合があります。

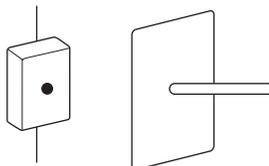
親機を接続する

本商品は、一般電話回線、ひかり回線、ADSL回線、ISDN回線などに接続することができます。また、本商品のLAN端子とブロードバンドルータやスイッチングハブのLAN端子をLANケーブル（緑カバー付き）で接続すると、ネットワーク機能を利用することもできます。

電話用コンセントの確認

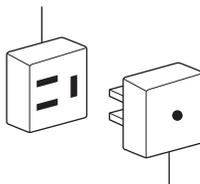
壁などにある電話用コンセントを確認してください。直接配線（ネジ止め式）、プラグ式（3ピン）の場合、回線の工事が必要になるなど、そのままでは接続できません。

■ 直接配線（ネジ止め式）



資格者の回線工事が必要です。
当社へご相談ください。

■ プラグ式（3ピン）



当社へご相談ください。

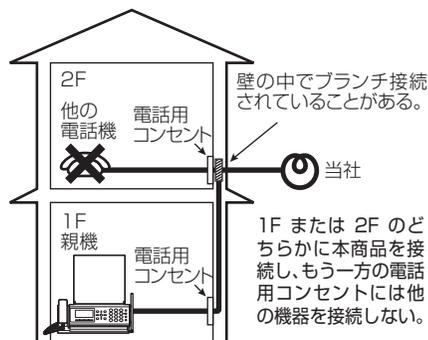
お知らせ ● 接続工事には工事担任者の資格が必要です。

ブランチ接続していないかどうかの確認

壁の中でブランチ接続になっている回線があります。ご自宅に2つ以上の電話用コンセントがある場合は、あらかじめご確認ください。

本商品をブランチ接続の電話回線に接続した場合、他の電話用コンセントに電話機などを接続しないでください。同時に接続すると次のようなことが起こります。

- ・ 電話がかかってきたときに呼出ベルが途中で鳴り止むことがあります。
- ・ ファクスを送受信しているとき、同時に接続されている電話機の手話器をとると、ファクスの画像に異常が起きます。
- ・ ファクスが受信できないことがあります。
- ・ ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイサービスが利用できません。



親機の接続

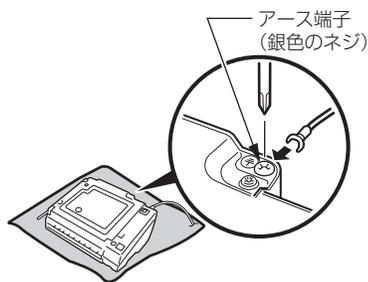
⚠ 警告

- 特に湿気が多い場所で親機を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。アース線は付属しておりませんので、市販のものをお買い求めください。

アース接続は、親機を裏返して行います。その際、記録紙カセットを取り外し、親機およびディスプレイに無理な力がかからないように座布団などを敷いてください。

プラスドライバーとアース線を準備してください。

🔧 「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(P.2)



お願い

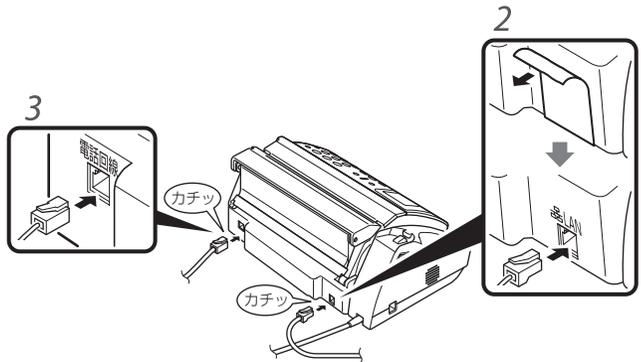
● 受話器用コード、電話機コードをLAN端子に差し込まないでください。ピン折れ等により接触不良の原因となります。

1 本商品と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープなど梱包材をはがす

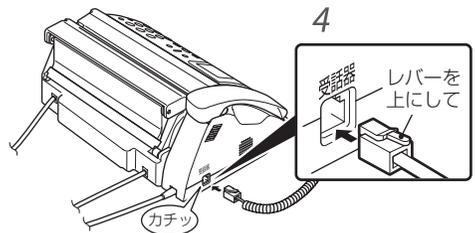
2 親機背面の注意書きラベルをはがし、LAN端子にLANケーブル（緑カバー付き）を接続する

お願い
● LANケーブル（緑カバー付き）はLAN端子に、間違えずに差し込んでください。

3 親機背面に電話機コードを接続する



4 受話器を取り付ける
受話器端子に受話器用コードを差し込みます。



■一般電話回線に接続する場合

5 電話機コードのもう一方の端を壁などにある電話用コンセントに差し込む

6 電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込む

7 アンテナをたてる

■ひかり回線、ADSL回線、IP電話機能付き機器、ISDN回線に接続する場合

5 アンテナをたてる

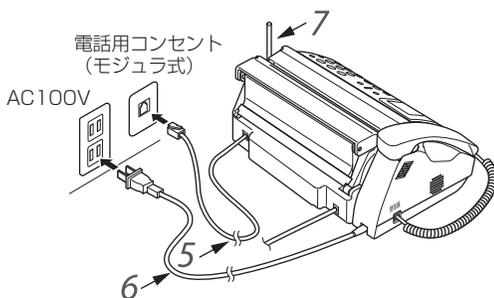
6 付属の「ネットワーク設定 操作ガイド」を参照し、各接続を行う

ひかり回線 → 「ひかり回線に接続する」

ADSL回線 → 「ADSL回線に接続する」

IP電話機能付き機器 → 「IP電話機能付きの機器に接続する」

ISDN回線 → 「INSネット64に接続する」



お知らせ

● 電話用コンセントの確認（→P.24）

● 受話器用コード、電話機コード、LANケーブル（緑カバー付き）を抜くときは、レバーを押しながら引き抜いてください。

回線種別や時刻を設定する

1 回線種別を設定する
 電源プラグをコンセントに接続すると、本商品が自動的に回線種別（プッシュ回線／ダイヤル回線）を選びます。
 ・接続した回線に応じて、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。
 プッシュ回線：「PBに設定しました」 ダイヤル回線：「DPに設定しました」

電話回線 確認中

PBに設定しました

2 時刻をセットする
1 を押す
 ・時刻を設定せずに終了するには [ストップ] を押します。
1 時刻設定します
 セット押して下さい
 日付・時刻
 00 01/01 00:00
 完了はセットを押す
2 ダイヤルボタンで現在の日付と時刻を入力し、 を押す
 ・日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。
 年 ：西暦（下2桁）
 月日：（例：11月21日→1121）
 時刻：24時間制（例：午後9時13分→2113）

日付・時刻
00 01/01 00:00
完了はセットを押す

日付・時刻
07 11/21 21:13
完了はセットを押す

■ 時刻を設定し直すときは： 「時刻を設定し直すには」(P.27)

お知らせ
 ●「回線を設定して下さい」と表示された場合は、手動で設定してください。 「回線種別を設定し直すには」（本ページ下）
 ●ADSLモデム（IP電話機能付きも含む）／ISDNターミナルアダプタ（TA）／ひかり電話対応機器などを本商品に接続した場合は、回線種別を正しく選択できない場合があります。ご利用の回線種別をご確認のうえ手動で設定してください。
 ●親機から1日1回「グー」と音がして、原稿読み取り部が光ります。これは親機が自動的に動作チェックを行っているためで、故障ではありません。そのままご使用ください。

回線種別を設定し直すには

接続した回線に応じて回線種別を設定することができます。

お知らせ
 ●ご利用の回線種別がわからない場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
 ●INSネット64をご利用の場合（ターミナルアダプタ（TA）に本商品を接続するとき）はPB（プッシュ回線）に設定してください。
 ●ADSL回線をご利用の場合でも回線種別の設定は必要です。
 ●お買い求め後、初めて回線に接続して電源を入れると本商品が自動で回線種別を設定します。手動で回線種別を設定したあとは、電源を入れ直しても自動では設定されません。

1 を押す
 初期設定
 電話機能
 ファクス機能
2 を押す
 日付・時刻
 回線種別
 表示濃度
3 [▲] または [▼] で「回線種別」を選び を押す
 日付・時刻
 回線種別
 表示濃度
 回線種別
 回線種別：DP
 <>で選択
4 [<] または [>] で回線種別を選び を押す
お買い求め時の設定：DP（ダイヤル回線）

接続した回線に応じて選びます。
 プッシュ回線：「回線種別：PB」
 ダイヤル回線：「回線種別：DP」
 本商品に自動選択させる：「自動回線選択」

5 [ストップ] を押す

「電話回線確認」と表示されたら：

電話回線の接続を確認する。

「回線を設定して下さい」と表示されたら：

手でPBまたはDPを選ぶ。

時刻を設定し直すには

お知らせ

● 本商品の時計は平均月差±60秒以内です。周囲の温度により月差は変わります。

1  を押す

初期設定
電話機能
ファクス機能

2  を押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

3  を押す

日付・時刻
01/01 00:04
完了はセトを押す

4 ダイヤルボタンで
日付と時刻を入力し
 を押す

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩
ダイヤルボタン

日付・時刻
07 11/21 21:10
完了はセトを押す

日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。

年：西暦（下2桁）

月日：（例：11月21日→1121）

時刻：24時間制（例：午後9時13分→2113）

5  [ストップ] を押す

記録紙のセット

おすすめする記録紙

普通紙 A4

[A4サイズ（250枚1組）]

※一般のコピー紙もお使いいただけます。

ただし、本商品を安定した性能でお使いいただくために、次のような記録紙をお使いください。

オーバーコートなど表面処理をしていない普通紙（コピー用紙）

サイズ：A4

厚さ：0.08mm～0.1mm*

（500枚包でおよそ40mm～50mmの厚さ）

※：厚さの目安：この取扱説明書（本ページ）の厚さが約0.08mmです。

お知らせ

● 添付の記録紙（5枚入り）を使用する場合、保護台紙はセットしないでください。

● 感熱紙は使用できません。

● 次のような記録紙は使用しないでください。

給紙不良や紙づまりの原因になります。

- ・オーバーコートされた普通紙
- ・しわのある紙、折れた紙
- ・OHP フィルム
- ・湿っている紙
- ・表面に光沢のある紙
- ・薄い紙（紙厚が0.08mmより薄い紙）
- ・一度プリントした紙の裏面
- ・厚い紙（紙厚が0.1mmより厚い紙）
- ・一度複数枚送りした紙
- ・長期間セットしたままの紙

● 記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残った記録紙を全て取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下にして先端をそろえ、そっと置くようにセットしてください。

● 未使用の記録紙は、お買い求め時の袋などに入れ、日光や湿気の影響を受けにくい場所で保管してください。

● 記録紙はメーカーによって印刷品質や給紙性能が異なります。上記の範囲の記録紙でも、大量にお買い求めになる前に、本商品によるプリントを試してみることをおすすめします。

えらべる受信スタイル

利用シーンにより、受信スタイルを選ぶことができます。

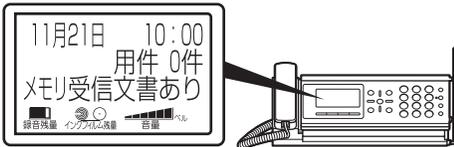
■ カセットレス受信

記録紙カセットを外した状態でコンパクトに利用できますので、ファクス受信の少ない方におすすめです。

ファクスをメモリ代行受信した場合は「メモリ受信文書あり」とディスプレイに表示されます。受信したファクスをプリントするときは、記録紙を記録紙サポーターにセットして操作します（記録紙は5枚までセット可能）。

➡ 「記録紙のセットのしかた」（本ページ下）

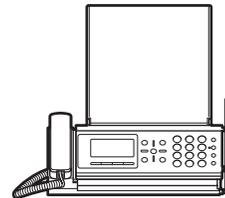
➡ 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」（P.62）



■ カセット受信

ファクス受信が多い方は、記録紙カセットを装着してご利用になることをおすすめします（記録紙は20枚までセット可能）。

➡ 「記録紙のセットのしかた」（本ページ下）



記録紙のセットのしかた

お知らせ

- 記録紙をセットするときは、右記のように記録紙をさばいてセットしてください。
- プリント中には記録紙を追加しないでください。



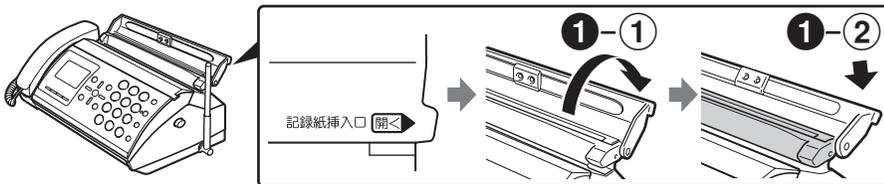
■ 記録紙カセットを使用する場合

お知らせ

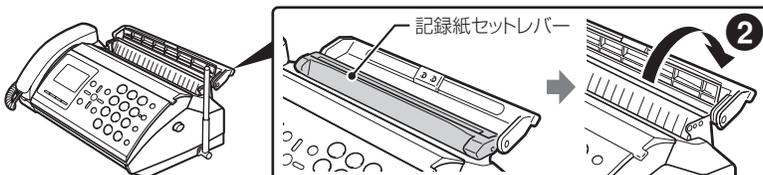
- **セットできる枚数**：最大20枚
- ファクスで送られてきた原稿が長いと、1枚の原稿が2枚以上の記録紙に分割されることがあります。このとき、あとから記録紙を追加すると、1枚目の原稿からくり返しプリントされます。記録紙はなるべく多めにセットしておくことをおすすめします。

1 記録紙カセットを取り付ける

- ① 記録紙挿入口カバーを開き（①-①）、さらに「カチャ」と音がするところまで記録紙挿入口カバーを開く（①-②）



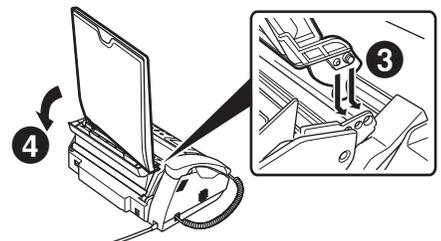
- ② 記録紙セットレバーを開く



- ③ 記録紙カセットの片側を親機の穴に差し込む

- ④ 記録紙カセットの反対側を親機の穴に差し込む

・ 取り付けたあと、記録紙カセットを前後に軽く動かして、外れないことを確認してください。



2 記録紙をセットする

- ① 記録紙カバーを開き、手前にたおす
- ② 記録紙を入れる
 - ・ 紙はよくさばき、さばいた方を下にそろえます。

お知らせ

- 無理に押し込まないでください。紙づまりの原因になります。

- ③ 記録紙カバーを閉じる
 - ・ 必ず閉じてからお使いください。



■ 記録紙サポーターを使用する場合

お願い

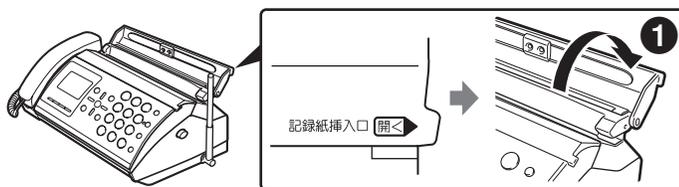
- 親機背面をのぞき込むときは、記録紙サポーターを収納してください。顔などにあたるとけがの原因になることがあります。

お知らせ

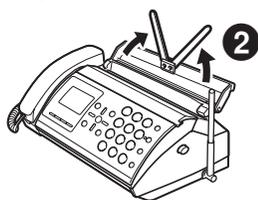
- **セットできる枚数**：最大5枚
- 記録紙セットレバーは、左右のロックがかかった状態で記録紙をセットしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- 記録紙サポーターを使用する場合は、印刷するときに記録紙をセットしてください。
- 印刷しないときは、ホコリよけのため、記録紙挿入口カバーを閉じてください。
- 記録紙セットレバーの「押」マーク（イラストの親指部分）は左側のみに付いていますが、右側を押しても記録紙をセットできます。

1 記録紙サポーターをセットする

- ① 記録紙挿入口カバーを開く



- ② 記録紙サポーターを起こす



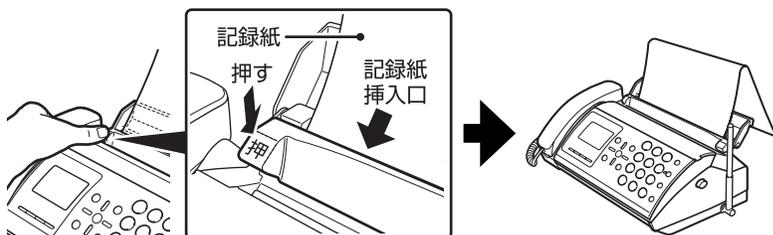
2 記録紙をセットする

- ① 記録紙セットレバーを押しなが
ら、記録紙を記録紙挿入口
にセットする
 - ・ 紙はよくさばき、さばいた
方を下にそろえます。

お知らせ

- 無理に押し込まないでく
ださい。紙づまりの原因
になります。

- ② 記録紙セットレバーから手を離す



組み立てと接続が正しくできたか確認する

お知らせ

- お買い求め時は、ファクスが自動で受けられるように設定されています。☞ 「電話専用／ファクス専用／切替を選ぶ（着信モード）」（P.84）

電話をかけてみる

回線に正しく接続できたか、電話をかけて確認します。☞ 「ダイヤルボタンを押してかける」（P.31）

また、別の電話から本商品にかけて正しく受けられるか確認します。☞ 「電話やファクスを受ける」（P.39）

こんなときは	対処方法／参照先
電話がかけられない	☞ 「困ったときは（Q&A）」（P.115）
電話が受けられない	ナンバー・ディスプレイサービスへのご加入と本商品の設定を確認してください。 加入しているとき ：「する」に設定する。 加入していないとき ：「しない」に設定する。 ☞ 「ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する」（P.70）
	ダイヤルインサービスへのご加入と本商品の設定を確認してください。 ・ダイヤルインサービスをご利用のときは、ナンバー・ディスプレイサービスに加入していなくても、ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にします。 ☞ 「ダイヤルインを設定する／解除する」（P.81）

コピーをとってみる

記録紙が正しくセットできたか、コピーをとって確認します。☞ 「コピーをとる」（P.34）

こんなときは	対処方法／参照先	
記録紙排出口から白紙が出た	原稿を正しくセットしたか確認してください。原稿は裏向きに（コピーする面を記録紙カバーの方へ伏せて）セットします。☞ 「原稿セットのしかた」（P.33）	
ディスプレイにメッセージが表示された	記録紙ありません	記録紙を入れます。☞ 「記録紙のセット」（P.27）
	記録紙づまり	☞ 「紙づまりのとき」（P.113）
	原稿づまり	

■ コピーを途中でやめるには： [ストップ] を押す。

■ 操作を間違えたときは： [親機]  [ストップ] を押す。

 [子機]  を押す。または充電器に戻す。

お知らせ

- お買い求め時の本商品の設定は：☞ 「機能設定／登録早見表」（P.138）
- 設定の状態をプリントアウトして確認するには：☞ 「リストをプリントする」（P.89）

回線付加サービスを利用するには（ナンバー・ディスプレイなど）

ナンバー・ディスプレイやダイヤルイン、キャッチホン・ディスプレイなど回線付加サービスを利用するには、あらかじめ本商品の設定が必要です。

□ **ナンバー・ディスプレイ** ☞ 「ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する」（P.70）

※ ネーム・ディスプレイを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイの設定が必要です。

□ **キャッチホン・ディスプレイ** ☞ 「キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する」（P.79）

□ **モデムダイヤルイン** ☞ 「ダイヤルインを設定する／解除する」（P.81）

お知らせ

- キャッチホンは、あらかじめ設定しなくてもお使いになれます。☞ 「キャッチホン」（P.79）

かんたんに使う

電話をかける

ダイヤルボタンを押してかける

親機

お知らせ

- 次のときは電話がかかけられません。
 - ・ ディスプレイに「内線2 使用中」と表示されている（子機が使用中）。
 - ・ コピーやファクス、スキャンtoパソコンで読み取り動作をしている。
 - ・ 他の機能の設定や、電話帳などの登録をしている。
- コピーやファクスを使ったあとは受話器が温かくなることがありますが、異常ではありません。

- 1 受話器をとり
「ツー」という音を確認する
- 2 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を押す
- 3 通話が終わったら
受話器を戻す



番号を間違えたときは：

受話器を戻し、もう一度とってから電話番号を押す。
先に電話番号を押してから、受話器をとってもかけられます。

子機

お知らせ

- 次のときは電話がかかけられません。
 - ・ ディスプレイに「回線使用中」と表示されている（親機または他の子機が使用中）。
 - ・ 親機でコピーやファクス、スキャンtoパソコンで読み取り動作中、または機能の設定や電話帳の登録をしている（「ビピッ」という音がして「使用中」と表示される）。
 - ・ ディスプレイに「通話圏外」と表示されている（電波の届かない場所にいる、または親機の電源プラグが抜けている）。
- 「通話圏外」と表示されているときに（通話）を押すと、親機との接続動作を行ったあと待機表示になります。もし待機表示にならなければ、親機に近づいてもう一度（通話）を押してください。
- 通話中に「ピーピーピー」と音がするとき
親機の（スタート/コピー）を押すとこの音が鳴り、通話が切れます。

- 1 子機を充電器からとり
（通話）を押して
「ツー」という音を確認する
- 2 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を押す
- 3 通話が終わったら
（切）を押して
子機を戻す



「ツー」の音が聞こえないときは：

（切）を押し、もう一度（通話）を押す。

充電器に置いていないときは：

子機をとり、そのまま（通話）を押す。

先に電話番号を押してから、（通話）を押してもかけられます。

番号を間違えたときは：

（切）を押し、最初からやり直す。

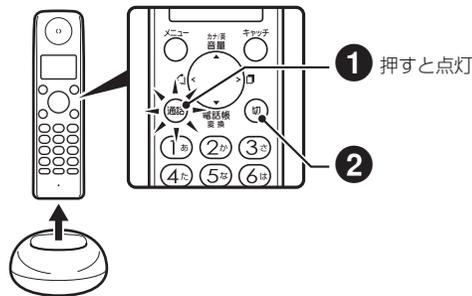
クイック通話が「OFF」の場合、（通話）を押す前に電話番号を押したときは、（通話）を押すと最後の一文字を取り消せます。

お知らせ

- 相手の声が聞こえにくいときは：→「ベル音/受話音/スピーカ音の音量調整」(P.55)
- ボタンを押したときの音を消すには：→「ボタンを押したとき音を鳴らす/鳴らさない(キータッチトーン)」(P.85)
- 携帯電話への通話サービスをお手軽に利用するには：
→「固定電話から携帯電話への通話サービスを簡単に使う(携帯通話設定)」(P.53)

子機のとりにかた／クイック通話

- 子機で電話をかけたり受けたりするときは、充電器からとり(通話)を押す
 - ・(通話)が点灯しているときに、親機で受話器をとったときと同じ状態です。受話口から「ツー」という音がします。
- 電話を切るときは(切)を押す
 - ・充電器に戻すだけでも電話を切ることができます。



本書の表記
 本書の中では、電話を切るときは「(切)を押す」と説明しています。このときは、充電器に戻すだけでも電話を切ることができます。

子機を充電器からとるだけで、電話をかけたり受けたりできるようにする機能を「クイック通話」と言います。
 これにより、親機で受話器をとるのと同じように操作できます。

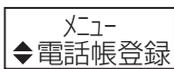
クイック通話をONにする／OFFにする

クイック通話を「ON」に設定すると、子機を充電器からとるだけで電話をかけたり受けたりできるようになります。

子機

1 子機を充電器からとる

2 ○ [メニュー] を押す



3 [▲] または [▼] で「クイック通話」を選び
 ○ [メニュー] を押す



4 [▲] または [▼] で「ON」または「OFF」を選び
 ○ [メニュー] を押す

● お買い求め時の設定：「OFF」
 ● (通話)が点灯しているときは：(切)を押す。

下の表を参考に設定してください。

クイック通話の設定	子機を充電器からとると	電話をかける／受けるには
OFF	(通話) 点灯しない	子機をとって、(通話)を押す
ON	(通話) 点灯する	・ かけるときは子機をとってそのままダイヤルする ・ 受けるときは子機をとるだけで受けられる

本書の表記
 本書の中では、クイック通話を「OFF」に設定した場合の操作を説明しています。

ファクスを送る／コピーをとる

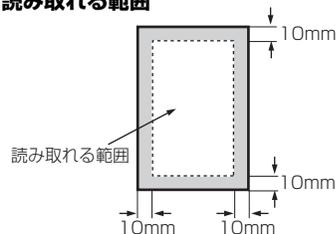
原稿のサイズ／読み取れる範囲

■ 読み取れる原稿のサイズと厚さ

原稿の枚数		1枚	2枚以上
幅×長さ	最大	210mm×600mm (コピーのとき:A4サイズ)	210mm×297mm (A4サイズ)
	最小	128mm×128mm	
厚さ*		0.05～0.15mm	0.065～0.10mm

※：厚さの目安：新聞紙：約0.05～0.06mm 上質紙：約0.10mm
官製はがき：約0.23mm
この取扱説明書（このページ）の厚さが約0.08mmです。

■ 読み取れる範囲



お知らせ

- 1枚だけセットするときと2枚以上セットするときでは、読み取れるサイズと厚さが異なります。
- 幅や厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。
- クリップやホチキスの針は取り除いてください。
- インクや修正液、ノリなどはよく乾かしてからセットしてください。
- 次のような原稿をファクスで送るときは、あらかじめ上記の表「■読み取れる原稿のサイズと厚さ」に合った普通紙に、本商品とは別のコピー機でコピーしてからセットしてください。
 - ・透明な原稿（フィルムやトレーシングペーパーなど）。
 - ・ノリやテープで貼り合わせた原稿。
 - ・やぶれやしわのある原稿。まるまった原稿。
 - ・上記の「読み取れる原稿のサイズ」より小さい原稿、大きい原稿。
 - ・化学処理された原稿（感熱紙、感圧紙、裏カーボン紙など）。
 - ・上記の「読み取れる原稿の厚さ」より薄い原稿、厚い原稿。

原稿セットのしかた

お知らせ

- **セットできる原稿の枚数**：最大5枚
- 6枚以上の原稿を送る場合、送信の途中で追加しないでください。何回かに分けて送ってください。
- 記録紙排出口に残っている紙は、あらかじめ取り除いてください。
- セットした原稿は無理に引き抜かないでください。セットした原稿を取り除くときは、 [ストップ] を押してください。

- 1 原稿挿入口カバーを開く
- 2 原稿セットガイドを読み取る原稿の幅に合わせる

お知らせ

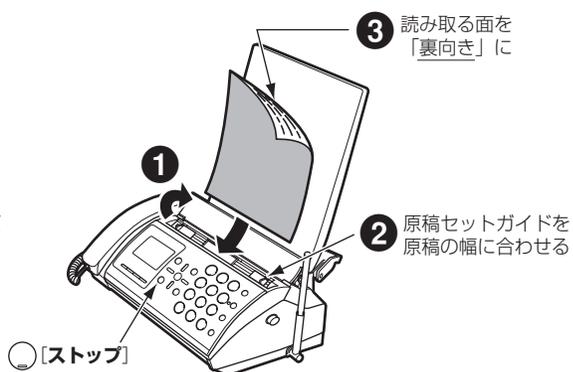
- 原稿セットガイドが原稿の幅に合っていないと、原稿が斜めに入ったり、紙づまりの原因になったりします。

- 3 読み取る面を「裏向き」に原稿を軽く差し込む
 - ・原稿が自動的に引き込まれるまで、軽く差し込んでください。

お知らせ

- 無理に押し込まないでください。原稿は自動的に2cm程度引き込まれます。

・2枚以上の原稿をセットすると下（裏向きに伏せた面）から順に読み取られます。



ファクスを送る（自動送信）

親機 **お知らせ** ●子機では操作できません。

1 原稿をセットする

→「原稿セットのしかた」(P.33)

2 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を押し



○ [スタート/コピー] を押し

お知らせ
●あらかじめ原稿に適した画質の設定になっていることを確認してください。→「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(P.58)

受話器はとらずにダイヤルボタンを押します。

途中で送信をやめるときは：○ [ストップ] を押し。

原稿が排出されずに残ったときは、もう一度○ [ストップ] を押しと排出される。

原稿が排出され、「ピーツ」と鳴ったら送信終了です。

お知らせ
●原稿は自動的に排出されます。途中で一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。
●相手先のファクスの機種によって、送信時間が長くなる場合があります。
●「リダイヤル待ち 1回目」と表示されることがあります。これは、送信相手が話し中などで送信できない場合、自動的に送信をくり返している場合（オートリダイヤル）に表示されます。約1分間隔で5回までくり返し、それでも送信できない場合は不達レポートがプリントされます。→「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」(P.61)
●電話番号をダイヤルする代わりに、別の方法で送信先を選ぶには：
・電話帳に登録した相手先に送る →「電話帳でかける」(P.47)
・リダイヤルに記録された相手先に送る →「同じ相手先にもう一度かける（リダイヤル）」(P.41)
・着信データに登録された相手先に送る →「着信データを使って電話をかける（コールバック）」(P.77)
●通話中にファクスを送るときは：→「電話をかけて通話中に送る（手動送信）」(P.57)
●海外にファクスを送るときは：→「海外へ送るとき」(P.60)
●メールでファクスを送るときは：→「メールを送信する（スキャンtoメール）」(P.104)

コピーをとる

親機 **お知らせ** ●子機では操作できません。

1 原稿をセットする

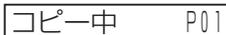
→「原稿セットのしかた」(P.33)

2 ○ [スタート/コピー] を押し



お知らせ
●あらかじめ原稿に適した画質モードになっていることを確認してください。→「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(P.58)

3 ○ [スタート/コピー] を押し



途中でコピーをやめるときは：

○ [ストップ] を押し。

原稿が排出されずに残ったときは、もう一度

○ [ストップ] を押しと排出される。

お知らせ
●原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。
●個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。
・貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
・パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、金券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

留守番電話を使う

留守設定をする

留守中に受けた電話の用件を録音するときは留守設定をします。留守設定がされているときでも、ファクスは自動的に受けられます。

お知らせ

● 録音できる時間と件数

時間：最大3分/件（全ての用件を合計して最大45分。自作の応答メッセージの録音時間を含む。）

件数：最大30件

● 着信ベルの回数が8回以上に設定され、「トールセイバ」が「しない」に設定されている場合は、ファクスを自動受信できないことがあります。

→ 「ベルが鳴る回数を変える」(P.87)

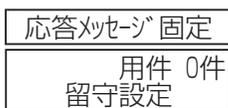
→ 「録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）」(P.68)

● 留守設定がされているときでも、受話器や子機をとれば電話が受けられます。→ 「電話やファクスを受ける」(P.39)

● 在宅中に留守設定をしておく：相手の声をモニタスピーカで確認してから電話にでられます（居留守モニタ）。

親機

1 [留守] を押す



留守設定がされると応答メッセージが流れ、 [留守] が点灯します。

モニタスピーカの音量を調整するには：

応答メッセージが流れている間に調整する。

→ 「ベル音/受話音/スピーカ音の音量調整」(P.55)

子機

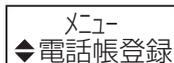
お知らせ

● 次のときはリモコン操作ができません。

- ・ ディスプレイに「回線使用中」と表示されている（親機または他の子機が使用中）。
- ・ 親機でコピーやファクス、スキャンtoパソコンで読み取り動作中、または機能の設定や電話帳の登録をしている（「ビピッ」という音がして「使用中」と表示される）。
- ・ ディスプレイに「通話圏外」と表示されている（電波の届かない場所にいる、または親機の電源プラグが抜けている）。

1 子機を充電器からとる

2 [メニュー] を押す



3 または で「リモコン操作」を選び
 [メニュー] を押す



4 「リモコン中」が表示されたら
 (7) を押す



が点灯しているときは： (留守) を押す。

→ 「子機のとりにかた/クイック通話」(P.32)

「ビピッ」と音がするときは：

親機が使用中なので、しばらく待ってやり直します。

お知らせ

- 「リモコン中」が表示されてから、1分以内に押します。

留守設定がされると子機の手話口から「留守設定をしました。」のメッセージが流れます。

5 (留守) を押す

応答メッセージは本商品の状態に応じて異なります。

本商品の状態	メッセージ「ただいま留守にしております。...」
通常	「...電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方はそのまま送信してください。」※
・用件が録音できない ・ファクスは受信できる (用件がいっぱい)	「...ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」
・用件は録音できる ・ファクスが受信できない	「...電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」
・用件が録音できない ・ファクスが受信できない (メモリ残量が不足)	「...恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」

※：「通常」の応答メッセージは自作のメッセージに変更できます。🔊「自作の応答メッセージを使う」(P.65)

お知らせ

●留守設定をしても応答メッセージが聞こえないときは：次の確認をしてください。

- ・モニタスピーカの音量が「切」になっていないか。🔊「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」(P.55)
- ・自作の応答メッセージが正しく録音されているか。🔊「自作の応答メッセージを使う」(P.65)
- ・着信中に📞【留守】を押したか。→着信中に押すと応答メッセージは聞こえないが、留守設定はされる(呼出ベルに変わったあとでは留守設定ができない)。

留守設定をしたとき、メモリ残量が不足していると次のメッセージが流れます。

メッセージ	状態	対処のしかた
「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」	留守設定ができません。	不要な用件を消去する🔊「録音された用件を聞く／消去する」(P.37)
「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください。」	すぐに用件を録音できなくなります。	メモリ代行受信したファクス受信文書がある場合🔊「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」(P.62)、「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.62)

留守設定を解除する

親機

お知らせ

●録音された用件があると：📞【留守】が点滅し、ディスプレイに録音された用件の件数が表示されます。

1 📞【留守】を押す

用件再生

留守設定が解除されると録音された用件に応じてメッセージが流れ、📞【留守】が消灯します。

録音された用件に応じて次のメッセージが流れます。

メッセージ	再生
「用件は〇〇件です。」	録音された全ての用件が再生されます。1件ごとに録音された日時を音声で知らせます(タイムスタンプ)。 再生を途中でやめるには：📞【ストップ】を押す。
	<p>お知らせ</p> <p>●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は：ディスプレイに相手先の電話番号、電話帳に登録された相手先の名前が表示されます。なお、さかのぼり録音のときは表示されません。</p>
「用件はありません。」	録音された用件はありません。

■モニタスピーカの音量を調整するには：🔊「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」(P.55)

子機

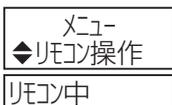
1 子機を充電器からとる

2 📞【メニュー】を押す

📞が点灯しているときは：📞を押す。
🔊「子機のとりかた／クイック通話」(P.32)

メニュー
◆電話帳登録

3 [▲] または [▼] で
「リモコン操作」を選び
○ [メニュー] を押す



4 「リモコン中」が
表示されたら
○ [9] を押す



5 ○ [切] を押す

「ビビッ」と音がするときは：

親機が使用中なので、しばらく待ってやり直
す。

お知らせ

● 「リモコン中」が表示されてから、1分以内に押し
ます。

留守設定が解除されると子機の受話口から「留守
設定を解除しました。」のメッセージが流れます。

録音された用件を聞く／消去する

録音された用件は留守設定を解除したときに自動的に再生されますが、一度再生された用件でも消去しな
ければ何度でもくり返し聞くことができます。

親機

1 を押す

用件が再生されます。

再生された用件が聞こえないときは：

モニタスピーカの音量が「切」になっていな
いか確認する。→ 「ベル音／受話音／スピー
カ音の音量調整」(P.55)

■ 用件を消去するには

消去する用件	操作のしかた
再生中の用件（1件）を消去する	1. 消去する用件が再生されている間に を押す。 消去する用件の再生終了後に「消去しました。」というメッセージが流れ、 次の用件が再生されます。 お知らせ ● すぐに用件を消去したいときは： 手順1で を順に押し、用件と録 音日時を再生を待たずに用件が消去され、次の用件が再生される。 2. 操作を終了するときは [ストップ] を押す。
聞き終わった用件を全て消去する (一部でも再生した用件は消去される)	再生終了後、右の画面が表示されている間（約6秒間） を押す。

お知らせ

- 録音された用件を全て（再生していないものも含めて）消去するには：→ 「録音された用件を全て消去する」(P.65)
- 録音された用件を通話中の相手に聞かせるには：→ 「通話中に留守番電話の用件を再生する」(P.53)

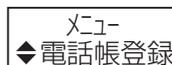
子機

1 子機を充電器からとる

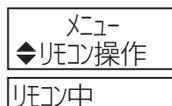
が点灯しているときは：○ [切] を押す。

→ 「子機のとりかた／クイック通話」(P.32)

2 ○ [メニュー] を押す



3 [▲] または [▼] で
「リモコン操作」を選び
○ [メニュー] を押す



4 「リモコン中」が
表示されたら
○ [2] を押す



「ビビッ」と音がするときは：

親機が使用中なので、しばらく待ってやり直
す。

お知らせ

● 「リモコン中」が表示されてから、1分以内に押し
ます。

用件が再生されます。

5 を押す

■用件を消去するには

消去する用件	操作のしかた
再生中の用件（1件）を消去する	1. 消去する用件が再生されている間に  を押す。 消去する用件の再生終了後に「消去しました。」というメッセージが流れ、次の用件が再生されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>お知らせ</p> <p>● すぐに用件を消去したいときは：手順1で  を順に押すと、用件と録音日時の再生を待たずに用件が消去され、次の用件が再生される。</p> </div> 2. 操作を終了するときは  を押す。
聞き終わった用件を全て消去する（一部でも再生した用件は消去される）	再生終了後、「ピッピッピ」の音が聞こえている間（約6秒間）に  を押す。「再生済みの用件を消去しました。」のメッセージが流れたら、  を押す。

再生中の操作

再生速度を変えたり、再生中の用件をとばして次の用件を聞いたり、もう一度最初から聞いたりすることができます。

操作	ボタン		詳細
	親機	子機	
再生速度を変える			押すたびに「通常→高速→低速→通常…」の順で変わる。
最初から再生する			再生中の用件を最初から再生する。2度続けて押すと、1つ前の用件を再生する。
次の用件を再生する			次の用件を再生する。2度続けて押すとさらに次の用件を再生する。
再生をやめる	 [ストップ]		再生を中止する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>お知らせ</p> <p>● 再び最初から再生するには を押す を押す</p> </div>
消去する（1件）			再生中の用件を消去する。 再生終了後に「消去しました。」のメッセージが流れる。

■再生中にスキップしたいときは（30秒スキップ再生）

用件を再生しているときに、再生箇所をスキップすることができます。

お知らせ ● 子機では操作できません。

ボタン	機能
	1回押すと、約30秒先に進む。
	1回押すと、約15秒前に戻る。

電話やファクスを受ける

ベルが鳴ったら

ベルが鳴ったら受話器や子機をとり、電話やファクスを受けます。着信モードが「ファクス専用」または「電話／ファクス切替」に設定されているときは、自動的にファクスを受信します。自動受信する前に受話器や子機をとった場合は、手動で受信させることもできます。

☞ 「電話専用／ファクス専用／切替を選ぶ（着信モード）」（P.84）

親機

ベルが鳴ったら
受話器をとる

受けた着信が電話の場合は、着信ベルが数回鳴ったあとに呼出ベルに変わりますが、ベルの音は同じです。どちらのベルが鳴っているときでも電話が受けられます。

受話器から
...

- 相手の声がしたとき
- 「ポーポーポー」の音がしたあと、次のメッセージが聞こえたとき
「ファクシミリを受信します。
受話器を置いてお待ちください。」
- 「ポーポーポー」の音がしたあと、メッセージが聞こえないとき
- 何も音がしないとき

そのまま通話する

電話の着信です。外線か内線かは着信音でわかります。

受話器を戻す

「ファクスかんたん受信」を「する」に設定しているときは、ファクスの着信をお知らせするメッセージが聞こえます。（ファクスかんたん受信 ☞ P.61）受話器を戻すと自動受信します。

○ [スタート/コピー] を押す

ファクスの着信です。手動で受信してください。
☞ 「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.57）

○ [スタート/コピー] を押す

ファクスの着信の場合があります。ファクスの手動受信を試してください。
☞ 「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.57）

通話が終わったら
受話器を戻す

お知らせ

● 記録紙排出口にたくさんの紙（10枚以上）をためないようにしてください。

子機

ベルが鳴ったら
子機を充電器からとり
☞ を押す

子機の着信ベルは親機よりも少し遅れて鳴ります（電波の状況によって、遅れかたに若干の差があることがあります）。

受けた着信が電話の場合は、着信ベルが数回鳴ったあとに呼出ベルに変わりますが、ベルの音は同じです。どちらのベルが鳴っているときでも電話が受けられます。

充電器に置いていないときは：そのまま☞ を押します。

受話口から
...

- 相手の声がしたとき
- 「ポーポーポー」の音がしたあと、次のメッセージが聞こえたとき
「ファクシミリを受信します。
受話器を置いてお待ちください。」
- 「ポーポーポー」の音がしたあと、メッセージが聞こえないとき
- 何も音がしないとき

そのまま通話する

電話の着信です。外線か内線かは着信音でわかります。

☞ を押し、子機を戻す

「ファクスかんたん受信」を「する」に設定しているときは、ファクスの着信をお知らせするメッセージが聞こえます。（ファクスかんたん受信 ☞ P.61）☞ を押しと自動受信します。

☞ を押し、☞ を押す

ファクスの着信です。手動で受信してください。
☞ 「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.57）

☞ を押し、☞ を押す

ファクスの着信の場合があります。ファクスの手動受信を試してください。
☞ 「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.57）

通話が終わったら
☞ を押し、
子機を充電器
に戻す

お知らせ

● 子機で通話中に、親機の○ [スタート/コピー] を押すと、「ピーピーピー」という音が鳴り、通話が切れます。

着信の種類を判断する（電話かファクスか）

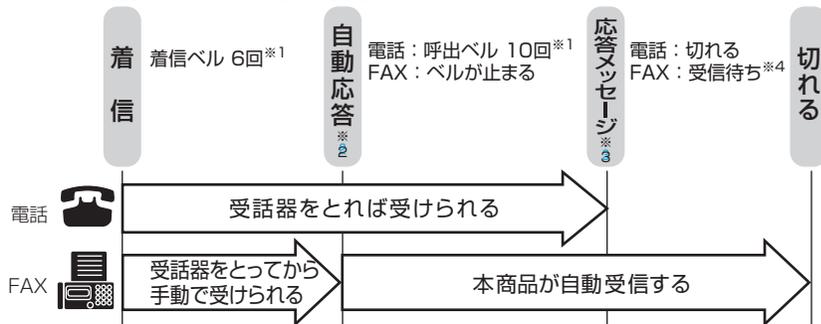
本商品の受ける着信には外線電話、ファクスと内線電話（他の親機や子機からの呼び出し）があります。本商品では着信の種類を着信音や受話器（または子機）をとったときの音で判断できます。

本商品では外線からの着信があると電話かファクスかを自動的に判断して、電話なら呼出ベルを鳴らし、ファクスなら自動受信することができます。これを「電話／ファクス自動切替」と言います。

■外線／内線



■電話／ファクス自動切替のしくみ



※1：着信ベル／呼出ベルの回数は変えられます。🔊「ベルが鳴る回数を変える」(P.87)

※2：本商品が電話かファクスかを自動的に判断します。この時点で相手先に通話料がかかります。

※3：相手先に次の応答メッセージを流します。

「ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」

※4：ファクスの受信をしばらく待ちます（30～40秒）。相手先では信号音が出ます。

着信の種類によって、着信ベルが次のように変わります。

着信ベル	受話器をとると	着信の種類	操作	参照先
「ブルルル、ブルルル...」 と長く鳴る※1	相手の声がある	外線電話	そのまま相手と話せる	「ベルが鳴ったら」 (🔊P.39)
	「ポーポーポー」 と音がある	ファクス	受話器を戻すとファクスを受信する※2	「ベルが鳴ったら」 (🔊P.39)
	何も音がしない※3	ファクス かもしれない	ファクスを手動受信する	「ボタンを押して受ける (手動受信)」 (🔊P.57)
6回で止まる※4	(受話器をとらない)	ファクスなら本商品が自動受信する		—
		電話なら本商品が録音する(留守設定時)		「留守設定をする」 (🔊P.35)
「ピピ、ピピ..」 と短く鳴る	相手の声がある	内線電話	そのまま相手と話せる	「ベルが鳴ったら」 (🔊P.39)

この表は、お買い求め時の設定のまま使用した場合の本商品の動作を記しています。設定を変更するとそれぞれの動作も変わります。

※1：外線の着信音の音色は変えられます。🔊「ベルの音色を変える／メロディにする」(P.87)

※2：「ファクスかんたん受信」を「しない」に設定しているときは手動で受信します(ファクスかんたん受信🔊P.61、手動受信🔊P.57)。

※3：相手先のファクスの機種によって音がしないことがあります。この場合はファクスの手動受信を試して確認します。(手動受信🔊P.57)

※4：着信ベルの回数は変えられます。🔊「ベルが鳴る回数を変える」(P.87)

「トールセイバ」が「する」に設定されていると、留守設定のときの着信ベルの回数が変わります。

🔊「録音された用件があるか外出先から確認する(トールセイバ)」(P.68)

べんりに使う

電話

同じ相手先にもう一度かける (リダイヤル)

以前に電話をかけた相手先の電話番号が自動的に記録されています。同じ相手先にもう一度かけるとき、記録された電話番号を▲▼ボタンで選ぶだけで、簡単にかけられます。

親機

お知らせ

●記録される件数と桁数

- 件数：最大10件 桁数：最大4桁（1件につき）
- 10件を超えると古いものから順に消去されます。

●ファクスを送信した電話番号も記録されます。話し中で通話できなくても記録されます。

●子機に記録された電話番号にはかけられません。子機でかけた電話番号は親機には記録されません。

1 [>] (リダイヤル) を押す



01)
0312345678

お知らせ

●直前にかけた電話番号にかけるときは：次のようにすると、電話番号を選ばなくてもかけられます。

・先に受話器をとってから [>] (リダイヤル) を押す。

・[オンフック/キャッチ] を押ししてから [>] (リダイヤル) を押す。→「受話器や子機を持たずに電話をかける (オンフックダイヤル)」(本ページ下)

●電話帳でかけた相手先は：登録した相手先名と電話番号が表示されます。

2 [▲] または [▼] で記録された電話番号を選び受話器をとる

記録された電話番号を消去するには

- 手順2で電話番号を選んだあと、受話器をとらずに [消去] を押す。
- 右の画面が表示されたら [セット] を押す。

消去をやめる場合は：[<] または [>] で「中止」を選び、[セット] を押す。

0312345678
消去/中止

子機

お知らせ

●記録される件数と桁数

- 件数：最大10件 桁数：最大24桁（1件につき）
- 10件を超えると古いものから順に消去されます。

●話し中で通話できなくても記録されます。

●親機に記録された電話番号にはかけられません。親機でかけた電話番号は子機には記録されません。親機でファクスを送信した電話番号は子機には記録されません。

1 子機を充電器からとり [>] (リダイヤル) を押す



0312345678

お知らせ

●電話帳でかけた相手先は：登録した相手先名と電話番号が表示されます。

2 [▲] または [▼] で記録された電話番号を選び [通話] を押す

記録された電話番号を消去するには

- 手順2で電話番号を選んだあと、[通話] を押さずに [保留 消去] を押す。
- 「消去しますか?」が表示されたら、[▲] または [▼] で「はい」を選び、[保留 消去] (または [メニュー]) を押す。

消去をやめる場合は：[切] を押すか、「いいえ」を選んで [メニュー] を押す。

受話器や子機を持たずに電話をかける (オンフックダイヤル)

親機の場合は受話器をおいたまま、子機の場合は受話口を耳から離れた状態でも、モニタスピーカから流れる相手の方の応答を確認してから通話することができます。

親機

お知らせ

- オンフックで通話中は、キャッチホンを受けられません。[オンフック/キャッチ] を押すと通話が切れます。
- 受話器をとって通話したときは、オンフックに切り替えられません。
- 手順3で受話器をとるまで、こちらの声は相手に聞こえません。

1 受話器を置いたまま [オンフック/キャッチ] を押し、「ツー」という音を確認する

オンフック中

オンフックダイヤルのときは、モニタスピーカから音や相手の声が聞こえます。

2 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押す

0312345678

電話番号を間違えたときは：

[オンフック/キャッチ] を押しつつ電話を切り、手順1からやり直す。

3 相手が電話にでたら受話器をとって通話する

受話器をとる前に電話を切るには：

[オンフック/キャッチ] を押す。

子機

お知らせ

- 充電器に置いているときは、手順1で「オンフック」を押してもオンフックに切り替えられません。
- 手順3で「オンフック」を押すまで、こちらの声は相手に聞こえません。

- 1 「オンフック」を押し「ツー」という音を確認する
- 2 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押す
- 3 相手が電話にでたら「オンフック」を押して通話する

オンフックダイヤルのときは、モニタスピーカから音や相手の声が聞こえます。

電話番号を間違えたときは：

【切】を押していったん電話を切り、手順1からやり直す。

手順3で「オンフック」を押す前に電話を切るには：

【切】を押す。

電話帳に相手先を登録する

親機

相手先の電話番号をあらかじめ登録しておくと、電話帳ボタンを使って選ぶだけで簡単に電話がかけられます。ファクス番号も登録できます。

お知らせ

- 登録できる件数：最大200件
- 「電話帳フル」と表示されたときは、すでに200件の相手先が登録されています。不要な相手先の名前と電話番号を消去してから登録してください。→「登録した名前と電話番号を消去する」(P.43)
- まちがい電話を防ぐため、電話番号を電話帳に登録するときは、画面を見ながら正しく登録してください。
- 登録した相手先をプリントアウトして確認するには：→「リストをプリントする」(P.89)

相手先の名前と電話番号を登録する

- 1 【セット】を押す

電話帳登録
> 名前?
かな

- 2 相手先の名前を入力し【セット】を押す

友人
読みカナ?
ウジン

名前の文字数：最大全角8文字

→「文字入力について」(P.144)

- 3 読みカナを確認し【セット】を押す

読みカナの文字数：最大12文字

→「文字入力について」(P.144)

「。」の読みカナは、それぞれ「。」になります。

電話番号の桁数：最大32桁

— (ポーズ) を入れるには：

【さかのぼり録音】を押す。

ナンバー・ディスプレイを利用するときは：

- ・ 市外局番から入力する。
- ・ 「*」「#」「— (ポーズ)」は入力しない。

- 4 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を入力し【セット】を押す

友人
0312345678
友人
0312345678
メールアドレス?

メールアドレスの文字数：

最大英数字／記号50文字

→「文字入力について」(P.144)

- 5 メールアドレスを入力し【セット】を押す

t u k i @ a b
アドレス属性
PC / 携帯

お知らせ

- メールアドレスの表示について：画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。

メールアドレスを登録しないときは：

メールアドレスを入力せずに【セット】を押し、手順7へ。

続けて他の相手先を登録するには：

手順2～6をくり返す。

- 6 [<] または [>] で入力したメールアドレスがパソコン／携帯電話のどちらのアドレスかを選び【セット】を押す

友人
0312345678
登録しました

途中で登録をやめるときは：【ストップ】を押す。

- 7 登録を終了するときには【ストップ】を押す

登録した名前や電話番号を変更する

- 1 [電話帳] を押す
友人
0312345678
▲▼で選択
- 2 [▲] または [▼] で変更する相手先を選び、[セット] を押す
消去 / 変更
- 3 [<] または [>] で「変更」を選び [セット] を押す
友人
- 4 名前を変更し [セット] を押す
親戚
- 5 読みカナを変更し [セット] を押す
読みカナ?
シンセキ
親戚
0312345678
- 6 ダイヤルボタンで電話番号を変更し [セット] を押す
親戚
0612345678
親戚
0612345678
tuki@abc
- 7 メールアドレスを変更し [セット] を押す
yy.ne.jp
アドレス属性
PC / 携帯
- 8 [<] または [>] でパソコン/携帯電話(メールアドレス)の設定を変更し、[セット] を押す

次の画面が表示されたときは：

[<] または [>] で「中止」を選び、[セット] を押す。

03
消去 / 中止

→ 「文字入力について」(P.144)

名前を変更しないときは：

[セット] を押し、手順5へ。

読みカナを変更しないときは：

[セット] を押し、手順6へ。

電話番号の変更方法

- 番号の入力 : ダイヤルボタン
- (ポーズ) : [さかのぼり録音]
- カーソルの移動 : [<] [>]
- 番号を全て消去 : [消去]

電話番号を変更しないときは：

[セット] を押し、手順7へ。

お知らせ

- メールアドレスの表示について：画面には全角英数字/記号が表示されますが、半角英数字/記号として登録されます。

メールアドレスを変更しないときは：

そのまま [セット] を押す。

途中で変更をやめるときは：[ストップ] を押す。

登録した名前と電話番号を消去する

- 1 [電話帳] を押す
友人
0312345678
▲▼で選択
- 2 [▲] または [▼] で消去する相手先を選び、[セット] を押す
消去 / 変更
- 3 [セット] を押す
消去 / 中止
- 4 [セット] を押す
消去しました

次のような画面が表示されたときは：

[ストップ] を押して、最初からやり直す。

友人

消去するのをやめるときは：

[<] または [>] で「中止」を選び、[セット] を押す。

親機の電話帳から子機に転送する

親機に登録した相手先を子機に転送できます。転送された相手先は子機の電話帳に追加されます。

お知らせ

- 子機にあらかじめ登録された相手先は消えません。
- 子機の電話帳にすでに最大件数（100件）の相手先が登録されていると転送できません。
- メールアドレスは転送されません。
- 次のような相手先は転送されません。
 - ・ 同じ名前と同じ電話番号の相手先が子機の電話帳に登録されている
 - ・ 電話番号が25桁以上

- 転送先の子機は転送が終わるまで使用できません。子機のディスプレイに「転送中」と表示されます。
- 次のときは転送が中断されます。
 - ・ 子機の登録件数が最大件数（100件）に達した
 - ・ 着信を受けた
 - ・ エラーが発生した

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

途中で転送をやめるときは：[ストップ] を押す。

2 [▲] または [▼] で
「電話帳転送」を選び
[セット] を押す

電話帳転送
WIFI BAND

転送方法

一斉／個別

3 [<] または [>] で
「一斉」または「個別」を選び
[セット] を押す

転送内線番号
内線 2
<>で選択

一斉転送／個別転送の選びかた

全ての相手先を転送する：「一斉」

1件ずつ選んで転送する：「個別」

子機が1台の場合：「<>で選択」は表示されません。

子機が2台以上ある場合は：

[<] または [>] で転送先の子機の内線番号を選び、[セット] を押して手順4へ。

内線番号について  「受けた電話を転送する（外線転送）」（P.48）

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む

「一斉」 → ■一斉転送

「個別」 → ■個別転送

■一斉転送

4 [セット] を押す

転送を開始します
スタートを
押して下さい

5 [スタート/コピー] を押す

内線 2
電話帳転送中
1/45件

電話帳転送
転送終了しました

・ 転送中に [ストップ] を押すと、[ストップ] を押したところまで転送されます。

・ ディスプレイに転送された件数が表示されます。

■個別転送

4 [セット] を押す

友人
0312345678
▲▼で選択

5 [▲] または [▼] で
転送する電話帳の相手先を選び
[セット] を押す

転送を開始します
スタートを
押して下さい

6 [スタート/コピー] を押す

内線 2
電話帳転送中

電話帳転送
転送終了しました

続けて他の相手先を転送するには：

手順5～6をくり返す。

7 終了するときには
[ストップ] を押す

■ 転送された相手先を確認するには：子機の【電話帳】を押す。

■ 次のようなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因／対処のしかた
「…〇件 転送NG」 「転送できません」	25桁以上の電話番号や、電話番号のないメールアドレスだけが登録された電話帳が含まれている。「〇件」は転送できなかった件数を示す。子機に転送するときは、電話番号を変更／登録してから転送し直す。 →「登録した名前や電話番号を変更する」(P.43)
「電話帳フル」	子機にはすでに最大件数（100件）の電話番号が登録されている。子機の電話帳から不要な電話番号を削除してから転送し直す。 →「登録した名前と電話番号を消去する」(P.46)

電話帳に相手先を登録する

子機

相手先の電話番号をあらかじめ登録しておくと、電話帳ボタンを使って選ぶだけで簡単に電話がかけられます。

お知らせ

- 登録できる件数：最大100件
- 子機にメールアドレスは登録できません。
- 「電話帳フル」と表示されたときは、すでに100件の相手先が登録されています。不要な相手先の名前と電話番号を消去してから登録してください。→「登録した名前と電話番号を消去する」(P.46)
- 60秒以内にボタンを操作しないと、「ピーピーピー」と鳴り、登録が中止されます。中止されたときは最初からやり直してください。
- まちがい電話を防ぐため、電話番号を電話帳に登録するときは、画面を見ながら正しく登録してください。

相手先の名前と電話番号を登録する

1 子機を充電器からとる

2 【メニュー】を押し
「電話帳登録」が表示されたら
もう一度【メニュー】を押す

メニュー
◆ 電話帳登録

名前？
残り 100件
>
かな

3 相手先の名前を入力し
【メニュー】を押す

友人■

読みカナ？
ウジン

4 読みカナを確認し
【メニュー】を押す

友人

電話番号？

5 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を入力し
【メニュー】を押す

友人

0312345678■

登録しました

【通話】が点灯しているときは：【切】を押す。

→「子機のとりかた／クイック通話」(P.32)

名前の文字数：最大全角8文字

→「文字入力について」(P.146)

読みカナの文字数：最大12文字

→「文字入力について」(P.146)

電話番号の桁数：最大24桁

12桁を超える番号は横にスクロール表示されます。

—（ポーズ）を入れるには：

【キャッチ】を押す。

ナンバー・ディスプレイを利用するときは：

・市外局番から入力する。

・「*」「#」「—（ポーズ）」は入力しない。

続けて他の相手先を登録するには：

手順3～5をくり返す。

途中で登録をやめるときは：【切】を押す。

登録した名前や電話番号を変更する

- 1 子機を充電器からとり
【電話帳】を押す

友人
0312345678

【通話】が点灯しているときは：【切】を押す。
→ 「子機のとりかた／クイック通話」(P.32)

- 2 [▲] または [▼] で変更する相手先を選び
【メニュー】を押す

友人

- 3 名前を変更し
【メニュー】を押す

親戚

→ 「文字入力について」(P.146)
名前を変更しないときは：
【メニュー】を押し、手順4へ。

- 4 読みカナを変更し
【メニュー】を押す

読みカナ？
シヤキ

読みカナを変更しないときは：
【メニュー】を押し、手順5へ。

親戚
0312345678

- 5 ダイヤルボタンで
電話番号を変更し
【メニュー】を押す

親戚
0612345678

電話番号の変更方法

番号の入力 : ダイヤルボタン
— (ポーズ) : 【キャッチ】
カーソルの移動 : 【<】 【>】
— 文字消去 : 【保留 消去】
番号を全て消去 : 【保留 消去】を長く押す (2秒以上)。

電話番号を変更しないときは：
そのまま【メニュー】を押す。
途中で変更をやめるときは：【切】を押す。

登録した名前と電話番号を消去する

お知らせ ● 複数の子機をお使いの場合、子機ごとに操作してください。1度の操作で複数の子機の登録内容は消去できません。

- 1 子機を充電器からとり
【電話帳】を押す

友人
0312345678

【通話】が点灯しているときは：【切】を押す。
→ 「子機のとりかた／クイック通話」(P.32)

- 2 [▲] または [▼] で
消去する相手先を選び
【保留 消去】を押す

消去
しますか？
◆はい

- 3 【保留 消去】(または【メニュー])を押す

消去しました

消去するのをやめるときは：【切】を押す。

リダイヤルデータを電話帳に登録する

- 1 リダイヤルデータに記録された電話番号を選ぶ

→ 「同じ相手先にもう一度かける (リダイヤル) (子機) 手順1～2 (P.41)

- 2 【メニュー】を押す

名前？
残り 100件
>
かな

「電話帳フル」が表示されたら：

→ 「登録した名前と電話番号を消去する」(本ページ上)

- 3 相手先の名前を入力し
【メニュー】を押す

友人

→ 「文字入力について」(P.146)

- 4 読みカナを確認し
【メニュー】を押す

読みカナ？
ウジン

- 5 【メニュー】を押す

電話帳でかける

あらかじめ電話帳に登録した電話番号を、電話帳ボタンと▲▼ボタンで選んで電話をかけます。

親機

1 [電話帳] を押す

友人
0312345678

2 [▲] または [▼] で
電話する相手先を選び
受話器をとる

相手先の名前は、登録された読みカナにより、次の順で表示されます。

- 1.スペースで始まる
- 2.数字で始まる
- 3.50音順
- 4.アルファベット
- 5.記号
- 6.読みカナが登録されていない

受話器をとってから電話番号を選んだときは：
[スタート/コピー] を押す。

子機

お知らせ

●親機の電話帳に登録した相手先を、子機に転送するには：☞「親機の電話帳から子機に転送する」(P.44)

1 [電話帳] を押す

友人
0312345678

2 [▲] または [▼] で
電話する相手先を選び
[通話] を押す

相手先の名前は、登録された読みカナにより、次の順で表示されます。

- 1.スペースで始まる
- 2.数字で始まる
- 3.50音順
- 4.アルファベット
- 5.記号
- 6.読みカナが登録されていない

お知らせ

●登録された相手先をすばやく探す方法

ダイヤルボタンに割り振られた50音の行の文字で探します。

読みカナに登録した最初の文字の行のダイヤルボタンを押す。例：「佐藤」→「サトウ」(さ行)→[3](さ)

- ・ダイヤルボタンを押すたびに、同じ行の相手先名が順に表示されます。
- ・記号(ー * & など)で始まる相手先名を探すときは、[0] を押します。
- ・ダイヤルボタンを押しても表示が変わらないときは、該当する行の相手先名が登録されていません。

通話中の相手に待ってもらおう(保留)



電話を切らずに相手に待ってもらうことができます。相手先にはメロディ音が流れ、こちらの声は聞こえません。

お知らせ

●内線通話は保留にできません。

■保留中のメロディ音を変えるには：☞「保留のメロディを変える」(P.88)

親機

お知らせ

●保留にすると受話器を戻しても電話は切れません。もう一度受話器をとると通話を再開できます。

1 通話中の相手に待ってもらうときに
[保留/内線] を押し、受話器を戻す

保留にしたまま10分以上過ぎると電話が切れます。

2 再び相手と通話するには
受話器をとる

子機で保留にした通話を親機で再開するには：

(子機)手順1 (☞本ページ下) で保留にし、子機を充電器に戻すか [切] を押したあと、受話器をとる。

子機

お知らせ

●保留にすると子機を充電器に戻しても電話は切れません。もう一度子機をとり、[通話] を押すと通話を再開できます。クイック通話が「ON」のときは、子機をとるだけで通話を再開できます。☞「クイック通話をONにする/ OFFにする」(P.32)

1 通話中の相手に待ってもらうときに
[保留 消去] を押す

保留にしたまま10分以上過ぎると電話が切れます。

2 再び相手と通話するには
[通話] または [保留 消去] を押す

親機で保留にした通話を子機で再開するには：

(親機)手順1 (☞本ページ上) で保留にしたあと、子機をとり [通話] を押す。クイック通話が「ON」のときは、子機をとるだけで再開できる。

受けた電話を転送する（外線転送）

通話中

親機で受けた外線を子機に転送できます。また、子機で受けた外線を親機や他の子機に転送できます。

内線番号は次の順に決まります。子機の内線番号は待受中のディスプレイに表示されます。

内線番号	ディスプレイの表示	P-721ND	P-721NDw
1	—	親機	親機
2	内線2	付属の子機	付属の子機（1台目）
3	内線3	増設子機（1台目）	付属の子機（2台目）
4	内線4	増設子機（2台目）	増設子機（1台目）

増設子機は別売品です。→「子機を増設するとき」(P.132)

親機から子機に転送する

1 [保留/内線] を押す

保留中♪ → 内線?

外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。

2 ダイヤルボタンで
転送先の内線番号を押す

内線2 を呼出中

子機の内線番号： [2] / [3] / [4]
全ての子機を一斉に呼び出すとき： [*]
 手順2で、親機から呼び出されると、
 子機には右の画面が表示されます。

内線1 から
着信中

3 転送先の相手が出たら
転送することを相手に伝え
受話器を戻す

- 親機が受話器を戻すと、転送先の子機に外線につながり、転送先で外線通話ができます。
- 親機が受話器を戻す前に転送先の子機が [切] を押すと転送されず、再び親機で同じ外線と通話できます。

子機が出ないときは： [保留/内線] を押すと外線通話に戻る。

子機から親機に転送する

1 [内線] を押す

呼出先?
1346*

親機および子機の内線番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンの
[1] を押す

内線1 を
呼出中

外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。

親機の内線番号： [1]
 手順2で、子機から呼び出されると、
 親機には右の画面が表示されます。

内線2 から着信中

3 転送先の相手が出たら
転送することを相手に伝え
[切] を押す

- 子機の [切] を押すと、外線が親機につながり、親機で外線通話ができます。
- 子機が [切] を押す前に親機が受話器を戻すと転送されず、再び子機で同じ外線と通話できます。

親機が出ないときは： [内線] を押すと外線通話に戻る。

子機から子機に転送する

1 [内線] を押す

呼出先?
1346*

親機および子機の内線番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンで
転送先の内線番号を押す

内線3 を
呼出中

外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。

子機の内線番号： [2] / [3] / [4]
親機と全ての子機を一斉に呼び出すとき： [*]
 手順2で、子機から呼び出されると、呼び出された子機には右の画面が表示されます。

内線2 から
着信中

3 転送先の相手が出たら
転送することを相手に伝え
[切] を押す

- 転送する側の子機が [切] を押すと、転送先の子機に外線につながり、転送先で外線通話ができます。
- 転送する側の子機が [切] を押す前に転送先の子機が [切] を押すと転送されず、再び転送する側の子機で同じ外線と通話できます。

転送先の子機が出ないときは： [内線] を押すと外線通話に戻る。

お知らせ

- 一斉に呼び出す内線番号（[*]）は子機が2台以上のときに使えます。
- **通話中の電話機を親機または子機に切り替えるときは**
親機から子機へ：親機で【保留／内線】を押し、受話器を戻したあと、子機をとって【通話】を押し。
子機から親機へ：子機で【保留 消去】を押し、【切】を押ししたあと、親機の受話器をとる。

親機と子機／子機と子機で通話する（内線通話）

親機と子機、または2台の子機の間で内線通話ができます。

内線番号については、「受けた電話を転送する（外線転送）」（P.48）をご覧ください。

お知らせ

- 他の子機や親機を外線で使用しているときや着信しているときは、内線通話はできません。
- 三者の間で内線通話はできません。
- 内線通話は保留にできません。

親機から子機にかける

- 1 受話器をとり
【保留／内線】を押し

内線番号？

- 2 ダイヤルボタンで
呼び出す子機の内線番号を押し

内線2 を呼出中

子機の内線番号：[2] / [3] / [4]
全ての子機を一斉に呼び出すとき：[*]
手順2で、親機から呼び出されると、
子機には右の画面が表示されます。

内線1 から
着信中

子機から親機にかける

- 1 子機をとり
【内線】を押し

呼出先？
134

親機および子機の内線番号が表示されます。

- 2 ダイヤルボタンの
[1] を押し

内線1 を
呼出中

親機の内線番号：[1]
手順2で、子機から呼び出されると、
親機には右の画面が表示
されます。

内線2 から着信中

子機から子機にかける

- 1 子機をとり
【内線】を押し

呼出先？
134

親機および子機の内線番号が表示されます。

- 2 ダイヤルボタンで
呼び出す子機の内線番号を押し

内線3 を
呼出中

子機の内線番号：[2] / [3] / [4]
親機と全ての子機を一斉に呼び出すとき：[*]

手順2で、子機から呼び出されると、
呼び出された子機には右の画面が表示
されます。

内線2 から
着信中

お知らせ

- 親機と子機で内線通話中に外線がかかってくると：内線通話が切れ、外線の呼出ベルが鳴ります。
外線に出るときは：
（親機）受話器を戻し、もう一度受話器をとる。
（子機）【通話】を押し。
- 子機と子機で内線通話中に外線がかかってくると：「プププ」という音が鳴り、内線通話は切れません。外線に出る場合は【切】を押し内線通話を切ったあと、【通話】を押します。
- 一斉に呼び出す内線番号（[*]）は子機が2台以上のときに使えます。

通話の内容を録音する（さかのぼり録音）

通話中

さかのぼり録音を設定すると、通話中にさかのぼり録音ボタンを押すだけで外線通話開始からの通話内容を留守番電話の用件として保存することができます。また、電話を切ったあとでも、さかのぼり録音ボタンを押して直前の通話内容を保存することができます。さらに、自動録音モードを設定すると、かかってきた電話の通話内容を自動的に保存することができます。

お知らせ

- **録音できる時間/件数**：約45分、または最大30件（留守番電話で録音された用件を含めて）
- **自動録音モードとは**：[さかのぼり録音]を押さなくても、かかってきた電話の通話内容を自動的に保存する機能です。自動録音モードには次の3種類があります。
 - みんな録音**：全てのかかってきた電話の通話内容を保存する
 - 非通知録音**：かかってきた非通知の電話（※）の通話内容を保存する
 - 迷惑電話録音**：迷惑電話がかかってきたとき、[お断り]を押すと通話内容を保存する
- ※：着信のとき「非通知」「公衆電話」「表示圏外」と表示される電話
- こちらからかけた電話の場合は、通話中または通話終了後に[さかのぼり録音]を押して保存してください。

さかのぼり録音を設定する

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

2 [▲] または [▼] で「さかのぼり録音」を選び [セット] を押す

さかのぼり録音
する/しない

3 [<] または [>] でさかのぼり録音の利用を「する」または「しない」を選び [セット] を押す

手順3で「しない」を選んだ場合は手順7へ進む

4 [<] または [>] で保持時間を選び [セット] を押す

保持時間
0分
<>で選択

自動録音モードの設定を行わない場合は手順7へ進む

5 [<] または [>] で自動録音モード1の設定を選び [セット] を押す

自動録音モード1
しない
<>で選択

手順5で「みんな録音」を選んだ場合は手順7へ進む

6 [<] または [>] で自動録音モード2の設定を選び [セット] を押す

自動録音モード2
しない
<>で選択

7 [ストップ] を押す

お買い求め時の設定

さかのぼり録音：する
保持時間：0分
自動録音モード：しない

保持時間とは、電話を切ったあと、直前の通話の録音を保持する時間です。次の3種類から選べます。

0分：録音を保持しない

5分：約5分間録音を保持する

無制限：電話の着信などの次の動作まで録音を保持する

☞ 「電話を切ったあとにさかのぼり録音をする」(P.52)

自動録音モードの設定をします（自動録音モード1）。

しない：自動での通話録音をしない

みんな録音：全てのかかってきた電話の通話を保存する

非通知録音：かかってきた非通知の電話の内容を保存する

自動録音モードの設定をします（自動録音モード2）。

しない：[お断り]を押しても通話を保存しない

迷惑電話録音：[お断り]を押すと[さかのぼり録音]を押さなくても通話を保存する

■ さかのぼり録音ランプについて

親機のさかのぼり録音ボタンの横にあるランプで、さかのぼり録音の状態を確認することができます。

さかのぼり録音



さかのぼり録音ランプ

ランプの表示	状態
点灯	通話を保存することができます。
消灯	通話を保存することができません。(※1)
点滅	通話を録音中です。(※2)

※1：次の場合、通話録音は保持されません。

- ・ さかのぼり録音の利用を「しない」に設定している
- ・ 保持時間を「0分」に設定し、電話を切ったとき「■通話終了後に保持しないように設定する」(P.52)
- ・ メモリがいっぱいするとき

※2：通話中、ランプ点灯時に【さかのぼり録音】を押すと、ランプが点滅に変わります。

通話中にさかのぼり録音をする

通話中

お知らせ

- 親機のさかのぼり録音ランプが点灯しているときは、通話中にさかのぼり録音することができます。
 - 「■さかのぼり録音ランプについて」(本ページ上)
- 内線通話は録音できません。
- 録音の途中でメモリがいっぱいになると、録音を終了します。録音残量表示が「■」のときは、録音可能時間が残り少なく(約20秒~15分)なっています。不要な用件はこまめに消去してください。
 - 「■用件を消去するには」(P.37)
 また、メモリ代行受信したファクス受信文書がメモリに残っているときは、プリントするか消去してください。
 - 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」(P.62)
 - 「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.62)
- 次の操作をすると、録音は終了します。それぞれの操作をする前に【さかのぼり録音】を押せば、それまでの通話の録音は保存されます。
 - ・ ファクス通信
 - ・ 通話中再生

- 通話中に停電が発生すると、【さかのぼり録音】を押していても、その通話で録音した内容は保存されません。
- 通話中に次の状況になった場合は、録音は一時中断され、その間は録音されません。録音再開後の通話は、別の用件として録音されます。
 - ・ 保留中
 - ・ 外線転送中
 - ・ キャッチホンによる通話先切り替え中
 - ・ キャッチホン・ディスプレイの情報受信中
 - ・ ダイヤルボタンやリダイヤル操作によるダイヤル送中と送中後の約3秒間
 - ・ 【電話帳】を押して電話帳検索をしたとき
- 残したい部分のみを保存することはできません。
- 通話開始時の会話が録音されていないことがあります。

親機

- 1 通話の内容を残すときは
通話中に【さかのぼり録音】を押す

あと10分録音可能

- さかのぼり録音ランプが点滅します。
通話中に登録操作をしているときは：
登録操作を終了したのち【さかのぼり録音】を押す。
・ 録音可能時間が3分未満になると、「まもなく録音終了」と表示されます。
・ メモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです」のメッセージが流れ、「用件/メモリフル」と表示されます。
途中で録音を終了するときは：【ストップ】を押す。

- 2 通話が終わったら電話を切る

通話保存しました

お知らせ

- 録音を終了させたあと、再び録音を開始させることはできません。

子機

1 通話の内容を残すときは
通話中に【メニュー】を押す

◀戻る

2 【▲】または【▼】で
「録音」を選び
【メニュー】を押す

◀録音

録音中

3 通話が終わったら電話を切る

オンフック中のときは：

【オンフック】を押し、オンフックを解除したあとに【メニュー】を押す。

録音を開始すると、親機のさかのぼり録音ランプが点滅します。

お知らせ

- メモリがいっぱいなどでさかのぼり録音できない場合は、「録音中」は表示されません。
- 途中で録音を終了するときは：再度【メニュー】を押し、【▲】または【▼】で「録音終了」を選び、【メニュー】を押す。

お知らせ

- 録音を終了させたあと、再び録音を開始させることはできません。

電話を切ったあとにさかのぼり録音をする

「さかのぼり録音を設定する」(→P.50)の手順4で、「保持時間」を「5分」または「無制限」に設定すると、電話を切った後から直前の通話の録音を保存できます。お買い求め時は、「0分」に設定されており、録音を保持しません。

お知らせ

- 親機のさかのぼり録音ランプが点灯しているときは、直前の通話を保存することができます。→「■さかのぼり録音ランプについて」(P.51)
- 電話を切った後から次の状況が起こると、その時点で録音は消去されます(「さかのぼり録音」を押しても、直前の通話は保存できません)。
 - ・ 電話をかける。
 - ・ 留守番電話の操作をする。
 - ・ WIFI BANDの設定をする。
 - ・ 電話がかかってくる。
 - ・ おやすみモードタイマ切替時刻になる。
 - ・ 停電した。

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

1 電話を切ったあと、直前の通話の内容を残すときは
保持時間内に【さかのぼり録音】を押す

通話終了後に【さかのぼり録音】を押した場合、さかのぼり録音ランプは消灯します。

電話を切ったあとに直前の通話の録音を消去する

電話を切ったあとに直前の通話の録音を残したくない場合は、録音を保持しない設定にする方法と、録音を消去する方法があります。

■ 通話終了後に保持しないように設定する

「保持時間」を「0分」に設定します。→「さかのぼり録音を設定する」(P.50)

■ 通話終了後に録音を消去する

「保持時間」を「5分」または「無制限」に設定している場合、通話終了後に親機の【消去】を押すと、直前の通話の録音が消去されます。

お知らせ

- 子機では操作できません。
- すでに録音を保存したあとに消去するときは：留守番電話の用件と同じ操作で消去してください。→「録音された用件を聞く／消去する」(P.37)

保存した通話を聞く／消去する

保存した通話は留守番電話の用件と同じ操作で再生できます。また、同じ操作で消去できます。

→「録音された用件を聞く／消去する」(P.37)

お知らせ

- 再生と消去は、親機でも子機でも操作できます。

通話中に留守番電話の用件を再生する

通話中

通話中に留守番電話の用件を相手に聞かせることができます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- さかのぼり録音で録音した用件があると、その用件も再生されます。

- 1 用件を相手に聞かせるときに
[再生] を押す

0分15秒 1 / 2

待受時の再生と同じ操作で再生速度を変えたり、用件をとばして再生したりできます。

🔊 「録音された用件を聞く／消去する」(P.37)

- 2 再生を終了するときには
[ストップ] を押す

お断りメッセージで応答する（迷惑電話お断り）

通話中

いたずら電話や無言電話など迷惑電話を受けたとき、次のメッセージを流して電話を切ることができます。

「申し訳ありませんがお取り次ぎできません。」

お知らせ

- 次の場合、この機能は使えません。
 - ・ こちらからかけた電話のとき
 - ・ 通話中にダイヤルボタンや [オンフック/キャッチ] (親機)、[キャッチ] (子機) を押したとき
 - ・ キャッチホン・ディスプレイを利用して通話中の着信を受けたとき

親機

- 1 メッセージを流すときに
[お断り] を押し、受話器を戻す

お断り中

メッセージは3回流れます。

子機

- 1 メッセージを流すときに [メニュー] を押す

戻る

メッセージは3回流れます。

- 2 [▲] または [▼] で
「お断り」を選び
[メニュー] を押す

お断り

お知らせ

- **通話を再開するには：**メッセージが表示されている間に次の操作を行うと、迷惑電話お断りを中止して、再び相手と話すことができます。
 - (親機) 受話器をとる (とっているときは受話器を戻し、もう一度とる)。
 - (子機) [通話] を押す。
- **ナンバー・ディスプレイを利用している場合は：**右の画面が表示され、メッセージを流した相手先の電話番号が着信拒否リストに登録されます。
「着信拒否リストフル」と表示されたときは、着信拒否リストがいっぱいのため登録されません。
🔊 「受けたくない相手先からの着信を拒否する (着信拒否)」(P.75)

着信拒否リストに
登録しました

固定電話から携帯電話への通話サービスを簡単に使う（携帯通話設定）

あらかじめ事業者識別番号を設定しておく、携帯電話の番号をそのままダイヤルするだけで、設定した事業者識別番号をつけて発信されます。

対象となる携帯電話の番号：090-、または080-で始まる電話番号

例) 事業者識別番号に「00XX」を設定したとき
ダイヤル：090-△△△△-□□□□
発信番号：00XX-090-△△△△-□□□□

お知らせ

- 携帯電話の番号の前に184-、186-をつけても、発信できます。
- PHSの電話番号には対応できません。
- 次の方法でダイヤルした場合も、携帯電話の番号は事業者識別番号をつけて発信されます。
 - ・ 電話帳
 - ・ リダイヤル
 - ・ コールバック (着信データから)

親機

お知らせ

●子機では操作できません。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

お買い求め時の設定：利用しない

2 [▲] または [▼] で
「携帯通話設定」を選び
[セット] を押す

呼出ベル回数
携帯通話設定
保留メロディ

する / **しない**

3 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

識別番号入力

■

携帯通話設定を利用しない場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

4 ダイヤルボタンで
識別番号を入力し
[セット] を押す

識別番号入力

00XX ■

IP電話解除

する / **しない**

5 [<] または [>] で
IP電話の解除を「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

IP電話をご利用の方はIP電話解除番号も設定してください。

する：解除する

しない：解除しない

手順5で「しない」を選んだ場合は、手順7に進む

6 ダイヤルボタンで
IP電話解除番号を入力し
[セット] を押す

解除番号入力

0000 ■

お知らせ

●IP電話解除番号はIP電話の事業者にお問い合わせください。

例：0000

7 [ストップ] を押す

お知らせ

- 本商品を、構内交換機(PBX)など、発信元の電話番号のほかにダイヤルの先頭に外線発信番号「0」をつける必要がある通信機器に接続した場合は、「携帯通話設定」を「しない」に設定してお使いください。「する」に設定すると、正しくダイヤルできない場合があります。
- 通話先、通話時間や電話事業者の料金プランによっては、一部の通話料金が安くならないことがあります。事業者識別番号、料金プランなどサービスの詳細は固定電話の事業者にお問い合わせください。
- 発信するときに事業者識別番号は表示されません。誤った番号を設定すると正しく発信できないことがあります。
- 事業者識別番号を設定すると、電話がつながるまでの時間が長くなる場合がありますが、故障ではありません。
- ひかり電話サービスや直取電話サービス、ケーブルテレビ局が提供するIP電話サービスなどをご利用の場合、携帯通話設定がご利用にならない場合があります。その場合は「携帯通話設定」を「しない」に設定してお使いください。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。
- 携帯通話設定機能をご利用の場合、携帯電話の番号の前に事業者識別番号やIP電話解除番号をダイヤルしないでください。携帯通話設定機能を設定すると自動的に事業者識別番号やIP電話解除番号がダイヤルされますので、正しく電話がかかけられなかったり、通話料金などが異なる場合があります。
- IP電話のご利用で、「携帯通話設定」を「する」に設定してお使いの場合は、「184」「186」をつけてダイヤルするときに「184」「186」のあとにポーズを入力しないでください。ポーズを入力すると正しく電話がかかけられない場合があります。

携帯通話設定を一時的に解除する

携帯事業者の留守番電話サービスや自動車電話、沿岸船舶電話など一部ご利用にならない番号があります。そのような場合は、携帯電話番号の前に解除番号「0000」をダイヤルしてください。

1 携帯電話の番号をダイヤルするとき
電話番号の前に「0000」をつける

例)事業者識別番号を設定しているときでも、次のように発信されます。
ダイヤル：0000-090-△△△△-□□□□
発信番号：090-△△△△-□□□□

ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整

ベル音／受話音／スピーカ音の各音量を調整できます。

ベル音

お知らせ ● 外線のベル音と内線のベル音は、どちらか一方の音量を調整すると双方とも同じ音量に調整されます。

親機

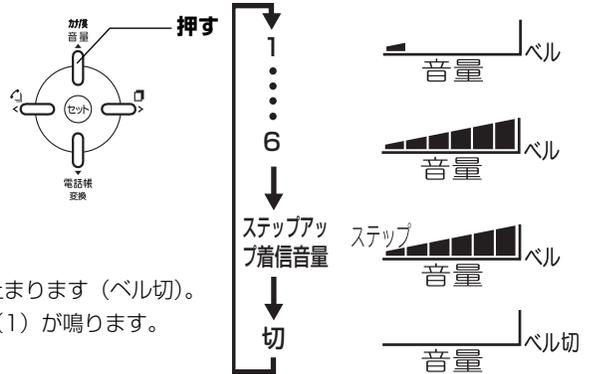
待受中または着信中に音量を調整できます。待受中と着信中では操作方法が異なります。

■ 待受中の調整

音の大きさを調整するには「音量」を押します。

最初に押したときは、そのとき設定されている音量でベルが鳴ります。続けて「音量」を押すと次のようにベル音が変わります。

- ・ 「音量」を押すたびに6段階（1～6）で音が大きくなります。
- ・ 音が最大（6）のとき「音量」を押すと、「ステップアップ着信音量」になります。「ステップアップ着信音量」はだんだん大きくなるベル音です。
- ・ ステップアップ着信音量のとき「音量」を押すと、音が止まります（ベル切）。
- ・ 音が止まっているとき「音量」を押すと、再び小さい音（1）が鳴ります。



ベルの音を止めるには：「ストップ」を押す。

■ 着信中の調整

着信中に「音量」を押すと、そのとき設定されている音より一段階大きい音量に設定されます。

「ステップアップ着信音量」に設定されている場合、着信中に「音量」を押すと、押した時点で鳴っていた音より一段階大きい音量に設定されます。

お知らせ

● 着信中に調整するときはステップアップ着信音量に設定できません。最大（6）のとき「音量」を押すと音が止まります（ベル切）。

子機

待受中または着信中に音量を調整できます。

音の大きさを調整するには「音量」を押します。

最初に押したときは、そのとき設定されている音量が表示されます。続けて「音量」を押すと右の図の順で音量の設定が変わります。

- ・ 音量は3段階（小／中／大）と「ベル切」です。

■ 着信中の調整

着信中に「音量」を押すと、そのとき設定されている音より一段階大きい音量に設定されます。

また、着信中に調整した場合、設定した音量は画面に表示されません（「ベル切」は表示されます）。

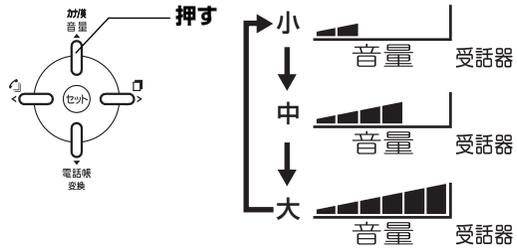
お知らせ

● 外線転送の着信中および内線通話の着信中には調節できません。

親機

お知らせ ● 受話器をとり、「ツーン」という音がしているとき、または通話中に操作します。

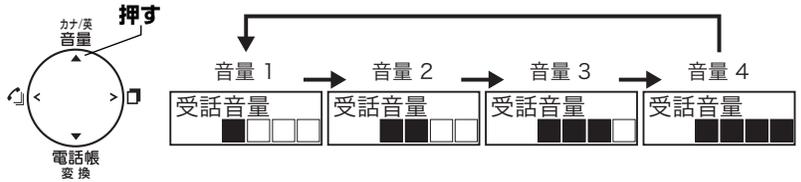
音の大きさを調整するには【音量】を押します。
 【音量】を押すたび右の図の順で音が変わります。
 ・音量は3段階（小／中／大）です。



子機

お知らせ ● 【通話】を押し、「ツーン」という音がしているとき、または通話中に操作します。

音の大きさを調整するには【音量】を押します。
 【音量】を押すたび右の図の順で音が
 変わります。
 ・音量は4段階（音量1 / 音量2 / 音
 量3 / 音量4）です。

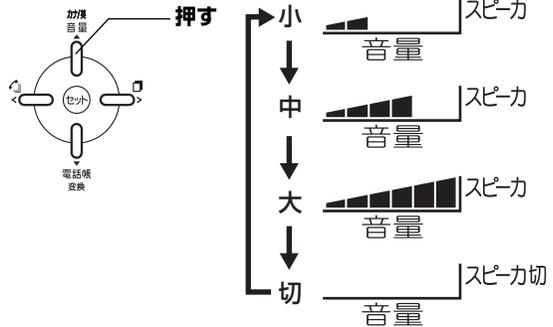


スピーカ（モニタ音／再生音）

親機

お知らせ ● 【オンフック／キャッチ】を押し、「ツーン」という音がしているときに操作します。また、用件などを再生しているときも操作できます。

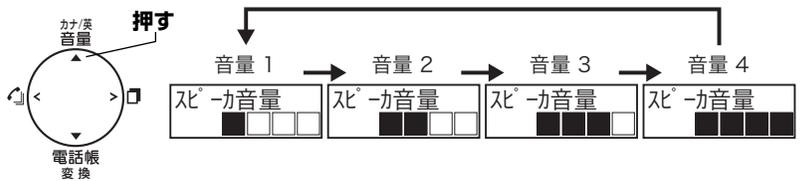
音の大きさを調整するには【音量】を押します。
 【音量】を押すたび右の図の順で音が変わります。
 ・音量は3段階（小／中／大）と「切」です。



子機

お知らせ ● 【オンフック】を押し、「ツーン」という音がしているときに操作します。

音の大きさを調整するには【音量】を
 押します。
 【音量】を押すたび右の図の順で音が
 変わります。
 ・音量は4段階（音量1 / 音量2 / 音
 量3 / 音量4）です。



ダイヤル回線でトーン信号を送る

ダイヤル回線に接続しているとき、一時的にトーン信号（プッシュ信号）に切り替えて信号を送ることができます。トーン信号は、電話による自動受付サービスなどを利用するときに必要になる場合があります。

親機

お知らせ
 ● この操作は一時的にトーン信号に切り替えるもので、電話を切るともとの信号に戻ります。本商品を接続している回線を変更した場合は回線種別の設定をやり直してください。→「回線種別を設定し直すには」（P.26）
 ● 親機と子機の操作は同じです。

子機

1 トーン信号が必要なときに【*】を押す ! 【*】を押したあと、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。

ファクス

電話をかけて通話中に送る（手動送信）

電話をかけてから、そのまま通話中にファクスを送れます。相手先のファクスが自動受信になっていない場合、電話で受信操作をお願いしてから送ります。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 相手先から電話がかかってきた場合も、そのまま通話中にファクスを送れます。

1 原稿をセットする

☞ 「原稿セットのしかた」 (P.33)

お知らせ

- あらかじめ原稿に適した画質モードになっていることを確認してください。
☞ 「原稿の画質や読み取り濃度を変える」 (P.58)

2 電話をかけ相手に受信操作をお願いする

☞ 「電話をかける」 (P.31)

受話器から「ピーヒョロヒョロ」という音がするときは、相手先のファクスが自動受信になっています。そのまま手順3に進みます。

3 [スタート/コピー] を押し電話を切る

[スタート/コピー] を押したあとに、相手が受信操作をしても送れます。

電話を切らずにそのまま通話を続けることもできます。

途中で送信をやめるときは：[ストップ] を押す。

原稿が排出されずに残ったときは、もう一度 [ストップ] を押すと排出される。

お知らせ

- **通話をしないでファクスを送るときは：**☞ 「ファクスを送る（自動送信）」 (P.34)
- **「不達レポート」がプリントされたとき：**☞ 「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」 (P.61)
 - ・途中で送信をやめたときは、「不達レポート」はプリントされません。
 - ・「不達レポート」をプリントしないように設定することもできます。☞ 「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」 (P.61)
 - ・「不達レポート」をプリントしないように設定しているときは、通信管理レポートを確認してください。☞ 「リストをプリントする」 (P.89)

ボタンを押して受ける（手動受信）

本商品はファクスが送られてきたときに自動的に受けられますが、自動的に受ける設定になっていないときや、着信ベルで受話器をとったときなどは、ボタンを押して受けることもできます。

受話器（子機）をとったときの音やメッセージに応じて次のように操作します。

受話器（子機）をとったとき	受信操作	状態
「ポーポーポー」の音がしたあと、次のメッセージが流れる。 「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」	☞ 親機 受話器を戻す ☞ 子機 [切] を押す	「ファクスかんたん受信」が「する」になっています（ファクスかんたん受信☞ P.61）。
「ポーポーポー」の音がする。 （メッセージは流れない）	ボタンを押して受ける （下記の操作手順）	ファクスが送られてきたとき受話器をとると、この音がします。
電話を受けて通話中に「ポーポーポー」の音がしたとき（相手がファクスを送ったとき）		通話中に相手がファクスを送ると「ポーポーポー」の音がします。
何も音がしないとき		相手先のファクスの機種によっては、何も音がしないことがあります。

親機

1 受話器から「ポーポーポー」の音がしたときまたは何も音がしないとき [スタート/コピー] を押し、受話器を戻す

電話を受けて「ポーポーポー」の音がする前に受信操作をしても、その後に送られてくるファクスを受けられます。

ファクスを受けたあと続けて話すには：

通話中にファクスを受けたときは、受話器を戻さなければそのまま話が続けられる。

子機

1 受話口から「ポーポーポー」の音がしたときまたは何も音がしないとき [内線] [6] を順に押す

電話を受けて「ポーポーポー」の音がする前に受信操作をしても、その後に送られてくるファクスを受けられます。

お知らせ

- 通話中にファクスを受けたあと、続けて話すことはできません。

原稿の画質や読み取り濃度を変える

ファクスやコピーで原稿を読み取るときの濃度や画質を調整できます。濃度や画質のモードを調整すると、小さい文字や写真の原稿を鮮明に読み取ったり、大きな文字の原稿を短時間で読み取ったりすることができます。原稿の色や濃度に応じて調整してください。

お知らせ

- 次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。
 - ・ 青色のサインペンやボールペンで書いた原稿（ブルーブラックや紺色に近いものは読み取れます）
 - ・ うすい鉛筆や蛍光マーカーで書いた原稿
 - ・ 下地が赤色で文字や図が黒色の原稿（モノクロでは赤と黒が判別できません）
- 受信したファクスの濃度は調整できません。相手先のファクスの送信濃度を調整してもらってください。
- コピーをとると読み取り濃度を確認することができます。ファクスを送る前に確認することをおすすめします。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

- 1** 原稿をセットし
[メニュー] を押す



- 2** [▲] または [▼] で
「画質」または「濃度」を選び
[<] または [>] で設定を選んで
[セット] を押す

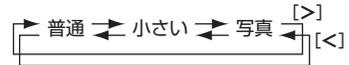
- 3** 設定を選んだら
そのまま続けてファクスを送ったりコピーをとる

お買い求め時の設定：

画質：普通
濃度：■■■■□□

→ 「原稿セットのしかた」(P.33)
[メニュー] を押すと、現在の設定が表示されます。

画質は、[<] または [>] を押すたびに次の順で変わります。



お知らせ

- 読み取り濃度は、通常は「■■■■□□（普通）」に戻しておいてください。

ファクスを送る：

→ 「ファクスを送る（自動送信）」(P.34)

コピーをとる：→ 「コピーをとる」(P.34)

■ 画質の目安

画質	読み取り時間	原稿の画質（目安）	注意
普通 ※1	短い ↑ ↓ 長い	文字の大きさが このくらいするとき	※1：「普通」に設定しても、コピーは「小さい」で読み取られます。 ※2：色地の原稿を送るときは「普通」または「小さい」に設定してください。「写真」で送ると送信時間が極端に長くなる場合があります。 ※3：「写真」に設定したとき白い部分にゴマ模様が出るときは、読み取り濃度をうすくしてみてください。 → 「原稿の画質や読み取り濃度を変える」（本ページ上）
小さい		文字の大きさが このくらいするとき	
写真 ※2、3		写真があるとき 	

お知らせ

- 黒い部分が多い原稿、色地の原稿、縦の罫線のある原稿はファクスの送信時間が長くなる場合があります。
- 画質モードの設定によってモーター音が大きくなる場合がありますが、故障ではありません。

色のついた原稿や文字がうすい原稿のときは：→ 「原稿の画質や読み取り濃度を変える」（本ページ上）

■ 読み取り濃度の目安

読み取り濃度	表示	原稿の目安
よりうすく読み取る	■□□□□	色の濃い原稿
↑	■ ■ □ □ □ □	下地に色がある原稿、新聞など
普通	■ ■ ■ □ □ □	コピーした原稿、黒のペンで書いた原稿など
↓	■ ■ ■ ■ □ □	鉛筆で書いた原稿など
より濃く読み取る	■ ■ ■ ■ ■ ■	うすい色の原稿

自分の名前や電話番号をつけて送る

自分の電話番号を相手先の受信記録に表示させたり、自分の名前や電話番号を相手先の記録紙にプリントさせたりできます。名前や電話番号をつけて送ると、相手先では誰から受けたファクスなのか確認できます。

相手先の受信記録に電話番号を表示する

相手先の受信記録に表示させる電話番号を登録します。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 登録した電話番号は相手先のディスプレイに表示されたり、通信管理レポートにプリントされたりします。ファクスの内容と一緒に記録紙にプリントされる電話番号ではありません。
- 相手先のファクスによっては表示やプリントができないことがあります。
- ご自宅の電話番号が変わったときは登録し直してください。

1 [メニュー] [1] を順に押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

お買い求め時の設定：未登録

2 [▲] または [▼] で
「自分の電話番号」を選び
[セット] を押す

自分の電話番号
発信元記録
発信元登録

自分の電話番号
|

3 ダイヤルボタンで
自分の電話番号を入力し
[セット] を押す

自分の電話番号
0312341234|

電話番号の桁数：最大20桁

入力した電話番号を修正するには：

[<] または [>] で修正する文字にカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力し直す。

4 [ストップ] を押す

お知らせ

- 登録した電話番号を変更するには：手順3で [消去] を押し、番号を入力し直す。
- 登録した電話番号を消すには：手順3で [消去] を押して電話番号を消してから、[セット] を押す。

相手先の記録紙に印字する発信元を登録する

送ったファクスの内容と一緒に相手先の記録紙にプリントさせる名前や電話番号を登録します。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 登録した文字はファクスを送ると相手先の記録紙の上端にプリントされます。
- 電話番号をプリントさせるには、入力する文字列の中に含めます。「相手先の受信記録に電話番号を表示する」(⇒本ページ上)で登録した電話番号はプリントされません。

1 [メニュー] [1] を順に押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

お買い求め時の設定：未登録

2 [▲] または [▼] で
「発信元登録」を選び
[セット] を押す

自分の電話番号
発信元記録
発信元登録

|
>
かな

3 プリントさせる名前や電話番号を入力し
[セット] を押す

鈴木|

発信元を示す名前や電話番号を入力します。

登録できる文字数：最大40文字

⇒「文字入力について」(P.144)

4 [ストップ] を押す

お知らせ

- 登録した発信元を変更するには：手順3で [消去] を押し、入力し直す。
- 登録した発信元を消すには：手順3で [消去] を押して全ての文字を消してから、[セット] を押す。

相手先の記録紙に発信元を印字する

あらかじめ登録した発信元の名前や電話番号を、相手先の記録紙にプリントするかしないかを設定します。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- プリントさせる発信元の名前や電話番号をあらかじめ登録する必要があります。
→ 「相手先の記録紙に印字する発信元を登録する」(P.59)

1 [メニュー] [1] を順に押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

お買い求め時の設定：プリントする

2 [▲] または [▼] で
「発信元記録」を選び
[セット] を押す

自分の電話番号
発信元記録
発信元登録

3 [<] または [>] でプリントを「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- ・「する」に設定すると、本商品に設定した日付や時刻、ページ番号もプリントされます。
- ・「しない」を選択すると、日付や時刻、ページ番号もプリントされません。

4 [ストップ] を押す

する／しない

お知らせ

- 登録内容を確認するには：システムリストをプリントすると登録内容が確認できます。→ 「リストをプリントする」(P.89)

■プリント例（相手先の記録紙）

自動的にプリンターに印刷されます。登録した内容が印刷されます。時刻を設定しているときは日付・時刻が印刷されます。ページ番号が自動的に印刷されます。

FROM 鈴木 2007年11月 21日 12時00分 P. 1

ダイヤルトーンを待って発信する

ファクスを送るときに、ダイヤルトーンを検出してから発信するように設定できます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

お買い求め時の設定：しない

2 [▲] または [▼] で
「ダイヤルトーン検出」を選び
[セット] を押す

受信縮小率
分割記録
ダイヤルトーン検出

3 [<] または [>] で「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

ダイヤルトーンを待たずに発信するには：
「しない」を選ぶ。

4 [ストップ] を押す

する／しない

海外へ送るとき

海外へファクスを送るとき通信ミスが少なくなるように設定できます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- ファクスを受けるときの通信には影響しません。

1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

お買い求め時の設定：しない

- 2 [▲] または [▼] で
「海外通信」を選び
[セット] を押す



- 3 [<] または [>] で「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 4 [ストップ] を押す

海外への送信が終了したら、「しない」に戻してください。

送れなかったファクスを確認する（不達レポート）

ファクスが正常に送れなかったとき、不達レポートを出力するかしないかを設定できます。

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

- 1 [メニュー] [3] を順に押す



お買い求め時の設定：出力する

- 2 [▲] または [▼] で
「不達レポート」を選び
[セット] を押す



- 3 [<] または [>] で
不達レポートの出力を「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 4 [ストップ] を押す

■「通信結果」の見かた

表示	不達の原因
話し中	相手先が通話中または通信中
呼び出し	相手先から通話予約などの呼び出しを受けた
無応答	・相手先が受信できない状態。または電話に出ない ・電話回線が正しく接続されていない。または接続コードが断線している
(2桁の数字)	☎「エラーコード表」(P.90)

■不達レポートの例

不達 レポート					
2007年 11月20日 14時33分					
鈴木					
以下の文書が送信できませんでした。					
通信開始日時	通信時間	相手先	モード	枚数	通信結果
11月20日 14時33分	0312345678		G3	0	話し中

通信結果
話し中

電話に出て相手ファクスだったときは簡単に受信する（ファクスかんたん受信）

ファクスを受けたときの着信ベルで受話器をとっても、受話器を戻すだけでファクスを受けられるように設定できます。手動受信の操作をする必要がなくなります。

お知らせ

- ファクスを受けたときに受話器をとると、「ポーポーポー」の音がしたあと、「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」とメッセージが流れます。
- 電話を受けたときに音質によって本商品がファクスの受信動作をする場合があります。ひんばんに起こる場合は「しない」に設定してください。

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

- 1 [メニュー] [3] を順に押す



お買い求め時の設定：する

2 [セット] を押す

する/しない

3 [<] または [>] で「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

手動で受けるときは：「しない」を選ぶ。

手動受信の方法は、「ボタンを押して受ける（手動受信）」（→P.57）を参照してください。

ファクスをプリントできないときいったんメモリに蓄積する（メモリ代行受信）

次のような場合は受信したファクスがメモリに蓄積されます。紙づまりなどにより受信の途中でプリントできなくなったときでも、あとでメモリに蓄積されたファクスをプリントできます。→「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」（本ページ下）

- ・記録紙がない
- ・プリントされていないファクスやレポートがメモリに残っている
- ・記録紙がつまっている
- ・インクフィルムがない
- ・操作パネルが開いている
- ・サーマルヘッドが過熱している

メモリ代行受信されると、ディスプレイに次のように表示されます。

■ 記録紙がないときの例

メモリ受信文書あり

（交互）

スタート押下

お知らせ

- メモリ残量が不足して代行受信できないときは、着信ベルが鳴り続けます。不要な用件を消去してください。→「録音された用件を全て消去する」（P.65）
- 正常にプリントされたページはメモリから消去されます。

メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1 プリントの妨げとなっている原因を取り除く

メモリ受信文書あり

（交互）

スタート押下

対処のしかた → 「困ったときは（Q&A）」（P.115）

2 [スタート/コピー] を押す

記録紙をセットして
スタート押下

3 記録紙カセットや記録紙サポーターに十分な記録紙が入っているか確認し
[スタート/コピー] を押す

プリント中

記録紙が十分に入っていないときは、記録紙を入れてから [スタート/コピー] を押します。

「記録紙ありません」が表示されたら：

複数枚の記録紙を入れ（記録紙カセット：20枚まで、記録紙サポーター：5枚まで）、手順2からやり直す。

→ 「記録紙のセット」（P.27）

メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する

メモリ代行受信で蓄積されたファクス受信文書を消去します。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 蓄積されたファクス受信文書の最も古い文書が消去されます。2つ以上の文書を一度に消去することはできません。
※文書とは、ファクス1件分の文書全部のことです。ファクス1件が10枚分の文書だった場合、その10枚全部が一度に消去されます。
- 消去した文書をもとに戻すことはできません。

- 1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
 海外通信
 不達レポート
- 2 [▲] または [▼] で
 「メモリ文書消去」を選び
 [セット] を押す

メモリ文書消去
 受信ファクスの扱い
 ファクス to メール転送

消去 / 中止
- 3 [セット] を押す

消去しました

消去をやめるときは：
 [<] または [>] で [中止] を選び、[セット] を押す。

受信したファクスを縮小する / 分割する

受信したファクスを縮小してプリントしたり、プリント可能な範囲を超える部分を分割するように設定できます。

縮小率を設定する

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 発信元の記録がついたA4サイズの下原稿が送られてくると、A4の記録紙に収まらないことがあります。このようなときに、縮小してプリントするとA4の記録紙1枚に収めることができます。
- もとの原稿と比較した正確な縮小率にはならないことがあります。プリントされるサイズは、相手先のファクスの機種や回線の状態に変化します。

- 1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
 海外通信
 不達レポート
- 2 [▲] または [▼] で
 「受信縮小率」を選び
 [セット] を押す

受信縮小率
 分割記録
 タイヤルーン検出

受信縮小率
 93%
 <>で選択
- 3 [<] または [>] で
 縮小率を選び
 [セット] を押す
- 4 [ストップ] を押す

お買い求め時の設定：93%



分割してプリントする

受信したファクスが記録紙1枚のプリント可能な範囲に収まらない場合、分割してプリントすることができます。

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

- 1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
 海外通信
 不達レポート
- 2 [▲] または [▼] で
 「分割記録」を選び
 [セット] を押す

受信縮小率
 分割記録
 タイヤルーン検出

する / しない
- 3 [<] または [>] で
 「する」または「しない」を選び
 [セット] を押す
- 4 [ストップ] を押す

お買い求め時の設定：する

お知らせ

- 「しない」に設定すると、1枚の記録紙に収まらなかった部分はプリントされず、消去されます。

Fネット（ファクシミリ通信網サービス）を利用する

Fネットとは、ファクスを経済的、効率的にご利用できるファクシミリ専用ネットワークのサービスです。また、さまざまな案内サービスをご利用になることもできます。

このサービスを利用するためには、NTTコミュニケーションズ株式会社との契約が必要です。本サービスの詳細につきましてはNTTコミュニケーションズ株式会社にお問い合わせください。

Fネットにより次の便利な機能がご利用になれます。

便利な機能	詳細
一斉同報通信	1回の送信で、同じ原稿を複数の宛先（10件まで）に同時に送信します。 また、事前にFネットに短縮ダイヤルを登録すると、1回に最大10,000件まで同時に送信することができます。
自動再送信	一斉同報通信で送信できなかった相手先があった場合、簡単な操作で再送信できます。
再コール・不達通知	送信相手が話し中などで送信できない場合、2分間隔で5回まで自動的に送信をくり返します。それでも送信できない場合は、送信内容の一部と送信できなかった理由が通知されます。
夜間再送指定通信	昼間にFネットへ送信したファクスを、夜間の割引時間帯にFネットから相手先に送信します。
ファクシミリ案内サービス	レジャー、スポーツ、観光、金融、くらしに関するいろいろな情報案内のサービスです。

お知らせ

- 本商品は、16Hzでのみ対応しています。
- 電話帳でFネットに送信するときは、Fネットの電話番号「161」のあとに、必ずポーズを2回入れてください。
ポーズを入れるには：（親機）[さかのぼり録音] を押す。
（子機）[キャッチ] を押す。

留守番電話

録音された用件を全て消去する

まだ一度も再生していない用件も含めて全て消去します。

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

2 [セット] を押す

消去/中止

3 [セット] を押す

消去しました

消去をやめるときは：

[<] または [>] で「中止」を選び、[セット] を押す。

お知らせ ●一度再生された用件だけ消去するには：☞「録音された用件を聞く/消去する」(P.37)

自作の応答メッセージを使う

留守番電話の応答メッセージにはあらかじめ内蔵された固定のメッセージがありますが、その他に自分で録音したメッセージも使えます。応答メッセージの録音は本商品を使って行います。

お知らせ

●録音できるメッセージの数と録音時間は

メッセージの数：2種類（録音し直せる） 録音時間：約20秒（1種類のメッセージにつき）

●留守設定されたままでも録音できます。

●できるだけ人の声だけのメッセージを録音することをおすすめします。本商品の録音方式は人の声に合わせて設定されています。

●「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」とメッセージが流れたときは、不要な用件を消去してから録音してください。

☞「録音された用件を聞く/消去する」(P.37)

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

応答メッセージを録音する

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

2 [▲] または [▼] で
「応答メッセージ録音」を選び
[セット] を押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

応答メッセージ録音
応答メッセージ1
<>で選択

3 [<] または [>] で
「応答メッセージ1」または
「応答メッセージ2」を選び
[セット] を押す

受話器を
上げて下さい

お知らせ

●すでに録音されたメッセージがあると上書き消去されます。録音し直す方を選んでください。

4 受話器をとり
[スタート/コピー] を押す

録音開始
スタートを
押して下さい

録音する音声は受話器に向けます。

お知らせ

●20秒以内で録音します。20秒を過ぎると自動的に録音が終了します。

●録音中に着信があると中止されます。最初から録音し直してください。

録音中 20秒
終了はストップボタン

- 5 録音を終了するときは
 「ストップ」を押し
 受話器を戻す

受話器を
 置いて下さい

応答メッセージ 再生中

終了すると録音したメッセージが再生されます。

お知らせ

- 「ストップ」を押さずに受話器を戻すと、受話器を戻す音が録音されてしまいます。

お知らせ ● 録音したメッセージを変更するには：最初から録音し直す。

録音した応答メッセージを消去する

- 1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
 応答メッセージ 録音
 応答メッセージ 消去

お知らせ

- 本商品にあらかじめ内蔵された固定のメッセージは消去できません。

- 2 [▲] または [▼] で
 「応答メッセージ消去」を選び
 「セット」を押す

全用件消去
 応答メッセージ 録音
 応答メッセージ 消去

応答メッセージ 消去
 応答メッセージ 1
 <>で選択

- 3 [<] または [>] で
 「応答メッセージ1」または
 「応答メッセージ2」を選び
 「セット」を押す

応答メッセージ 消去
 応答メッセージ 1
 消去 / 中止

消去したい方を選んでください。

消去をやめるときは：

- [<] または [>] で「中止」を選び、[セット]を押す。

- 4 [セット] を押す

消去しました

応答メッセージを選ぶ

- 1 留守設定をして
 応答メッセージが流れている間に
 [<] または [>] で選択する

応答メッセージ 固定

お知らせ

- 自作のメッセージが録音されていないと選択できません。→「応答メッセージを録音する」(P.65)



- ・ 留守設定をしたときは、前に使用したメッセージが選択されています。
- ・ 留守設定をして応答メッセージが流れている間に操作します。→「留守設定をする」(P.35)

外出先から操作する（外線リモート）

外出先から電話をかけて留守番電話に録音された用件を聞くことができます。留守番電話の設定を変えることもできます。

お知らせ

- 着信モードの設定が「電話専用」で、留守設定をしていない場合は、外線リモート操作ができません（着信モード→P.84）。

リモート操作を設定する

外出先からリモート操作ができるように設定します。外出先からの電話がご本人であることを確認するためのパスワード(4桁の暗証番号)もあわせて設定します。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- パスワードは4桁の数字を自分で決めます。また、他人に知られないように注意してください。

- 1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
 応答メッセージ 録音
 応答メッセージ 消去

お買い求め時の設定：しない

- 2 [▲] または [▼] で
 「リモート操作」を選び
 「セット」を押す

トールセイバ
 リモート操作
 おやすみタイマ切替

する / しない

- 3 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

リモートPW入力



- 4 ダイヤルボタンで
パスワードを入力し
[セット] を押す

リモートPW入力

1234

- 5 [ストップ] を押す

リモート操作を解除する場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

入力を間違えたときは：

[消去] を押して消し、もう一度入力し直す。

すでに入力されているときは：

変更する場合は入力し直す。変更しない場合はそのまま [セット] を押す。

外出先から留守設定をする

外出先から本商品に電話をかけて操作します。トーン信号（ブッシュ信号）を送れる電話機からかけてください。

お知らせ

- 着信モードの設定が「電話専用」のとき、外出先からの留守設定はできません。（着信モード→P.84）
- ダイヤルインをご利用の場合は、親機の番号にかけてください。
- パスワードの入力を3回間違えると電話が切れます。そのときは電話をかけ直してください。

- 1 外出先から本商品に電話をかける

- 2 呼出音が変わったら
#、パスワード、#の順でダイヤルする

#1234#

ダイヤルの例

パスワードは「リモート操作を設定する」(→P.66)で決めた4桁の数字です。

- 3 「パスワードが一致しました。」
「留守設定をしました。」
のメッセージが聞こえたら
電話を切る

「パスワードを入れ直してください。」のメッセージが聞こえたら：もう一度、パスワードをダイヤルする（例：#1234#）。

外出先から用件の再生／留守設定を操作する

外出先から本商品に電話をかけて操作します。トーン信号（ブッシュ信号）を送れる電話機からかけてください。

お知らせ

- 留守設定されていない場合は先に留守設定をします。→「外出先から留守設定をする」（本ページ上）
- 電話をかけたときに応答メッセージが流れず呼出音が変わったら、留守設定されていません。
- ダイヤルインをご利用の場合は、親機の番号にかけてください。
- パスワードの入力を3回間違えると電話が切れます。そのときは電話をかけ直してください。
- 携帯電話やPHSから操作するときは、送話口から雑音が入らないように注意してください。
- 外線リモートで再生するだけでは用件は消去されません。

- 1 外出先から本商品に電話をかける

- 2 応答メッセージが流れている間に
#、パスワード、#の順でダイヤルする

#1234#

ダイヤルの例

お知らせ

- 最初の「#」をダイヤルすると応答メッセージが止まります。止まらないときはもう一度「#」からダイヤルします。

パスワードは「リモート操作を設定する」(→P.66)で決めた4桁の数字です。

- 3 「パスワードが一致しました。」
「用件は○件です。」
のメッセージのあとに
用件が再生される

「パスワードを入れ直してください。」のメッセージが聞こえたら：もう一度、パスワードをダイヤルする（例：#1234#）。

ナンバー・ディスプレイを利用している場合は：

用件のあとに相手先の電話番号が音声で通知される。

さまざまな操作ができます

→ 外線リモート操作 (P.68)

- 4 操作が終わったら
電話を切る

お知らせ

- 用件が再生されたあと、しばらくの間（約1分間）何もしないと電話が切れます。

■外線リモート操作

操作		ダイヤルボタン (外出先の電話機)	詳細
再生	1つ前の用件	#1# (再生中に押す)	1つ前の用件を再生する。 1つ目の用件を再生しているときは最初から再生する。
	再生	#2#	最初から再生する。
	速度を変える	#2# (再生中に押す)	通常→高速→低速→(通常に戻る)の順で変わる。
	次の用件	#3# (再生中に押す)	次の用件を再生する。続けて押すとさらに次の用件を再生する。
消去	再生中の用件 (1件)	#8# (再生中に押す)	再生中の用件 (1件) が消去される。
	再生済みの用件 (全件)	#8# (ピッピッピの間に押す)	再生を終了したあと、「ピッピッピ」の音がしている間 (約6秒間) に押すと、再生済みの用件が全て消去される。
留守設定	設定	#7#	🔊 「留守設定をする」 (P.35)
	解除	#9#	🔊 「留守設定を解除する」 (P.36)

録音された用件があるか外出先から確認する (トールセイバ)

呼出音の回数で録音された用件があるかどうか確認できます。録音された用件がないときは通話料金がかかる前に電話を切ることができます。

トールセイバを設定すると電話がつながるまでの呼出音の回数が右に示すように変わります。呼出音が3回鳴ったときは録音された用件がないので、そのとき電話を切ると通話料金がかかりません。

用件	呼出音
ある	2回
ない	5回

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- すでに再生した用件でも消去されずに残っていると、録音された用件があるものとして動作します。

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

お買い求め時の設定：しない

2 [▲] または [▼] で
「トールセイバ」を選び
[セット] を押す

トールセイバ
リモート操作
おやすみタイマ切替
する / しない

3 [<] または [>] で
トールセイバを「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

着信ベルや動作音を鳴らなくする (おやすみモード)

おやすみモードに設定すると着信ベルやファクス受信時の動作音が鳴らなくなります。就寝時など、電話やファクスの動作音が気になるときに設定してください。

お知らせ

- おやすみモードに設定すると
 - ・ 着信ベルが鳴りません。ただし、特定の相手先からの着信だけベルを鳴らすように設定することもできます。
🔊 「あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす (とくいていコール)」 (P.73)
 - ・ 留守設定されます。受けた電話には留守番電話が応答します。モニタスピーカから音 (相手の声など) は出ません。
 - ・ ファクスはメモリに受信します。「ピー」という受信音は鳴りません。
- メモリ残量が不足している、留守設定されないことやデータ量の多いファクスを受信できないことがあります。不要な用件を消去するか、メモリに蓄積されたファクス受信文書を出力または消去してから設定してください。
 - 🔊 「録音された用件を聞く / 消去する」 (P.37)
 - 🔊 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」 (P.62)
 - 🔊 「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」 (P.62)
- おやすみモードのとき受けた電話やファクスは
 - ・ 受けた電話は留守番電話が録音します。🔊 「録音された用件を聞く / 消去する」 (P.37)
 - ・ 受けたファクスはメモリに蓄積されます。おやすみモードを解除すると記録紙にプリントされます。

おやすみモードを設定する／解除する

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

1 [おやすみ] を押す

- ・消灯しているときに押すと、設定されます。
- ・点灯しているときに押すと、解除されます。

設定されると: [おやすみ] と [留守] が点灯します。

- ・用件が録音されると [留守] が点滅します。
- ・メモリに受信したファクス受信文書があると [おやすみ] が点滅します。

解除されると: [おやすみ] と [留守] が消灯します。

- ・録音された用件があると再生されます。→「留守設定を解除する」(P.36)
- ・メモリに受信したファクス受信文書があるとプリントされます。

■ おやすみモードを設定する前に留守設定をしていたときは

- ・おやすみモードだけ解除するには: [おやすみ] を押す。
- ・おやすみモードと同時に留守設定も解除するには: [留守] を押す。

開始時刻／終了時刻で自動的に切り替える

あらかじめ時間帯（開始時刻／終了時刻）を設定しておく、自動的におやすみモードに切り替わります。

お知らせ

- 開始時刻と終了時刻をそれぞれ設定します。
 - ・ 開始時刻だけ設定した場合は、手動で解除します。
 - ・ 終了時刻だけ設定した場合は、手動でおやすみモードに設定したあと、終了時刻になると自動的に解除されます。
- 次の場合は、おやすみモードが自動的に解除されたときに留守設定されます。
 - ・ 留守設定してから、おやすみモードを設定したとき。
 - ・ 用件が録音されているとき。

- メモリ残量が不足しているとおやすみモードに切り替わらないことがあります。不要な用件を消去するか、メモリに蓄積されたファクス受信文書を出力または消去してください。

→「録音された用件を聞く／消去する」(P.37)

→「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」(P.62)

→「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.62)

- 停電したときはおやすみモードが解除されます。現在の時刻を設定するまでタイム切替は機能しません。→「回線種別や時刻を設定する」手順2 (P.26)

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
 応答メッセージ 録音
 応答メッセージ 消去

2 [▲] または [▼] で「おやすみタイム切替」を選び [セット] を押す

トールセイバ
 リモート操作
 おやすみタイム切替

おやすみ開始タイ
 する / **しない**

3 [<] または [>] で開始時刻の設定を「する」または「しない」を選び [セット] を押す

手順3で「しない」を選んだ場合は、手順5へ進む

4 ダイヤルボタンで開始時刻を入力し [セット] を押す

おやすみ開始時刻
 2:05

おやすみ終了タイ
 する / **しない**

5 [<] または [>] で終了時刻の設定を「する」または「しない」を選び [セット] を押す

手順5で「しない」を選んだ場合は、手順7へ進む

6 ダイヤルボタンで終了時刻を入力し [セット] を押す

おやすみ終了時刻
 7:00

7 [ストップ] を押す

お買い求め時の設定

おやすみ開始タイマ: しない

おやすみ終了タイマ: しない

開始時刻（手順4）と終了時刻（手順6）は、24時間制で入力します。

一桁の時刻は十の位に0を入れます。

例: 午後10時5分 → [2] [2] [0] [5]

入力した時刻の訂正方法

1桁訂正: カーソルを合わせ再入力する

全て消去: [消去] を押す

表示された時刻を変更しないときは:

そのまま [セット] を押す。

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイは、電話をかけてきた相手先やファクスを送ってきた相手先の電話番号を表示する回線付加サービスです。電話に出る前に相手先を確認したり、相手先の電話番号を利用した便利な機能がご利用になれます。

ナンバー・ディスプレイにより本商品の便利な機能がご利用になれます。

便利な機能	詳細	参照先
着信表示	電話をかけたり、ファクスを送ってきた相手先の電話番号が表示されます。	P.71
着信データ	相手先の電話番号が記録されます（親機：20件、子機：20件）。 ・留守設定されているときの着信を記録し、用件再生とともに音声で通知します。 ・着信データに記録された相手先を電話帳または着信拒否リストに登録できます。	P.76 P.78 P.77
コールバック	着信データに記録された電話番号を使って簡単に電話がかけられます。	P.77
着信拒否	あらかじめ登録した相手先からの着信を拒否できます。	P.75
迷惑電話お断り	お断りメッセージで応答した相手先を着信拒否リストに登録できます。	P.53
応答メッセージ選択	相手先に応じて応答メッセージを選べます。自作の応答メッセージが使えます。	P.72
着信鳴り分け プライベートコール	・相手先に応じてベル音やメロディを選べます。 ・相手先に応じてベル音を鳴らす親機や子機を選べます。	P.72
とくていコール	特定の相手先からの着信だけベルを鳴らせます（おやすみモードのとき）。	P.73
番号リクエスト	番号非通知でかけてきた相手先に番号通知をお願いするメッセージで応答できます。	P.74

■ ネーム・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイについて

- ・ナンバー・ディスプレイとともにネーム・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたときに、ディスプレイに相手先が通知してきた電話番号と発信者名（名前や会社名）が表示されます。→「ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示」（P.71）
- ・ナンバー・ディスプレイとともにキャッチホン・ディスプレイを契約すると、キャッチホンを受けたときに相手先を電話番号で確認できます。同時にネーム・ディスプレイをご利用の場合は、ディスプレイに相手先が通知してきた発信者名（名前や会社名）も表示されます。→「キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する」（P.79）

ナンバー・ディスプレイをご利用になるには、当社との契約（有料）が必要です。

お問い合わせ・お申し込み 電話番号：116（局番なし）

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイによる本商品の機能をご利用になる場合、次のことに注意してください。
 - ・電話帳などに登録する電話番号は市外局番から入力してください。また、「-（ポーズ）」「*」「#」は入力しないでください。
 - ・停電しているときはご利用になれません。
- 次の場合は電話番号が表示されません。
 - ・国際電話 ・オペレータ扱いの電話（100番・105番） ・公衆電話 ・番号非通知でかけてきた電話 ・圏外からかけてきた電話
 - ・電話回線の雑音などで正常にデータを受信できなかったとき
- ナンバー・ディスプレイに加入すると次のサービスがご利用できなくなります。
 - ・転送電話（ボイスワープを除く） ・ダイヤルQ2（情報提供側） ・テレドーム（情報提供側）
 - ・ノーリング情報サービス（センター回線）

本商品を接続している回線によって次のことにご注意ください。

ランチ接続（→P.24）	ナンバー・ディスプレイをご利用になれません。
構内交換機／ホームテレホン	ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。
ISDN回線	ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をご利用ください。

同時に次の回線付加サービスをご利用になるときはご注意ください。

ダイヤルイン	「モデムダイヤルインサービス」にご加入ください。本商品はPB信号方式のダイヤルインサービスには対応しておりません。
--------	---

ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイのサービスへの加入の有無に応じて設定してください。異なる設定をすると電話が受けられないことがあります。
加入している場合：「する」 **加入していない場合：**「しない」
ただし、モデムダイヤルインに加入している場合は、ナンバー・ディスプレイの加入にかかわらず「する」に設定してください。

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

1 [メニュー] [5] を順に押す



お買い求め時の設定：する

2 [<] または [>] で
ナンバー・ディスプレイの利用を
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す



3 [ストップ] を押す

[ストップ] を押さずに、続けてナンバー・ディスプレイによる便利な機能を設定することもできます。

ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示

着信があるとディスプレイに次のように表示されます。電話をかけてきた相手先が電話帳に登録されている場合と、登録されていない場合では表示が異なります。また、通信の状態が表示されることもあります。

電話帳の登録	表示
登録されている	友人 0312345678
登録されていない	0312345678

着信の状態	表示
番号非通知でかけてきたとき	非通知
公衆電話からかけてきたとき	公衆電話
海外など圏外からかけてきたとき	表示圏外
電話回線の雑音などで 正常に受信できなかったとき	受信エラー

お知らせ

● 同じ電話番号に対して親機と子機に登録された相手先名が異なるときは、それぞれの相手先名が表示されます。

ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示

ネーム・ディスプレイを契約（有料）すると、電話がかかってきたときに、相手の電話番号と相手の名前や会社名（発信者名）が、ディスプレイに表示されます。このサービスを利用するためには、ネーム・ディスプレイの契約のほかに、ナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。サービスを契約したあと、ナンバー・ディスプレイを「する」に設定すると、ネーム・ディスプレイを利用できます。

お知らせ

- 電話をかけてきた相手が、番号通知、発信者名通知を選択している場合のみ表示します。
- 表示されている発信者名は、電話をかけてきた相手が当社に申し込みをした名称です。
- リダイヤル／着信データの相手先表示欄には、発信者名が表示されます。電話帳に相手の名前が登録されている場合は、その名前が優先して表示されます。
- 着信データリストをプリントしたときは、相手先名欄に、発信者名がプリントされます。電話帳に相手先の名前が登録されている場合は、その名前が優先されます。☎「リストをプリントする」(P.89)
- 本商品で表示できない文字を受信した場合は、「※」を表示します。
- キャッチホン・ディスプレイを契約されているときは、通話中にかかってきた相手の発信者名が表示されます。

	電話帳の登録	電話がかかってきたとき	留守番電話が応答しているとき	留守録着信データを表示しているとき
親機	登録されている（※1）	魚屋さん 0312345678 着信中	魚屋さん 0312345678 留守電応答中	魚屋さん 0312345678 0分15秒 1/1
	登録されていない	鈴木商店 0312345678 着信中	鈴木商店 0312345678 留守電応答中	鈴木商店 0312345678 0分15秒 1/1
子機	登録されている（※1）	魚屋さん 0312345678	※1：電話帳に登録されている場合の画面は、下記を例としています。 例）発信者名：鈴木商店 電話帳に登録されている名前：魚屋さん	
	登録されていない	鈴木商店 0312345678	※2：受信した発信者名が9桁以上の場合、相手の電話番号は表示されません。	

自分の電話番号を通知する／非通知にする

相手先がナンバー・ディスプレイを利用している場合に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるときに指定できます。これは「発信者番号通知サービス」のお申し込み内容によっても異なります。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

お知らせ

- 電話番号を通知する相手先にはご注意ください。意図しない相手からの電話勧誘など、思わぬ使われかたをすることがあります。

相手先に電話番号を通知するか非通知にするか	「発信者番号通知サービス」のお申し込み内容	
	通話ごと非通知	回線ごと非通知
通知する	相手先の電話番号をそのままダイヤルする	[1] [8] [6] のあとに相手先の電話番号をダイヤルする
非通知にする	[1] [8] [4] のあとに相手先の電話番号をダイヤルする	相手先の電話番号をそのままダイヤルする

自作のメッセージで応答する相手先を選択する

留守設定しているとき、自作のメッセージで応答する相手先を選択できます。電話帳に登録されている相手先だけ自作のメッセージで応答するか、全ての相手先に自作のメッセージで応答するかを設定します。

「する」	電話帳に登録された相手先だけ自作のメッセージで応答する。 ・登録されていない相手先には固定のメッセージで応答します。
「しない」	全ての相手先に自作のメッセージで応答する。

お知らせ

- 選択した相手先に流す応答メッセージは留守設定をするときに選びます。固定の応答メッセージも選べます。📖 「応答メッセージを選ぶ」 (P.66)
- 自作のメッセージを録音していないときは固定のメッセージになります。📖 「応答メッセージを録音する」 (P.65)

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

お買い求め時の設定：選択しない

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [▲] または [▼] で
「応答メッセージ選択」を選び
[セット] を押す

着信拒否
着信拒否リスト設定
応答メッセージ選択
する／しない

4 [<] または [>] で
応答メッセージの選択を「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

5 [ストップ] を押す

受けた電話の相手先によってベル音を変える(着信鳴り分け／プライベートコール)

電話帳に登録されている相手先によって、ベル音やメロディを変えられます(着信鳴り分け)。また、特定の親機や子機だけベル音を鳴らすように設定できます(プライベートコール)。

お知らせ

- 着信鳴り分けの設定により、ベル音が鳴っていない親機／子機をとっても電話に出られません。
- ベル音が鳴らない子機から内線通話の呼び出しはできません。すぐに中断されます。

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

お買い求め時の設定

着信鳴り分け : 指定なし
プライベートコール : すべて

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [セット] を押す

友人
0312345678
▲▼で選択

お知らせ

● 電話帳に相手先が1件も登録されていない場合は、「電話番号が未登録です」とメッセージが表示されます。→「相手先の名前と電話番号を登録する」(P.42)

4 [▲] または [▼] で
相手先を選び
[セット] を押す

着信鳴り分け指定
指定なし
<>で選択

着信鳴り分け/プライベートコールを指定する相手先を選びます。

5 [<] または [>] で
ベル音の音色またはメロディを選び
[セット] を押す

プライベートコール指定
すべて
<>で選択

選べる音色/メロディ: →「ベルの音色を変える/メロディにする」(P.87)

ベル音を変えないときは: 「指定なし」を選ぶ。

6 [<] または [>] で
ベル音を鳴らす親機または子機を選び
[セット] を押す

終了/続ける

内線番号を選びます。→「受けた電話を転送する(外線転送)」(P.48)

全ての親機/子機を鳴らすときは: 「すべて」を選ぶ。

7 設定を終了するとき
 [<] または [>] で「終了」を選び、[セット] を押す

続けて他の相手先を登録するには: 「続ける」を選んで [セット] を押し、手順4からくり返す。

■ベル音/メロディを聞いて確認したいときは: 手順5でベル音/メロディを選んでいるとき ([セット] を押す前) に [音量] を押す。

・ 確認中の音量を調整することもできます。→「ベル音/受話音/スピーカ音の音量調整」(P.55)

・ 音を止めるには [ストップ] を押します。

あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす(とくていコール)

おやすみモードに設定しているときに、特定の相手先からの着信だけベル音を鳴らすことができます。

お知らせ

● とくていコールを設定したときのベル音/メロディ

電話帳に登録された相手先: あらかじめ選んだベル音。

→「受けた電話の相手先によってベル音を変える(着信鳴り分け/プライベートコール)」(P.72)

公衆電話/表示圏外: 「ベル(標準)」 →「ベルの音色を変える/メロディにする」(P.87)

● 「トールセイバ」を「する」に設定していると、子機のベル音が一度も鳴らずに留守番電話が応答を始めることがあります(子機の着信ベルは親機より遅れて鳴るため、最初の2回の呼出音が鳴らないことがある)。→「録音された件があるか外出先から確認する(トールセイバ)」(P.68)

● 「とくていコール」を「する」に設定しても、「着信ベル回数」が「0回(無鳴動受信)」で「トールセイバ」が「しない」に設定されていると、留守番電話が応答し、呼出ベルが鳴りません。

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する/しない

お買い求め時の設定

とくていコール: しない

電話帳設定: 電話帳すべて

公衆・圏外設定: なし

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [▲] または [▼] で
「とくていコール」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

する/しない

4 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

とくていコール
電話帳設定
<>で選択

5 [<] または [>] で
「電話帳設定」または「公衆・圏外設定」を選び
[セット] を押す

設定する相手先の種別を選びます。

電話帳に登録された相手先: 「電話帳設定」

公衆電話・表示圏外: 「公衆・圏外設定」

手順5の選択に応じて次に示す手順に進む
 「電話帳設定」→■電話帳設定 「公衆・圏外設定」→■公衆・圏外

■ 電話帳設定

電話帳設定
電話帳すべて
<>で選択

- 6 [<] または [>] で
「電話帳すべて」または「電話帳個別」を選び
[セット] を押す

手順6で「電話帳個別」を選んだ場合
手順7に進む

友人
0312345678
▲▼で選択

- 7 [▲] または [▼] で
相手先を選び
[セット] を押す

個別とくいていコール
する/しない

- 8 [<] または [>] で
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

電話帳個別設定
終了/続ける

- 9 設定を終了するとき
[<] または [>] で「終了」を選び、[セット] を押す

■ 公衆・圏外

公衆・圏外設定
なし
<>で選択

- 6 [<] または [>] で相手先の種別を選び
[セット] を押す

- 7 [ストップ] を押す

電話帳に登録された全ての相手先を設定するか、個別に指定するかを選びます。

全ての相手先：「電話帳すべて」

1件ずつ選ぶ：「電話帳個別」

「電話帳すべて」を設定する場合は：

「電話帳すべて」を選び、[セット] を押してから
[ストップ] を押す。

とくいていコールを設定する相手先を選びます。

手順7で選んだ相手先からの着信でベル音を鳴らすか鳴らさないかを選びます。

ベルを鳴らす：する

ベルを鳴らさない：しない

続けて他の相手先を設定するには：「続ける」を選んで [セット] を押し、手順7からくり返す。

どこからの着信でベル音を鳴らすか選びます。

公衆電話からの着信：「公衆電話」

表示圏外からの着信：「圏外」

公衆電話/表示圏外ともに鳴らす

：「公衆電話&圏外」

公衆電話/表示圏外ともに鳴らさない：「なし」

番号通知をお願いするメッセージで応答する（番号リクエスト）

番号非通知でかけてきた相手に番号通知をお願いするメッセージを流し、電話を切ることができます。

お知らせ

- 画面に「番号リクエスト中」と表示され、相手先には次のメッセージが流れます。メッセージは変更できません。
「番号を通知しておかけ直してください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直してください。」
- 「番号リクエスト中」と表示している間に親機を受話器をとると、番号リクエスト中の相手とつながります。
- 「番号リクエスト中」と表示した直後に子機の【通話】を押すと、相手とつながる場合があります。
- 応答終了後すぐに電話をかけると、番号リクエストした相手とつながる場合があります。少ししてからおかけください。

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

- 1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する/しない

- 2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくいていコール
番号リクエスト

- 3 [▲] または [▼] で
「番号リクエスト」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくいていコール
番号リクエスト

する/しない

- 4 [<] または [>] で
番号リクエストを「する」または「しない」を選び、[セット] を押す

- 5 [ストップ] を押す

お買い求め時の設定：しない

お知らせ

- 「番号リクエスト」を「する」に設定すると
 - ・留守設定されているときも、番号非通知の電話やファクスが受けられません。
 - ・表示圏外からの着信は受けられます。

受けたくない相手先からの着信を拒否する（着信拒否）

あらかじめ着信拒否に登録した相手先からの電話を自動的に切ることができます。このときベル音は鳴りません。また、相手先にはお断りのメッセージを流します。公衆電話や表示圏外からの着信を拒否することもできます。

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の用件でも拒否した電話からの着信は着信音が鳴りませんのでご注意ください。

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

着信拒否リストに登録する

電話を受けたくない相手先をあらかじめ着信拒否リストに登録します。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

登録できる件数：最大20件

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&フライングコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [▲] または [▼] で
「着信拒否リスト設定」を選び
[セット] を押す

着信拒否
着信拒否リスト設定
応答メッセージ選択

着信拒否リスト

登録／確認

お知らせ

- 「着信拒否リストフル」と表示されたときは、リストから不要な電話番号を消去してください。
→ 「登録した相手先を確認する／消去する」(本ページ下)

4 [セット] を押す

着信拒否リスト登録
01)

5 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を入力し
[セット] を押す

着信拒否リスト登録
01)
0312345678

お知らせ

- 「登録済みです」が表示されたときは、すでに登録済みなので、追加登録されません。

6 [ストップ] を押す

登録した相手先を確認する／消去する

1 「着信拒否リストに登録する」
(→ 本ページ上) の
手順1～3と同じ操作をする

着信拒否リスト
登録／確認

2 [<] または [>] で
「確認」を選び
[セット] を押す

着信拒否リスト
01)
0312345678

お知らせ

- 着信拒否リストに1件も登録されていない場合は、「未登録です」とメッセージが表示されます。

3 [▲] または [▼] で登録された相手先を選ぶ

4 表示された電話番号を消去するときは [消去] を押す

消去せずに終了するには：[ストップ] を押す。

着信拒否を設定する／解除する

お知らせ

- 「着信拒否」を「する」に設定すると、留守設定されているときも、着信拒否リストに登録した相手先からの電話やファクスが受けられません。
- 画面に「着信拒否中」と表示され、相手先には「申し訳ありませんがお取り次ぎできません。」とメッセージが流れます。
- 「着信拒否中」と表示している間に親機の受話器をとると、着信拒否中の相手とつながります。
- 「着信拒否中」と表示した直後に子機の [通話] を押すと、相手とつながる場合があります。
- 応答終了後すぐに電話をかけると、着信拒否した相手とつながる場合があります。少ししてからおかけください。

1 「着信拒否リストに登録する」(P.75)の手順1~2と同じ操作をする

鳴分とプライムコート
とくていコール
番号リクエスト

2 [▲] または [▼] で「着信拒否」を選び [セット] を押す

着信拒否
着信拒否リスト設定
応答メッセージ 選択
する / しない

3 [<] または [>] で着信拒否を「する」を選び [セット] を押す

公衆電話
する / しない

4 [<] または [>] で公衆電話からの着信拒否を「する」または「しない」を選び [セット] を押す

表示圏外
する / しない

5 [<] または [>] で表示圏外からの着信拒否を「する」または「しない」を選び [セット] を押す

6 [ストップ] を押す

お買い求め時の設定

着信拒否 : する
公衆電話拒否 : しない
表示圏外拒否 : しない

着信拒否を解除する場合は :

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

着信データを見る / 消去する

電話を受けた日時と電話番号を本商品が着信データに記録します。電話を受けた日時をあとから確認したり、着信データに記録された電話番号に電話をかけたりできます。電話帳に登録されている相手先は、名前が表示されます。

お知らせ

- 記録される件数 : 最大20件
- 20件を超えると古いものから順に消去されます。

親機

お知らせ

- 電話やファクスを使用しているときは着信データを見られません。
- ネーム・ディスプレイを契約されている場合は、相手の電話番号と発信者名が表示されます。→ 「ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示」(P.71)

1 [<] (着信データ) を押す



01) 11/20 17:15
友人
0312345678

2 [▲] または [▼] で、記録された電話番号を選ぶ

3 終了するときは、[ストップ] を押す

■ 記録された電話番号を消去するには

1. 手順2で電話番号を選んだあと [消去] を押す。
2. 右の画面が表示されたら [セット] を押す。
消去をやめる場合は : [<] または [>] で「中止」を選び、[セット] を押す。

01) 11/20 17:15
友人
消去 / 中止

着信データは次のように表示されます。

電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
<p>着信した順番 (新しい順) 着信した日時</p> <p>01) 11/20 17:15 友人 0312345678</p> <p>相手先の名前と電話番号が表示されます。</p>	<p>着信した順番 (新しい順) 着信した日時</p> <p>01) 11/20 17:15 0312345678</p> <p>相手先の電話番号が表示されます。</p>

お知らせ

- 着信データが記録されていないときは、「データはありません」とメッセージが表示されます。

子機

お知らせ

- 子機が電波の届かないところにある場合は着信データは記録されません。👉 「設置する場所の確認」(P.21)

1 [＜] (着信データ) を押す



11/20 17:15
0312345678

2 [▲] または [▼] で
記録された電話番号を選ぶ

3 終了するときは [切] を押す

■ 記録された電話番号を消去するには

1. 手順2で電話番号を選んだあと [保留 消去] を押す。
2. 「消去しますか?」が表示されたら、[▲] または [▼] で「はい」を選び、[保留 消去] を押す。
消去をやめる場合は [切] を押す。

着信データは次のように表示されます。

電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">11/20 17:15 友人</div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; text-align: center;"> [＜] ← → [＞] </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">11/20 17:15 0312345678</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">11/20 17:15 0312345678</div>

お知らせ

- 着信データが記録されていないときは、「着信データ ありません」とメッセージが表示されます。

着信データを使って電話をかける (コールバック)

着信データに記録された電話番号を選ぶだけで簡単に電話がかけられます。

親機

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

01) 11/20 17:15
友人
0312345678

👉 「着信データを見る／消去する」(親機)手順1～2 (P.76)

2 受話器をとる

ファクスの送信に着信データを使うには：

原稿をセットしてから記録された電話番号を選び、
[スタート/コピー] を押す。

子機

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

11/20 17:15
0312345678

👉 「着信データを見る／消去する」(子機)手順1～2 (本ページ上)

2 [通話] を押す

着信データを電話帳に登録する (かんたん登録)

親機

お知らせ

- 親機では電話帳と着信拒否リストに登録できます。

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

2 [セット] を押す

登録先は？

電話帳 / 着信拒否

3 [＜] または [＞] で登録先を選び
[セット] を押す

👉 「着信データを見る／消去する」(親機)手順1～2 (P.76)

着信拒否リストに登録する場合：

手順1のあと [お断り] を押すだけで登録することもできる。

お知らせ

- 電話帳を選んだときに「電話帳フル」が表示されたときは、不要な電話帳を消去してください。👉 「登録した名前と電話番号を消去する」(P.43)

手順3で「着信拒否」を選んだときは手順8に進む

- 4** 相手先の名前を入力し
[セッ] を押す
- 友人
- 読みカナ?
ウジン
- 5** 読みカナを確認し
[セッ] を押す
- メールアドレス?
- 6** メールアドレスを入力し
[セッ] を押す
- t u k i @ a b
- PC / 携帯
- 7** [<] または [>] で
入力したメールアドレスがパソコン/
携帯電話のどちらのアドレスかを選び、[セッ] を押す
- 登録しました
- 8** [ストップ] を押す

お知らせ

- 着信拒否リストを選んだとき
 - ・「着信拒否リストフル」と表示されたときは、着信拒否リストから不要な電話番号を消去してください。→「登録した相手先を確認する／消去する」(P.75)
 - ・「着信拒否リストに登録済みです」と表示されたときは、すでにその電話番号は着信拒否リストに登録されているので、追加登録されません。
- 着信拒否リストには相手先の名前を登録しません。

→「文字入力について」(P.144)

→「文字入力について」(P.144)

メールアドレスを登録しないときは：
そのまま [セッ] を押す。

お知らせ

- **メールアドレスの表示について：**画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。

子機

お知らせ

● 子機では着信拒否リストには登録できません。

● 子機にメールアドレスは登録できません。

- 1** 着信データに記録された電話番号を選ぶ
- 2** [メニュー] を押す
- 名前?
残り 100件
>
かな
- 3** 相手先の名前を入力し
[メニュー] を押す
- 友人
- 読みカナ?
ウジン
- 4** 読みカナを確認し、[メニュー] を押す
- 5** [メニュー] を押す

→「着信データを見る／消去する」(子機)手順1～2 (P.77)

「電話帳フル」が表示されたら：

→「登録した名前と電話番号を消去する」(P.46)

→「文字入力について」(P.146)

留守中に受けた電話を確認する

留守設定しているときに受けた電話は、着信データとは別に「留守録着信データ」にも記録されます。留守録着信データは留守番電話に録音された用件を再生するときに表示されます。

留守録着信データは次のように表示されます。

	電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
親機	友人 0312345678 相手先の名前と電話番号が表示されます。	0312345678 相手先の電話番号が表示されます。
子機	ディスプレイの表示はありません。音声で再生されます。 ・用件を再生したあとに留守録着信データを再生します。 ・用件が録音されていないときはビジートーン（話中音）のあとに再生されます。番号通知がないときは、その理由が音声で通知されます。	
外線リモート	音声で再生されます。→「外出先から操作する（外線リモート）」(P.66)	

お知らせ

- 留守録着信データは
 - ・留守番電話で録音された用件が消去されると同時に消去されます。
 - ・電話帳や着信拒否リストには登録できません。コールバックには使えません。

キャッチホン

通話中に別の相手先からかかってきた電話に出ることができます。

通話中に別の電話を受ける（キャッチホン）

☎ 通話中

お知らせ

- キャッチホンをご利用になるには、当社との契約（有料）が必要です。
- ファクスの送信中や受信中に電話がかかってきた場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ 画像に線が入ったり、通信が中断されてしまうことがあります。
 - ※キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込みの回数を「0回」に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
 - ・ 着信音が鳴らないため、電話がかかってきたことがわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承願います。
- キャッチホンの着信がないときは【オンフック/キャッチ】（親機）、【キャッチ】（子機）を押さないでください。押すと電話が切れます。
- 受話器で通話中に他の方から電話がかかってきた場合、必ず【オンフック/キャッチ】（親機）、【キャッチ】（子機）を押して切り替えてください。他の方法ではうまく切り替わらないことがあります。
- オンフックで通話中（親機）はキャッチホンを受けられません。【オンフック/キャッチ】を押すと、先につながっていた相手先との通話が切れてしまいます。受話器をとってから押してください。
- 通話中にかかってきた別の相手先がファクスの場合は、「ボーボー」という音が聞こえてもファクスかんたん受信（→P.61）ははたらきません。ファクスを受信する場合は、先に話していた相手先に電話を切ってもらい、手動受信（→P.57）してください。
 - ※手動受信しなかった場合、ファクスを送信した相手先では通信エラーになります。続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話しを終わらせることをおすすめします。

親機

1 「ブルルー・プップ」と鳴ったら
【オンフック/キャッチ】を押す

2 あとから電話をかけてきた相手と話す

3 先の相手先と再び話すには
【オンフック/キャッチ】を押す

- ・ オンフックで通話中は、受話器をとってから【オンフック/キャッチ】を押します。
- ・ 「ブルルー・プップ」はキャッチホンの着信音です。
- ・ 先に話していた相手との通話は保留にされます。【オンフック/キャッチ】を押すたびに先の相手とあとの相手を切り替えて話せます。

子機

● お知らせ ● 親機の操作と同じです。キャッチホンを受けるときは【キャッチ】を押します。

お知らせ

- キャッチホンの相手先がファクスのときは、先に話していた相手に電話を切ってもらい、手動受信してください。→「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.57）
 - ・ ファクスかんたん受信では受けられません（ファクスかんたん受信→P.61）。
 - ・ 手動受信をしないと相手先では通信エラーになります。
 - ・ ファクスの受信中は先の相手との通話に切り替えることができません。

キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する

キャッチホン・ディスプレイをご利用になると、キャッチホンを受けたときに相手先の電話番号が表示できます。

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイをご利用になるには当社との契約（有料）が必要です。
お問い合わせ先：ナンバー・ディスプレイと同じです。→「ナンバー・ディスプレイ」（P.70）

本商品を接続している回線によって次のことに注意してください。

当社以外の直収電話	キャッチホン・ディスプレイをご利用になれないことがあります。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。
ISDN回線	キャッチホン・ディスプレイをご利用になれません。

他の回線付加サービスについて次のことに注意してください。

ナンバー・ディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイをご利用になるには、ナンバー・ディスプレイにも加入が必要です。
ダイヤルインサービス	ダイヤルインをご利用になる場合は「モデムダイヤルインサービス」にご加入ください。本商品はPB信号方式のダイヤルインサービスには対応していません。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ

する / しない

お買い求め時の設定：しない

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [▲] または [▼] で
「キャッチホン」を選び
[セット] を押す

キャッチホン
ダイヤルイン
する / しない

4 [<] または [>] で
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

5 [ストップ] を押す

キャッチホン・ディスプレイの表示

下記の他はナンバー・ディスプレイの表示と同じです。☞「ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示」(P.71)

キャッチホンの相手先	表示
着信拒否を設定している相手先	「着信拒否」を「する」に設定していても、相手先の番号、「公衆電話」「表示圏外」がそれぞれ表示される（着信拒否☞P.75）。
公衆電話	
海外など表示圏外	
非通知の相手先	「番号リクエスト」を「する」に設定していても、「非通知」が表示される（番号リクエスト☞P.74）。
プライベートコールに設定している相手先	相手先の電話番号が表示される（プライベートコール☞P.72）。

・キャッチホンが入ると約30秒間表示して、その後は通話時間の表示に戻ります。
 ・キャッチホンをとったときはその時点で通話時間の表示に戻ります。とる前に相手が電話を切っても約30秒間は表示されます。

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイをご利用になると、電話番号情報を転送するため次のようなことが起こります。
 - ・キャッチホンの着信音（プルルル・プップ）のあと、「ピポ」という音がして通話が約1秒間途切れます。
 - ・子機で通話中の場合は、「ザッ」というノイズが聞こえます。
- キャッチホンで受けた電話は着信データに記録されます。
 - ・親機で通話中にキャッチホンが入ると親機だけに記録されます。
 - ・子機で通話中にキャッチホンが入ると、通話中の子機と親機の両方に記録されます。通話していない子機には記録されません。
- 次の場合、キャッチホンが着信しても相手先の電話番号が表示されないことがあります。
 - ・保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信中、登録・設定操作中、通話再生中、外線転送中
 - ・大声で通話したとき、周囲の雑音が大いとき
 - ・当社の交換機とお客様宅との距離が遠いとき
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり送信や受信が中断されることがあります。またこの場合、電話がかかってきたことがわかりませんが、キャッチホン・ディスプレイおよび本商品の異常ではありません。

モデムダイヤルイン

モデムダイヤルインをご利用になると、1本の電話回線で2つ以上の電話番号が使えます。電話とファクスで異なる番号を使い分けたり、親機と子機で異なる番号を使い分けたりすることができます。

モデムダイヤルインをご利用になるには、当社との契約（有料）が必要です。

お問い合わせ先	電話番号：116（局番なし）
申し込み内容	ダイヤルインの種類：「モデムダイヤルイン」 電話番号（送出番号）：下4桁を指定 ・指定しないと現在使用している電話番号が変わることがあります。
確認事項	ダイヤルインサービスの利用開始日

お知らせ

- 「モデムダイヤルイン」（モデム信号方式）を指定してください。本商品はPB信号方式のダイヤルインには対応しておりません。
- モデムダイヤルインは、当社の他の回線付加サービスと同時に使えない場合があります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 電話番号は複数になりますが、同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- 停電中は電話／ファクスともにご利用になれません。

本商品を接続している回線によって次のことにご注意ください。

当社以外の直収電話	ダイヤルインサービスをご利用になれないことがあります。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。
ブランチ接続（P.24）	モデムダイヤルインをご利用になれません。
ISDN回線	ターミナルアダプタ（TA）の機種によってはご利用になれないことがあります。

ダイヤルインを設定する／解除する

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- ダイヤルインサービスが開始されてから設定してください。開始前に設定すると、電話が繋がらなくなることがあります。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

お買い求め時の設定：しない

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

お知らせ

- ダイヤルインを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの加入にかかわらず、「する」にします。

3 [▲] または [▼] で
「ダイヤルイン」を選び
[セット] を押す

キャッチホン
ダイヤルイン
する／**しない**

4 [<] または [>] で
ダイヤルインの利用を「する」を選び
[セット] を押す

ファクス専用
する／**しない**

ダイヤルインを解除する場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

5 [<] または [>] で
ファクス用の番号の登録を「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

手順5で「しない」を選んだときは手順7に進む

6 ダイヤルボタンで
ファクス用番号を入力し
[セット] を押す

ファクス番号入力
|||

ファクス用番号の下4桁を入力します。

お知らせ

- ファクス用番号と同じ番号を、親機用番号、子機用番号に登録することはできません。

7 ダイヤルボタンで親機用番号を入力し【セット】を押す

内線番号入力 内線1 = 222
共通鳴動 する / しない

- ・「内線1」は親機を示します。
- ・下4桁を入力します。

8 [<] または [>] で共通鳴動を「する」または「しない」を選び【セット】を押す

親機の電話番号に電話がかかったとき
する (共通鳴動する) : 子機のベルも鳴らす
しない (共通鳴動しない) : 子機のベルは鳴らさない

9 ダイヤルボタンで子機用番号を入力し【セット】を押す

内線番号入力 内線2 = 333

- ・子機の内線番号に応じて割り当てる電話番号 (下4桁) を入力します。
- ・子機の内線番号 → 「受けた電話を転送する (外線転送)」 (P.48)

子機が複数台あるときは手順9をくり返す

10 【ストップ】を押す

お知らせ

- **電話番号を変更するには** : 同じ手順で最初から設定をやり直す。
- **ダイヤルインの利用を解除するには** : 手順4で「しない」を選ぶ。また、「ナンバー・ディスプレイ」を「しない」にするとダイヤルインも解除される。

ダイヤルインの動作

電話番号 (契約者回線番号) とダイヤルインの追加番号により、電話用番号とファクス用番号に使い分けることができます。

	電話がかかってくると	ファクスが送られてくると
電話用番号	ベルが鳴り、電話／ファクスが自動的に切り替えられます。切り替えをしないときは着信モードを「電話専用」にします (着信モード → P.84)。	ベルが鳴り、受話器をとると「ポーポー」の音がします。無音のこともあります。ファクスを手動受信できます (手動受信 → P.57)。
ファクス用番号	ベルは鳴らず、電話には出られません。	ベルは鳴らず、自動的にファクスを受信します。

	留守設定をしているときは
電話用番号	通常の留守番電話と同じ動作をします。 ・ 電話の用件は録音されます。 ・ ファクスは自動的に受信します。
ファクス用番号	・ 電話の用件は録音されません。 ・ ファクスは自動的に受信します。
子機用番号	子機のベルが鳴ります。 ・ 電話の用件は録音されます。 ・ ファクスは自動的に受信します。

プライベートコールの設定が「すべて」ではないときは (プライベートコール → P.72)

ダイヤルインで割り当てた番号にかかわらず、プライベートコールで指定した親機／子機のベルが鳴ります。

ダイヤルインの利用例

■ こう使いたいとき

利用例 A	利用例 B
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話用番号とファクス用番号を使い分けたい。 ・ 電話がかかってきたら、親機も子機も鳴らしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの電話番号（親機と子機2台）を使いたい。 ・ ファクス用の番号は使わない。

■ こう契約／設定すると

ダイヤルインの契約（当社）

契約内容	利用例A	利用例B
契約者回線番号	××× - aaaa (電話用)	××× - cccc (親機用)
ダイヤルイン 追加番号	××× - bbbb (ファクス用)	××× - dddd (付属子機用) ××× - eeee (増設子機用)

本商品の設定

必要な登録設定 → 「ダイヤルインを設定する／解除する」(P.81)	利用例A	利用例B
ダイヤルイン	○	○
ファクス専用	○	×
ファクス	bbbb	—
内線1（親機）	aaaa	cccc
共通鳴動	○*	×
内線2（子機1）	aaaa	dddd
内線3（子機2）	—	eeee

※：親機に電話がかかってきたときに、子機のベルも鳴らします。

■ このように動作します

動作	ダイヤルする番号	親機の状態	子機の状態
Aに電話	××× - aaaa	ベルが鳴る	ベルが鳴る
Aにファクス	××× - bbbb	ベルが鳴らずに、自動受信	ベルが鳴らない
Bの親機に電話	××× - cccc	ベルが鳴る	ベルが鳴らない
Bの付属子機に電話	××× - dddd	ベルが鳴らない	付属子機のベルだけ鳴る
Bの増設子機に電話	××× - eeee	ベルが鳴らない	増設子機のベルだけ鳴る
Bにファクス	××× - cccc	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴らない

お知らせ

- 利用例Aのファクス用番号に電話しても着信ベルは鳴りません。電話に出られません。
- ベルが鳴っていない親機や子機でも電話に出られます。

さらに使いやすくする

電話専用／ファクス専用／切替を選ぶ（着信モード）

着信ベルが鳴ったあとの動作を選べます。本商品は電話やファクスを受けると指定された回数の着信ベルを鳴らしたあと、着信モードの設定に応じて電話の呼出ベルを鳴らしたり、ファクスを自動受信したりします。☎「ベルが鳴る回数を変える」(P.87)

着信モード	本商品の利用目的／着信ベルのあとの動作
電話／ファクス切替	電話もファクスもどちらも受けるときに設定します。 ・電話の場合は呼出ベルが鳴ります。 ・ファクスの場合は自動的に受信します。
ファクス専用	本商品の番号で受けるのがファクスに決まっているときに設定します。 ・ファクスの場合は自動受信します。 ・電話の場合は着信ベルが鳴っている間に受話器や子機をとれば受けられます。 ・相手先に「ピーヒョロヒョロ」というファクスの信号音を流します。
電話専用	ファクスを自動的に受信したくないとき設定します。 ・電話の場合は受話器や子機をとると話せます。電話に出なければ相手先に通話料はかかりません。 ・ファクスを受信する場合は、電話に出てから手動受信します。☎「ボタンを押して受ける(手動受信)」(P.57)

お知らせ

- 「電話専用」に設定し、トルセイバを「しない」に設定している場合、留守設定中は、着信ベルが5回鳴ったあと留守番機能がはたらかず（トルセイバ☎P.68）。
- 「ファクス専用」に設定し、着信ベルを0回に設定すると、相手先がファクスのときは着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。この場合は電話を受けられません（着信ベルの回数を変える☎P.87）。
- 留守設定中は、「ファクス専用」に設定をしても留守設定が優先されます（留守設定をする☎P.35）。

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

お買い求め時の設定：電話／ファクス切替

2 [▲] または [▼] で「着信モード」を選び [セット] を押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

電話／ファクス切替
<>で選択

3 [<] または [>] で着信モードを選び [セット] を押す

着信モードは、上記の表を参考に選んでください。

4 [ストップ] を押す

WIFI BAND（ワイファイ バンド）を変更する

無線LAN機器との電波干渉が考えられるときは、WIFI BANDの設定を変更してみてください。本設定は、コードレス電話機の使用チャンネル帯域を設定します。なお、ご使用の環境により効果が異なることがあります。

親機

- お知らせ**
- 子機では操作できません。
 - 外線通話中および親機と子機での内線通話中に変更できません。
 - 子機と子機での内線通話中（子機が2台以上のとき）は操作が可能ですが、操作後、再起動するとき内線通話が切れます。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

お買い求め時の設定：設定2

2 [▲] または [▼] で「WIFI BAND」を選び [セット] を押す

電話帳転送
WIFI BAND

WIFI BAND
設定2
<>で選択

3 [<] または [>] で設定を選び [セット] を押す

再起動します

次の4種類から選べます。
設定1 / 設定2 / 設定3 / 設定4

設定を変更すると、本商品は自動的に再起動します。

ディスプレイの表示濃度を変える

ディスプレイに表示される文字の濃度を調整できます。

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

1 [メニュー] [1] を順に押す



お買い求め時の設定：■■■■□□

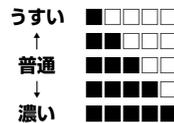
2 [▲] または [▼] で
「表示濃度」を選び
[セット] を押す



3 [<] または [>] で表示濃度を調整し
[セット] を押す

5段階で調整できます。

4 [ストップ] を押す



ボタンを押したとき音を鳴らす／鳴らさない（キータッチトーン）

ボタンを押したときの「ピッ」という音がキータッチトーンです。この音を鳴らすか鳴らさないかを設定できます。

親機

1 [メニュー] [1] を順に押す



お買い求め時の設定：する

2 [▲] または [▼] で
「キータッチトーン」を選び
[セット] を押す



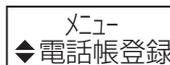
3 [<] または [>] で
キータッチトーンの設定を「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

子機

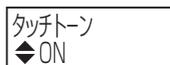
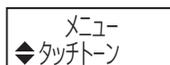
お知らせ ●「タッチトーンOFF」（鳴らさない）にすると、エラーや設定終了の通知音も鳴らなくなります。

1 [メニュー] を押す



お買い求め時の設定：ON
[通話] が点灯しているときは：
[切] を押してから [メニュー] を押す。

2 [▲] または [▼] で
「タッチトーン」を選び
[メニュー] を押す



3 [▲] または [▼] で
「ON」または「OFF」を選び
[メニュー] を押す

鳴らす／鳴らさないを選びます。
ON : 鳴らす
OFF : 鳴らさない

ボタン操作を受け付けなくする／解除する（チャイルドロック）

ボタンを押しても受け付けないように設定できます。お子様のいたずらや間違えて押したときの動作を防止できます。

親機

1 [メニュー] [1] を順に押す



お買い求め時の設定：しない

2 [▲] または [▼] で「チャイルドロック」を選び [セット] を押す



3 [<] または [>] で「する」または「しない」を選び [セット] を押す

4 [ストップ] を押す

5 しばらく（約90秒）何も操作しないとバックライトが消灯しロックされる

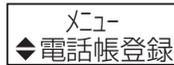


お知らせ

- バックライトが点灯している間は操作がロックされません。
- ロックされているときボタンを操作すると、「チャイルドロック中 解除 #を2秒押す」とメッセージが表示されます。
- チャイルドロック中でも、「メモリ受信文書あり」などのメッセージが優先して表示されます。

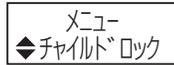
子機

1 [メニュー] を押す



お買い求め時の設定：OFF

2 [▲] または [▼] で「チャイルドロック」を選び [メニュー] を押す



3 [▲] または [▼] で「ON」または「OFF」を選び [メニュー] を押す

4 しばらく（約100秒）何も操作しないとロックされる



お知らせ

- ロックされているときボタンを操作すると、「チャイルドロック中 解除 #長押し」とメッセージが表示されます。

チャイルドロックを一時的に解除する

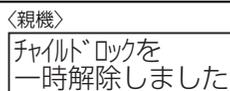
ボタンを押すだけで一時的に解除できます。機能メニューから設定し直さなくても電話やファクスをご利用になれます。ご利用のあとは、しばらく（親機：約90秒、子機：約100秒）何も操作しないと再びロックされます。

親機

子機

お知らせ ● 親機と子機の操作は同じです。

1 [#] を長く押す（2秒以上）



お知らせ

- 次のときはチャイルドロックが一時的に解除されます。
 - ・ 外線を着信したとき
 - ・ 親機または子機を使用しているとき
 - ・ 操作パネルを閉めたとき（操作パネルを開くと「*チャイルドロック中*」が表示されません）

ベルの音色を変える／メロディにする

ベル音の音色を変えられます。また、ベル音の代わりにメロディにできます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。親機のベル音を変えると子機のベル音も変わります。
- 着信鳴り分けを設定している場合は、着信鳴り分けの設定で選んだ音色／メロディになります（着信鳴り分け  P.72）。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

2 [セット] を押す

ベル音・メロディ
ベル(標準)
<>で選択

3 [<] または [>] で
ベルの音色やメロディを選び
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

お買い求め時の設定：ベル（標準）

次の5種類から選べます。

- ベル（標準）：通常の音色
- ベル（鳴り分け）：「標準」とは異なる音色
- メロディ（A）：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
- メロディ（B）：春
- メロディ（C）：トルコ行進曲

■ ベル音／メロディを聞いて確認したいときは：手順3でベル音／メロディを選んでいるとき（[セット] を押す前）に [音量] を押す。

- ・ 確認中の音量を調整することもできます。  「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」(P.55)
- ・ 音を止めるには [ストップ] を押します。

ベルが鳴る回数を変える

着信ベルや呼出ベルの回数を変えられます。着信があってから回線が接続されるまでに鳴るベルを「着信ベル」と言います。設定した回数の着信ベルが鳴り終わると回線が接続され、「呼出ベル」に変わります。この時点で、相手先に通話料金がかかります。また、本商品のベルの音は変わりませんが、相手先に聞こえる呼出音は、呼出ベルに変わると高い音になります。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 着信モードを「電話専用」に設定している場合、着信ベルの回数を変更できません（着信モード  P.84）。
- 着信ベルを8回以上に設定するとファクスを受けられないことがあります。ただし、通話中に送信されたファクスは受けられます。
- 着信ベルの回数はトールセイバの設定によっても変わります（トールセイバ  P.68）。
- 子機で鳴る着信ベルは親機よりも遅れて鳴り始めるので、指定した回数よりも少なくなります。

着信ベルの回数を変える

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

2 [▲] または [▼] で
「着信ベル回数」を選び
[セット] を押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数
6回

3 ダイヤルボタンで
ベルの回数を入力し
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

お買い求め時の設定：6回

- 設定できる回数：00～19回
一桁のときは頭に0をつけます（例：4→04）。
- ベルを鳴らさずファクスを受けるには：
「00」を入力する。
- 訂正するときは：[消去] を押す。

着信モード	着信ベルを「00」にしたときの本商品の動作／対応のしかた
電話／ファクス切替	相手先が電話のときは、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴ります。相手先が電話をかけてからファクスを送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください（手動受信  P.57）。
ファクス専用	着信ベルが1回も鳴らさずファクスを受信します。電話は受けられません。

呼出ベルの回数を変える

お知らせ

- 着信モードを「電話専用」または「ファクス専用」に設定している場合は、呼出ベルの回数を変更できません。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

お買い求め時の設定：10回

2 [▲] または [▼] で
「呼出ベル回数」を選び
[セット] を押す

呼出ベル回数
携帯通話設定
保留メロディ
10回

3 ダイヤルボタンでベルの回数を入力し
[セット] を押す

設定できる回数：01～19回

一桁のときは頭に0をつけます（例：8→08）。

訂正するときは：[消去] を押す。

4 [ストップ] を押す

保留のメロディを変える

通話を保留にしたときに相手先に流すメロディを選べます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 相手先に流れる音量は調整できません。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

お買い求め時の設定：聖者の行進

2 [▲] または [▼] で
「保留メロディ」を選び
[セット] を押す

呼出ベル回数
携帯通話設定
保留メロディ

保留メロディ
聖者の行進
<>で選択

3 [<] または [>] でメロディを選び
[セット] を押す

次の2種類から選べます。

「聖者の行進」、「茶色の小瓶」

4 [ストップ] を押す

■メロディを聞いて確認したいときは：手順3でメロディを選んでいるとき（[セット] を押す前）に [音量] を押す。

- ・確認中の音量を調整することもできます。→「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」(P.55)
- ・音を止めるには [ストップ] を押します。

リストをプリントする

電話帳に登録した内容、着信データ、設定の状態、ファクスの送信／受信の履歴をプリントできます。

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

1 [メニュー] [6] を順に押す

電話番号リスト
着信データリスト
システムリスト

プリントを途中で止めるには：[ストップ] を押す。

2 [▲] または [▼] で
プリントしたいリストを選び
[セット] を押す

次の5種類から選べます。
電話番号リスト
着信データリスト
システムリスト
通信管理レポート
メールアドレスリスト

■「記録紙ありません」が表示されたら

1 しばらく（約5秒）するとディスプレイに
右のように表示される

レポートあり
(交互)

スタート押下

2 [スタート/コピー] を押す

記録紙をセットして
スタート押下

3 記録紙カセットや記録紙サポーターに
記録紙をセットし
[スタート/コピー] を押す

レポート出力中

→ 「記録紙のセット」(P.27)

■ リストの種類

リスト名	項目	補足
電話番号リスト	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先名 ・電話番号 ・着信鳴り分けの設定 ・プライベートコールの設定 ・とくていコールの設定 ※ 50 件 / 1 ページ	相手先名が次の順にプリントされます。 1. スペースで始まる名前 2. 数字で始まる名前 3. 50 音順 4. アルファベット 5. 記号 6. 読みカナが登録されていない 子機の電話帳の内容はプリントされません。 登録内容がないときはディスプレイに「電話番号が未登録です」が表示されます。
着信データリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・着信日時 ・着信データ（電話番号） ・相手先名 	子機に記録された着信データはプリントされません。 ナンバー・ディスプレイをご利用にならないと、着信データは記録されません。着信データがないときはディスプレイに「データはありません」が表示されます。
システムリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・設定項目 ・設定内容 	—
通信管理レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・通信開始日時 ・通信時間 ・相手先 ・モード ・送信枚数 ・受信枚数 ・通信結果 ※最新の 20 件まで	ファクスの通信結果の詳細 → 「■通信管理レポート（通信結果）の詳細」(P.90) 通信データがないときはディスプレイに「データはありません」が表示されます。
メールアドレスリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先名 ・メールアドレス ・アドレス属性 	相手先名が次の順にプリントされます。 1. スペースで始まる名前 2. 数字で始まる名前 3. 50 音順 4. アルファベット 5. 記号 6. 読みカナが登録されていない 登録内容がないときはディスプレイに「メールアドレスが未登録です」と表示されます。

■ 通信管理レポート（通信結果）の詳細

表示	意味	表示	意味
話し中	相手先が話し中	(2桁の数字)	📞 「エラーコード表」(本ページ下)
呼び出し	相手先から通話予約などの呼び出しを受けた	O.K.	正常に送信/受信された
無応答	<ul style="list-style-type: none"> 相手先が受信できない状態。または電話に出ない 回線が正しく接続されていない。または電話機コードが断線している 	中断	通信中に中断操作をした
		消去	メモリ代行受信したファクス受信文書を消去した 📞 「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.62)

エラーコード表

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
40	受信中に記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	P.27
41	記録紙がつまりました。取り除いてください。	P.113
45	メモリがいっぱいになりました。不要な留守電の用件を消去するか、メモリ代行受信したファクス受信文書があるときは、アラームを解除して出力するか、消去してください。	P.37、62、65
46	原稿がつまりました。セットし直してください。	P.33、113
47	操作パネルが開いています。閉めてください。	P.114
71	<ul style="list-style-type: none"> 相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。 相手先が番号非通知の着信を拒否している可能性があります。電話番号を通知して、もう一度送り直してください。 	— P.72
74,75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送り直してください。	—
76,77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手先のファクスの記録紙がなくなった、相手先のメモリがいっぱいになった、もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	—
92,96,97,98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	—
BA	インクフィルムがなくなりました。新しいインクフィルムに交換してください。	P.126

なお、上記以外にも、電話回線や相手先での異常が考えられます。もう一度送信/受信してみてください。

ダブルアクセスを設定する

子機での通話中に、声の途切れや雑音が入るときは、設定を変更してみてください。

子機

お知らせ

- 親機では操作できません。
- 通話中は操作できません。
- 子機が複数あるときは、それぞれの子機で設定してください。
- 子機の通話時は無線LAN機器の動作に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、ダブルアクセスを「OFF」にするともっとも影響が少なくなります。
- ダブルアクセス機能は子機で外線通話したときに有効です。内線通話時はダブルアクセス機能は動作しません。

1 [メニュー] を押す

メニュー
◆ 電話帳登録

2 [▲] または [▼] で
「ダブルアクセス」を選び
[メニュー] を押す

メニュー
◆ ダブルアクセス

ダブルアクセス
◆ AUTO

3 [▲] または [▼] で設定を選び
[メニュー] を押す

お買い求め時の設定：AUTO

- ・ 設定によって、子機の連続通話時間は以下のようになります。
ON (設定) : 約4時間
OFF (解除) : 約6時間
AUTO : 約4~6時間
- ・ 「AUTO」を選ぶと、電波の状態によって自動的にONとOFFを切り替えます。

ネットワーク機能を使う

ネットワーク機能をご利用になるには

本商品をLANにつないでご利用になれるネットワーク機能について説明します。パソコンにつないでできる使いかたは、ネットワークガイド (CD-ROM) もあわせてご覧ください。

あらかじめ下記の環境などをご確認ください。

- ・ インターネットに接続する環境 → 付属の「ネットワーク設定 操作ガイド」
- ・ メールアカウント
- ・ パソコン環境 (※パソコンを使用する機能をご利用になる場合)

ご利用になれる機能は

下記の機能をご利用になる際は、「事前に必要な設定」をご確認ください。

スキャンtoメール (→P.104)

ファクス送信のような操作で、画像を携帯電話やパソコンにメール送信します。

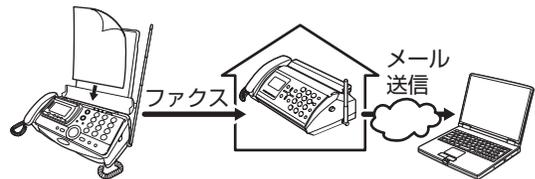


事前に必要な設定:

- ネットワークの設定をする (→P.92)
- メールの設定をする (→P.95)

ファクスtoメール転送 (→P.108)

受信したファクスを指定したメールアドレスに送信します。

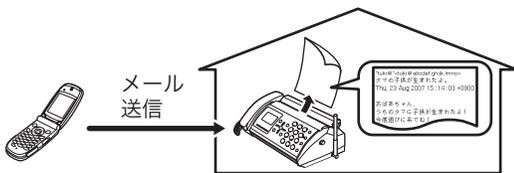


事前に必要な設定:

- ネットワークの設定をする (→P.92)
- メールの設定をする (→P.95)

メールtoプリント (→P.106)

自分宛に送られたメールを印刷します。

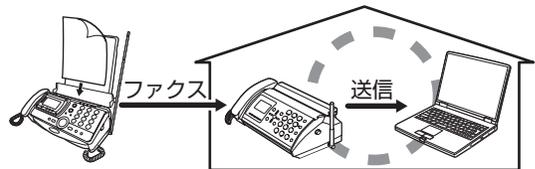


事前に必要な設定:

- ネットワークの設定をする (→P.92)
- メールの設定をする (→P.95)

ファクスtoパソコン (→P.111)

ファクス受信文書をネットワーク接続されたパソコンに送信します。

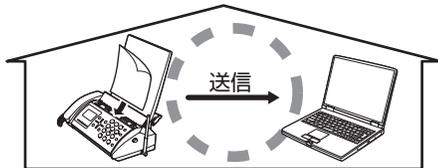


事前に必要な設定:

- ネットワークの設定をする (→P.92)
- ユーティリティソフトをインストールする (→P.101)
- その他電子マニュアルに記載の事項*

スキャンtoパソコン (→P.109)

ファクス送信のような操作で、スキャンした画像をネットワーク接続されたパソコンに送信します。*

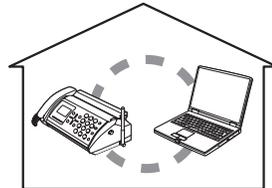


事前に必要な設定:

- ネットワークの設定をする (→P.92)
- ユーティリティソフトをインストールする (→P.101)
- その他電子マニュアルに記載の事項*

パソコンで設定・閲覧 (→P.112)

Internet ExplorerなどのWebブラウザで電話帳の編集や受信したファクス文書を見ることができます。



事前に必要な設定:

- ネットワークの設定をする (→P.92)
- ユーティリティソフトをインストールする (→P.101)
- その他電子マニュアルに記載の事項*

*: 詳細は付属のCD-ROM内のネットワークガイドをご覧ください。

ネットワークの設定をする

IPアドレスを設定する

お知らせ

- DHCPの設定につきましては、お使いのADSLモデムやルータの取扱説明書をご覧ください。
- DHCPとは：インターネットに一時的に接続するコンピュータに、IPアドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコルです。
- DHCPサーバ機能を持ったルータにつなぐ場合、ルータのDHCPサーバ機能を有効にして「DHCP使用：する」「DNS設定：自動」に設定することを推奨します。
- ネットワーク通信がうまくいかないときは、ルータや他の機器などネットワーク全体の設定を見直してください。

1 [メニュー] [7] を順に押す

IPアドレス設定
IPアドレス表示
MACアドレス表示

2 [セット] を押す

DHCPを使用
する / しない

3 [<] または [>] でDHCPを使用するかしないかを選び
[セット] を押す

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む
「する」 → ■DHCPを使用する場合
「しない」 → ■DHCPを使用しない場合

■ DHCPを使用する場合

DNS設定
手動 / 自動

4 [<] または [>] で
DNS手動設定する場合は「手動」を選び
[セット] を押す

DNSサーバアドレス1
0 0 0 0

5 ダイアルボタンで
DNSサーバアドレス1を入力し
[セット] を押す

DNSサーバアドレス2
0 0 0 0

6 ダイアルボタンでDNSサーバアドレス2を入力し
[セット] を押す

7 [セット] を押す

■ DHCPを使用しない場合

IPアドレス
0 0 0 0

4 ダイアルボタンで
IPアドレスを入力し
[セット] を押す

サブネットマスク
0 0 0 0

5 ダイアルボタンで
サブネットマスクを入力し
[セット] を押す

ゲートウェイ
0 0 0 0

6 ダイアルボタンで
ゲートウェイを入力し
[セット] を押す

DNSサーバアドレス1
0 0 0 0

お買い求め時の設定

DHCP使用 : する
DNS設定 : 自動

DNS自動設定する場合は：

「自動」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

DNS手動設定する場合は：

お使いのネットワーク環境に合わせて、正しく設定してください。

DNSサーバアドレスの設定が不要なときは：

入力せずに [セット] を押す。

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバアドレスを手動設定する場合は：

お使いのネットワーク環境に合わせて、正しく設定してください。

- 7 ダイヤルボタンで
DNSサーバアドレス1を入力し
[セット] を押す

DNSサーバアドレス2			
0	0	0	0

DNSサーバアドレスの設定が不要なときは：
入力せずに [セット] を押す。

- 8 ダイヤルボタンでDNSサーバアドレス2を入力し
[セット] を押す

- 9 [ストップ] を押す

■ IPアドレスを確認するには

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「IPアドレス表示」を選び、[セット] を押す。
2. 確認したら [ストップ] を押す。

■ MACアドレスを確認するには

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「MACアドレス表示」を選び、[セット] を押す。
2. 確認したら [ストップ] を押す。

■ 装置名を登録するには (お買い求め時の設定：FAX+MACアドレス)

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「装置名」を選び、[セット] を押す。
2. 装置名を入力 (最大半角英数字20文字) (※) し、[セット] を押してから [ストップ] を押す。
※：装置名の入力画面では、入力した文字が半角で表示されます。記号は入力できません。

■ 突然、ネットワーク通信がうまくいかなかった場合は

お使いになっていて、突然「メールが送れなくなった」などの異常時に「ネットワーク修復」で正常に戻ることがあります。設定が正しいことを確認のうえ、行ってください。

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「ネットワーク修復」を選び、[セット] を押すと「お待ち下さい」と表示される。
2. 修復が完了（「完了しました」と表示される）したら、[ストップ] を押す。

■ エラー番号を表示させるには (お買い求め時の設定：する)

異常時に、ディスプレイに表示されるエラー番号で、状態を確認することができます。(→P.94)

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「エラー表示設定」を選び、[セット] を押す。
2. [＜] または [＞] でエラー番号の表示を「する」または「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

最新のエラー番号を表示させたいときは：

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「最新のエラー番号」を選び、[セット] を押す。
2. 確認したら [ストップ] を押す。

● 代表的なエラー番号

エラー番号	送信・受信	要因	対処方法	備考
EAA000	送信	IPアドレス、DNS設定不正 SMTPアドレス不正 DNSサーバダウン ケーブル抜け (LAN接続)	左記設定値の確認 ケーブル抜け確認 DNSサーバ確認	IPアドレス等エラー
EA0006	送信	サブネット、ゲートウェイ設定不正 SMTPアドレス不正 SMTPポート番号不正 パソコン送信時の宛先設定、ポート番号不正 SMTPサーバダウン	左記設定値の確認 ケーブル抜け確認 SMTPサーバ確認	メール送信設定等エラー
EA3xxx	送信	相手先メールアドレス異常	相手先メールアドレス設定確認	メール送信設定等エラー
EC0006	受信	IPアドレス、DNS設定不正 POP3アドレス不正 POP3サーバダウン	左記設定値の確認 POP3サーバ確認	メール受信設定等エラー
EC5001	受信	メール受信異常	本商品以外でメールの受信を行っているか確認	メール受信等エラー
ECD001	受信	IPアドレス、DNS設定不正 POP3アドレス不正 DNSサーバダウン ケーブル抜け (LAN接続)	左記設定値の確認 ケーブル抜け確認 DNSサーバ確認	IPアドレス等エラー
ED3000	受信	メール確認中のケーブル抜け (LAN接続) メール消去中のケーブル抜け (LAN接続)	ケーブル抜け確認	メール受信等エラー
EC700x	受信	メール消去中のケーブル抜け (LAN接続)	ケーブル抜け確認	メール受信等エラー

● その他のエラー番号

エラー番号	送信・受信	要因	対処方法
E4xxxx	送受信	メール設定不正	メール設定再確認
E5xxxx			
E7xxxx	送受信	SMTP認証、APOP認証設定不正	対応サーバかの確認、設定確認
EABF50	送受信	送信前受信をする場合のメール受信設定系エラー	対応サーバかの確認、設定確認

お知らせ

- 「●代表的なエラー番号」(→P.93)と上記以外のエラーで、設定確認、接続の確認をしてもわからない場合は、当社のサービス取扱所にご相談ください(→P.147)。

メールの設定をする

メールの基本設定をする

自分のメールアドレスやメールサーバアドレスなどを登録します。

お知らせ ●各アドレス、ユーザ名およびパスワードの入力時の表示について：画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。

送信元メールアドレスを設定する

お知らせ ●メールアドレスを取得するには、別途プロバイダとの契約が必要です。
●送信元メールアドレス、SMTPサーバアドレス、POP3サーバアドレスはご契約のプロバイダにお問い合わせください。

1 [メニュー] [8] を順に押す

送信元メールアドレス
SMTPアドレス
POP3アドレス

2 [セット] を押す

送信元メールアドレス

3 メールアドレスを入力し
[セット] を押す

メールアドレスの文字数：
最大英数字／記号50文字

4 [ストップ] を押す

SMTPアドレスを設定する

1 [メニュー] [8] を順に押す

送信元メールアドレス
SMTPアドレス
POP3アドレス

2 [▲] または [▼] で
「SMTPアドレス」を選び
[セット] を押す

送信元メールアドレス
SMTPアドレス
POP3アドレス

SMTPアドレス

3 SMTPサーバアドレスを入力し
[セット] を押す

SMTPサーバアドレス(IPアドレスまたはホスト名)
の文字数：最大英数字／記号50文字
👉 「文字入力について」(P.144)

4 [ストップ] を押す

POP3を設定する

1 [メニュー] [8] を順に押す

送信元メールアドレス
SMTPアドレス
POP3アドレス

2 [▲] または [▼] で
「POP3アドレス」を選び
[セット] を押す

送信元メールアドレス
SMTPアドレス
POP3アドレス

POP3アドレス

お知らせ
●IMAP4はサポートしていません。

3 POP3サーバアドレスを入力し
[セット] を押す

POP3ユーザ名

POP3サーバアドレス (IPアドレスまたはホスト名)
の文字数: 最大英数字/記号50文字
→ 「文字入力について」 (P.144)

4 POP3サーバのユーザ名を入力し
[セット] を押す

POP3パスワード

POP3サーバのユーザ名の文字数:
最大英数字/記号50文字
→ 「文字入力について」 (P.144)

5 POP3サーバのパスワードを入力し
[セット] を押す

POP3サーバのパスワードの文字数:
最大英数字/記号32文字
→ 「文字入力について」 (P.144)
パスワードは「*」で表示されます。

6 [ストップ] を押す

その他のメール設定

メール送信設定をする

1 [メニュー] [9] を順に押す

メール送信設定
メール受信設定
メールフィルタ リスト設定

お買い求め時の設定

送信前に受信 : しない
SMTP認証 : しない
SMTPポート番号 : 25
メール表題 : ファイルを送ります
メール本文 : このメールには、画像データが添付されています

2 [セット] を押す

送信前に受信
SMTP認証
SMTPポート番号

3 [▲] または [▼] で
設定/登録する項目を選び
[セット] を押す

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む
「送信前に受信」 → ■送信前に受信
「SMTP認証」 → ■SMTP認証
「SMTPポート番号」 → ■SMTPポート番号
「メール表題」 → ■メール表題編集
「メール本文」 → ■メール本文編集

■送信前に受信

送信前に受信
する/しない

メール送信の際に、POP認証を行うかどうかを設定
します。メールの受信は行われません。

4 [<] または [>] で
送信前に受信を「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

メール送信の際にPOP認証を行わない場合は:
「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ]
] を押す。

5 [ストップ] を押す

■SMTP認証

SMTP認証
する/しない

お知らせ

● ユーザ名およびパスワードの入力時の表示につ
いて: 画面には全角英数字/記号が表示されま
すが、半角英数字/記号として登録されます。

4 [<] または [>] で
SMTP認証を「する」を選び
[セット] を押す

SMTP認証ユーザ名

SMTP認証をしない場合は:
「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ]
] を押す。

5 ユーザ名を入力し
[セット] を押す

SMTP認証パスワード

ユーザ名の文字数：最大英数字／記号50文字
☞ 「文字入力について」(P.144)

6 パスワードを入力し
[セット] を押す

SMTP認証のパスワードの文字数：
最大英数字／記号32文字
☞ 「文字入力について」(P.144)
パスワードは「*」で表示されます。

7 [ストップ] を押す

■SMTPポート番号

SMTPポート番号
25

設定できるSMTPポート番号：1~65535
・ 右詰め5桁に入力されます。5桁未満の番号の場合は、頭に「0」を入力する(例：「123」の場合は「00123」と入力)か、カーソルを右に移動して入力してください。
・ 入力後に[消去]を押すと、お買い求め時の設定の番号が表示されます。

4 ダイヤルボタンでSMTPポート番号を入力し
[セット] を押す

5 [ストップ] を押す

■メール表題編集

メール表題編集
する／~~しない~~

メール表題編集後に定型のメール表題(「ファイルを送ります」)にするときは：[<]または[>]で「しない」を選び、[セット]を押してから[ストップ]を押す。

4 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

ファイルを送ります
>
かな

メール表題の文字数：最大全角20文字
☞ 「文字入力について」(P.144)

5 メール表題を入力し
[セット] を押す

6 [ストップ] を押す

■メール本文編集

メール本文編集
する／~~しない~~

メール本文編集後に定型のメール本文(「このメールには、画像データが添付されています」)にするときは：[<]または[>]で「しない」を選び、[セット]を押してから[ストップ]を押す。

4 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

このメールには、
>
かな

メール本文の文字数：最大全角50文字
☞ 「文字入力について」(P.144)

5 メール本文を入力し
[セット] を押す

6 [ストップ] を押す

メール受信設定をする

1 [メニュー] [9] を順に押す

メール送信設定
メール受信設定
メールフィルタリスト設定

お買い求め時の設定

APOP認証 : しない
POP3ポート番号 : 110
自動到着確認 : しない
自動プリント
プリント後消去 : しない
メールフィルタを使用 : しない
ヘッダプリント : する
プリント縮小率 : 93%
プリント分割 : する
メール表示順序 : 昇順

2 [▲] または [▼] で
「メール受信設定」を選び
[セット] を押す

APOP認証
POP3ポート番号
自動到着確認

3 [▲] または [▼] で
設定／登録する項目を選び
[セット] を押す

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む
「APOP認証」→■APOP認証
「POP3ポート番号」→■POP3ポート番号
「自動到着確認」→■自動到着確認
「自動プリント」→■自動プリント
「ヘッダプリント」→■ヘッダプリント
「プリント縮小率」→■プリント縮小率
「プリント分割」→■プリント分割
「メール表示順序」→■メール表示順序

■自動到着確認

自動到着確認
する / しない

- ・受信メールがあるかどうか、一定間隔で確認することができます。
- ・自動到着確認を「する」に設定した場合、サーバにプリントしていないメールがあるとメールランプが点灯します。➡「■メールランプについて」(P.106)

4 [<] または [>] で
自動到着確認を「する」を選び
[セット] を押す

到着確認間隔
10分
▲▼で選択

受信メールの自動到着確認をしない場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

5 [▲] または [▼] で
確認間隔時間を選び
[セット] を押す

自動プリント
する / しない

設定できる確認間隔時間：5～90分（5分刻み）

6 [<] または [>] で
受信メールを自動でプリントを「する」を選び
[セット] を押す

受信メールを自動プリントしない場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

7 [ストップ] を押す

■自動プリント

プリント後消去
メールフィルタを使用

4 [▲] または [▼] で設定する項目を選び、[セット] を押す

手順4の選択に応じて次に示す手順に進む
「プリント後消去」→<プリント後消去>
「メールフィルタを使用」→<メールフィルタを使用>

<プリント後消去>

プリント後消去
する / しない

自動プリントした受信メールをサーバから消去するかどうかを設定します。

5 [<] または [>] で
プリントした受信メールをサーバから消去
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

お知らせ

- 「プリント後消去」に設定した場合、正常にプリントした受信メールはサーバから削除されます。印刷できない添付ファイルなどがあるときは、削除されません。削除が必要な場合は、手動で削除してください。➡「手動プリント」(P.107)

6 [ストップ] を押す

<メールフィルタを使用>

メールフィルタを使用
する / しない

メールフィルタの使用について

する：メールアドレスをメールフィルタリストに登録したメールだけ自動プリントする
➡「メールフィルタリストに登録する」(P.100)

しない：全てのメールを自動プリントする

5 [<] または [>] で
メールフィルタの使用を「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

6 [ストップ] を押す

■APOP認証

APOP認証

する / **しない**

- 4 [<] または [>] で
APOP認証を「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 5 [ストップ] を押す

APOP認証しない場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

■POP3ポート番号

POP3ポート番号

110

- 4 ダイヤルボタンでPOP3ポート番号を入力し
[セット] を押す

- 5 [ストップ] を押す

設定できるPOP3ポート番号：1～65535

- ・ 右詰め5桁に入力されます。5桁未満の番号の場合は、頭に「0」を入力する（例：「123」の場合は「00123」と入力）か、カーソルを右に移動して入力してください。
- ・ 入力後に [消去] を押すと、お買い求め時の設定の番号が表示されます。

■ヘッダプリント

ヘッダプリント

する / **しない**

- 4 [<] または [>] で
ヘッダプリントを「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 5 [ストップ] を押す

送信元メールアドレス、メール表題、送信日時をメールの冒頭に印刷できます。

ヘッダプリントしない場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

■プリント縮小率

プリント縮小率

93%
<>で選択

- 4 [<] または [>] で
プリント縮小率を選び
[セット] を押す

- 5 [ストップ] を押す

選択できるプリント縮小率：

100%、93%、90%、85%

■プリント分割

プリント分割

する / **しない**

- 4 [<] または [>] で
プリント分割を「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 5 [ストップ] を押す

添付ファイルがA4に入りきらない場合に、2枚以上に分割してプリントするかどうかを指定できます。

■メール表示順序

メール表示順序

昇順 / **降順**

- 4 [<] または [>] で
「昇順」または「降順」を選び
[セット] を押す

- 5 [ストップ] を押す

表示順序は、メールサーバの設定によって異なります。

メールフィルタリストに登録する

メールフィルタリストにメールアドレスを登録した特定の受信メールだけを自動でプリントすることができます。メールフィルタリストを利用するには、「■自動プリント」(P.98)の「メールフィルタを使用」を「する」に設定してください。

お知らせ

●メールアドレスの表示について：

- ・手順4の入力画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。
- ・登録したメールアドレスを確認すると全角英数字／記号で表示されますが、半角英数字／記号として登録されています。

1 [メニュー] [9] を順に押す

メール送信設定
メール受信設定
メールフィルタリスト設定

2 [▲] または [▼] で
「メールフィルタリスト設定」を選び
[セット] を押す

メールフィルタ リスト

登録／確認

3 [セット] を押す

メールフィルタ リスト登録
01)

メールフィルタリストは、20件まで登録できます。

メールフィルタリストを確認するときは：

[<] または [>] で「確認」を選んで [セット] を押し、[▲] または [▼] で確認するアドレスを選ぶ。

登録したアドレスを消去したいときは：

1. 手順3で、[<] または [>] で「確認」を選び、[セット] を押す。
2. [▲] または [▼] でアドレスを選び、[消去] を押す。

登録したアドレスを変更したいときは：

変更したいアドレスをいったん消去し、登録し直してください。

→ 「文字入力について」(P.144)

4 メールアドレスを入力し
[セット] を押す

5 [ストップ] を押す

ユーティリティソフトをインストールする

受信したファクスをWebブラウザで見たり、本商品でスキャンした画像をパソコンに送信するためには、ご使用のコンピュータ環境（OS）に合わせて、ユーティリティソフトをコンピュータにインストールする必要があります。

パソコンにつなぐと、ファクス受信文書をWebブラウザで見たり、本商品でスキャンした画像をパソコンに送信することができます。

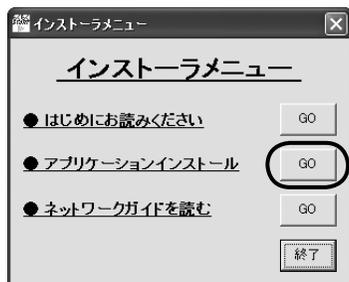
お知らせ

- Windows® XP、Windows Vista®が正しく動作し、CD-ROMドライブが使用できる環境で操作してください。推奨解像度は、1024×768ピクセル以上です。
- 下記は、Windows® XPにインストールする場合の画面を例に説明しています。Windows Vista®にインストールする場合の画面の例は、ネットワークガイドをご覧ください。→「ネットワークガイドの開きかた」(P.103)

1 付属のCD-ROMをセットする

Windows® XPまたはWindows Vista®を起動し、ユーティリティソフトCD-ROMを挿入する。

2 インストーラメニューから、「アプリケーションインストール」の[GO]をクリックする



3 インストールを開始する [次へ (N) >] をクリックする。



4 使用許諾契約を確認する

「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、[次へ (N) >] をクリックする。



お知らせ

- 使用許諾契約に同意いただけない場合は、Network FAXをインストールできません。

5 インストール先のフォルダを指定する

Network FAXがインストールされるフォルダを確認し、[次へ (N) >] をクリックする。



インストールするフォルダを変更したいときは：

[変更 (C) ...] をクリックし、Network FAXをインストールするフォルダを指定する。

インストールダイアログボックスを操作している間に設定を間違えたり、設定を変更したい場合は：[戻る (B)] をクリックして前画面に戻り、設定をやり直す。

6 プログラムのインストールを開始する

「インストール」をクリックすると、プログラムのインストールを開始する。



インストール完了前にファイアウォールの解除画面が表示されたときは：ImageReceiver（※1）、AddressResolver（※2）のWindowsファイアウォールのブロックを解除（※3）する。

- ※1：ImageReceiverは、本商品から送られてきたスクリーン画像やファクス画像を指定したフォルダへ展開・保存するソフトウェアです。
- ※2：AddressResolverは、ネットワークに接続されている本商品を自動的に認識し、パソコンで使用するためのソフトウェアです。
- ※3：必要な部分のブロックのみを解除します。全てのブロックを解除するわけではありません。

お知らせ

- 上記のWindowsファイアウォールのブロック解除を行わないと、これらのアプリケーションをご利用になれません。

7 インストールを完了する

「完了」をクリックする。



お知らせ

- ユーティリティソフトのインストール完了後は、必ずパソコンを再起動してください。再起動しないと、正常に動作しないことがあります。

お知らせ

- ImageReceiverの使用ポート変更画面が表示されたときは：ImageReceiverに設定されている使用ポート（初期値）を、他のアプリケーションがすでに使用しているときにポート変更画面が表示されます。
「ポートを変更する (C)」をクリックし、インストールを継続してください。



- ポートを変更した場合は：ImageReceiverの使用ポートと本商品のPC送信ポートの番号を合わせる必要があります。

ImageReceiverの変更したポート番号を確認する

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Network FAX」→「ポート番号確認」の順にクリックすると、変更したポート番号が表示されます。



上記で表示された番号を、PC送信ポート番号として本商品で設定する（お買い求め時の設定：25）

1. 「メニュー」[F7] を順に押す
2. 「▲」または「▼」で「PC送信ポート番号」を選び、「セット」を押す
3. 「▲」または「▼」で変更したポート番号と同じ番号を選び、「セット」を押す

- インストーラメニューが自動で立ちあがらないときは：エクスプローラ等でCD-ROMを開き、「setup.exe」を実行する。

■ ユーティリティソフトのアンインストール

- ① Windowsの「スタート」→「コントロールパネル (C)」を順にクリックし、コントロールパネルを開く。
- ② 「プログラムの追加と削除」を開く。
- ③ 「Network FAX」を選択し、「削除」をクリックする。
- ④ 「はい (Y)」をクリックする。
- ⑤ 表示に従い、アンインストールを行う。
- ⑥ アンインストール完了画面で「完了」をクリックする。

■ ユーティリティソフトのアップグレード

動作が不安定になったときなどに行ってください。

- ① Windows® XPまたはWindows Vista®を起動し、ユーティリティソフトCD-ROMを挿入する。
- ② インストーラメニューから「アプリケーションインストール」の「GO」をクリックする。
- ③ 「このセットアップはアップグレードを実行します。続行しますか？」と表示されたら、「はい (Y)」をクリックする。
「InstallShield (R) WizardはNetwork FAXを修復しています」と表示されます。
ファイアウォールブロック画面が表示されたときは、「OK」をクリックしてください。
- ④ 「完了」をクリックして、インストールを完了する。

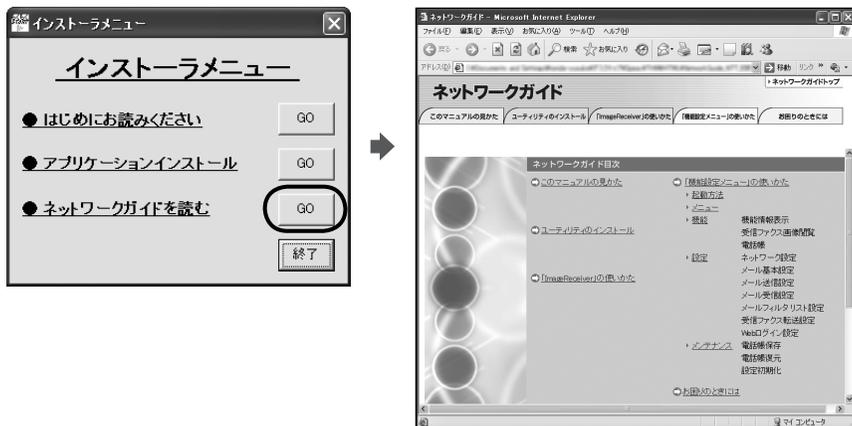
お知らせ

- ユーティリティソフトのアップグレード完了後は、必ずパソコンを再起動してください。再起動しないと、正常に動作しないことがあります。

ネットワークガイドの開きかた

ネットワークガイドには、本商品をパソコンにつないだときの説明や操作手順が詳しく記載されています。本書とあわせてご覧ください。

- 1 付属のCD-ROMをセットする
Windows[®] XPまたはWindows Vista[®]を起動し、ユーティリティソフトCD-ROMを挿入する。
- 2 インストーラメニューから、「ネットワークガイドを読む」の [GO] をクリックする



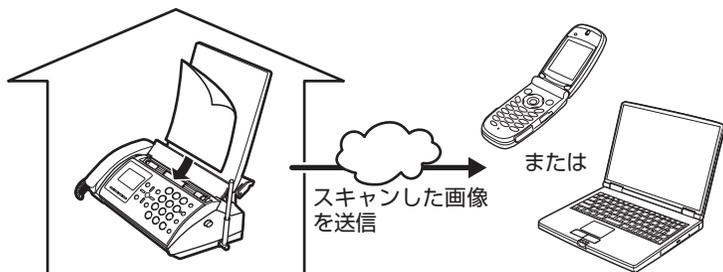
ネットワークガイド 目次

- このマニュアルの見かた
- ユーティリティソフトのインストール
- 「ImageReceiver」の使い方
- 「機能設定メニュー」の使い方
 - 起動方法
 - メニュー
- 機能
 - 機器情報表示
 - 受信ファクス画像閲覧
 - 電話帳
- 設定
 - ネットワーク設定
 - メール基本設定
 - メール送信設定
 - メール受信設定
 - メールフィルタ リスト設定
 - 受信ファクス転送設定
 - Webログイン設定
- メンテナンス
 - 電話帳保存
 - 電話帳復元
 - 設定初期化
- お困りのときには

各機能の説明

メールを送信する（スキャンtoメール）

ファクスを送るように原稿をセットして読み取った（スキャンした）手書きのメモや画像を、JPEGやPDF等のファイル形式でメールに添付し、携帯電話やパソコンに送信できます。送信先がパソコンの場合はTIFFのファイル形式もサポートします。



お知らせ

- 携帯電話の相手先に送るときは、次の点にご注意ください。
 - ・ 送信先の携帯電話がパケット定額制の契約でない場合は、パケット通信料が高額になることがあります。
 - ・ 送信先の携帯電話の機種によっては、受信した画像が表示できない、または受信できないことがあります。
 - ・ 高画質で送っても、携帯電話が対応していない場合、その携帯電話で受信できる画質に変換されることがあります。

1 原稿をセットする

- 2 [電話帳] を押し
[▲] または [▼] で
メール送信する相手先を選ぶ

友人
tuki@abc
▲▼で選択 PC

- 3 [メニュー] を押し
[▲] または [▼] で「画質」「原稿サイズ」
「ファイル形式」「濃度」を選び
[<] または [>] で設定を選ぶ

画質： 画像
原稿サイズ： B 5
▲▼<>で選択

4 [セット] を押す

友人
tuki@abc
▲▼で選択 PC

5 [スタート/コピー] を押す

原稿読取中 P01
送信中
通信終了

「原稿セットのしかた」(P.33)

- ・ 原稿は、原稿セットガイドに合わせて、センター寄せの状態で作成し、原稿挿入口にセットしてください。
- ・ [電話帳] を押し、電話帳に登録されている電話番号、メールアドレスが順に表示されます。

お知らせ

- **メールアドレスの表示について**：画面には全角英数字/記号が表示されますが、半角英数字/記号として登録されています。
- [<] または [>] で、メールアドレスをスクロール表示することができます。

- ・ 画面の右下に属性が表示されます。
電話：電話番号
PC：メールアドレス（パソコン）
携帯：メールアドレス（携帯電話）

複数の相手先を選びたいときは：

相手先を選んで [セット] を押し、「1宛先目設定」と表示され、電話帳画面に戻る。同様の操作を繰り返し、宛先を指定する（5宛先まで）。
選択済みの相手先は、画面の3行目の左端に「*」が表示されます。解除するときは [消去] を押します。

- ・ [メニュー] を押し、現在の設定が表示されます。
- ・ 「画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法」(P.105)

途中でメール送信をやめるときは：

[ストップ] を押し、原稿が排出されずに残ったときは、もう一度 [ストップ] を押し、排出される。

お知らせ

- 原稿は自動的に排出されます。途中で一時的に止まる場合がありますが、無理に引き抜かないでください。
- メール送信が正常に終了しないと「通信エラー」と表示されて送信されず、再送信もされません。

画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法

【▲】または【▼】で画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度を選び、【<】または【>】で設定を選びます。選択終了後、【セツト】を押すと設定を完了し、電話帳画面に戻ります。選択できる設定と詳細は下記の通りです。

	スキャンtoメール			
	パソコンに送信する場合		携帯電話に送信する場合	
画質 【選択設定】	画像	文字	高画質	標準画質
原稿サイズ 【選択設定】	A4 / A5 / B5	A4	A4 / A5 / B5	
ファイル形式 【選択設定】	JPG (JPEG) / PDF	TIFF/PDF	JPG (JPEG) / PDF	
濃度 【選択設定】	5段階		5段階	
階調	256階調 (モノクロ)	2階調 (白 / 黒)	256階調 (モノクロ)	
ファイル容量の目安 / 1枚あたり (参考値) ※	約 400/260/330KB (A4 / A5 / B5)	約 40KB	約 160KB	約 60KB
送信可能枚数	1枚	最大 5枚	1枚	

※：画質は文字と写真・絵が混在した原稿（独自）の場合、画質「文字」はA4判700字程度の原稿（独自）の場合のファイル容量の目安です。ファイル容量は原稿によって異なります。

■パソコンにメール送信する場合

(1) 「画質」の選択

「画像」…………… 文字と写真・絵が混在している原稿に適しています。

「文字」…………… 文字の多い原稿に適しています。また、ファイル容量を小さくしたいときに有効です。

(2) 「原稿サイズ」の選択

原稿サイズによって、ファイル容量が異なります。

(3) 「ファイル形式」の選択

「画像」…………… JPG (JPEG) / PDF

「文字」…………… TIFF/PDF

・PDFを表示するには送信先のパソコンにPDFビューアが必要です。

(4) 「濃度」の選択

読み取り濃度を5段階で設定します。

(5) 送信可能枚数

選択した画質によって、送信可能枚数が異なります。送信可能枚数以降の原稿は送信されず、原稿挿入口にそのまま残ります。

■携帯電話にメール送信する場合

携帯電話にメール送信する場合、送信先の携帯電話にメール（画像ファイル付き）を受信する機能、および画像を表示する機能が搭載されている必要があります。

また、携帯電話側で受信できる画像の容量は機種等によって異なります。下記の項目を確認したのちに、設定を選択することをおすすめいたします。

(1) 「画質」の選択 推奨：標準画質

選択した画質によって、送信画素数およびファイル容量が異なります。送信先の携帯電話によっては、容量の大きいデータを受信することができない場合があります。

「高画質」…………… 細かい文字の原稿に適していますが、ファイル容量が大きくなります。通信先の携帯電話によっては、容量の大きいデータを受信することができない場合があります。

「標準画質」…………… 通常は、「標準画質」でご利用ください。また、ファイル容量を小さくしたいときに有効です。

(2) 「原稿サイズ」の選択

設定したサイズごとの原稿読み取り範囲は以下のとおりです。

A4 ……………… 横208×縦291mm

A5 ……………… 横146×縦204mm

B5 ……………… 横180×縦251mm

(3) 「ファイル形式」の選択 推奨：JPG

JPG (JPEG) …… カメラ付きの多くの携帯電話で画像表示が可能です。

PDF ……………… PDFビューア機能のある携帯電話で画像表示が可能です。

送信先の携帯電話にPDFを表示する機能があることが不明の場合はJPG (JPEG) での送信をおすすめします。

(4) 「濃度」の選択

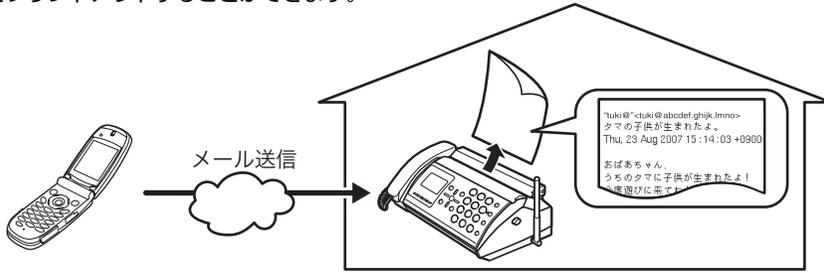
読み取り濃度を5段階で設定します。

(5) 送信可能枚数

携帯電話に送る場合の送信可能枚数は1枚です。2枚以上セットしても2枚目以降は送信されず、原稿挿入口にそのまま残ります。

受信したメールをプリントする（メールtoプリント）

受信したメールをプリントアウトすることができます。



お知らせ

- 携帯電話からの絵文字、装飾文字はプリントできません。また、HTML形式のメールはプリントできない場合があります。
- 「メールがあります」と表示されているときは：記録紙がなくなったなどの理由で、自動プリントおよび手動プリントできません。メールをプリントしたあと操作してください。☞ 「■プリントできないとき」（本ページ）

■ メールランプについて



メールランプ

親機のメールボタン上にあるランプで、メールの有無を確認することができます。

メールサーバにプリントしていないメール（未読メール）があるとき、メールランプが点灯します。

お知らせ

- 不要なメールは消去してください。☞ 「■メール手動受信」（P.107）、「■メールをプリントしないで消去するときは」（P.108）

■ プリントできないとき

記録紙がなくなったなどの理由でプリントできないときは、画面に右のように表示されます。

メールがあります

交互

スタート押下

印刷するときは：記録紙をセットし、[スタート/コピー]を押す。☞ 「記録紙のセット」（P.27）

■ 途中でプリントをやめるときは：

[ストップ]を押す。

プリントを中断したメールは、既読メール（プリントしたことがあるメール）となります。

自動プリント

自動的にメールを受信し、プリントできます。また、特定の相手からの受信したメールだけをプリントしたり、プリントしたメールを消去することもできます。

☞ 「■自動到着確認」（P.98）、「■自動プリント」（P.98）、「メールフィルタリストに登録する」（P.100）

お知らせ

- おやすみモードを設定しているときは、「■自動到着確認」（☞ P.98）で設定した自動プリントは動作しません。
- 短いメールは1枚の用紙につめて印刷されます。
- 「プリント後消去」を「する」に設定していても（☞ P.98）、プリントできないメールは消去できません。
- 記録紙とインクフィルムを節約したり、不要なメールをプリントしたくない場合は：
短いメール1件でも、1枚分の記録紙とインクフィルムを使用します。また、自動プリントを「する」に設定すると、受信した全ての未読メールを印刷します。記録紙とインクフィルムを節約したいときや、不要なメールをプリントしたくない場合は、状況に合わせて次の方法をご利用ください。
 - ・ 自動プリントを「しない」に設定し、手動プリントで相手先を確認してからプリントする☞ 「■自動到着確認」（P.98）、「手動プリント」（P.107）
 - ・ 自動プリントの自動到着確認を延ばす☞ 「■自動到着確認」（P.98）
 - ・ メールフィルタリストを利用し、印刷するメールを制限する☞ 「メールフィルタリストに登録する」（P.100）
- 自動プリントで一度プリントしたメールは、電源を入れ直しても再度自動プリントされません。
- 自動プリントしたかどうかを印刷済みメール情報として記憶しています。
- メールサーバにあるメールが2,000件を超えると、自動プリントを「する」に設定していても自動プリントされません。不要なメールはこまめに消去してください。☞ 「■メール手動受信」手順6（P.107）、「■メールをプリントしないで消去するときは」（P.108）

メール確認中

自動到着確認で設定した確認間隔（☞ P.98）ごとに受信メールを確認する

メール受信中

プリントしていないメール（未読メール）があると、メールランプが点灯する

メールプリント中

自動的に受信したプリントしていないメール（未読メール）をプリントする

手動プリント

自動到着確認を設定すると、メールがあるときにメールランプが点灯します。[メール] を押して、ご都合の良いときに選んでプリントすることができます。手動プリントには、下記の2種類の方法があります。

メール手動受信：プリントする受信メールを選んでプリントする

メール自動受信：プリントしていないメール（未読メール）を自動的に全てプリントする

■メール手動受信

1 [メール] を押す

メール手動受信
メール自動受信
▲▼で選択

2 [セット] を押す

メール確認中

2件あります
不要なメールは
削除してください

tuki@abc
ファイルを送りま
▼で選択 未読

3 [▲] または [▼] でプリントするメールを選ぶ

4 [セット] を押す

プリント(全部)
プリント(本文)
▲▼で選択

5 [▲] または [▼] で
「プリント(全部)」または
「プリント(本文)」を選び
[セット] を押す

メール受信中

メールプリント中

プリント済メール消去
消去/中止

6 [セット] を押す

消去しました

お知らせ

- 「メールがあります」と表示されているときは、[メール] を押しても表示が変わりません。プリント中のメールをプリントしたあとに操作してください。

メールサーバにあるメールが表示されます。

画面の右下に「未読」または「既読」が表示されます。

未読：一度もプリントしていないメール

既読：プリントしたことがあるメール

お知らせ

- 短いメールの印刷でも、1枚分の記録紙とインクフィルムを使用します。
 - 電話帳に名前が登録されている相手の場合は、メールアドレスではなく、その名前が表示されます。
 - メールアドレスの表示について：**画面には全角英数字/記号が表示されますが、半角英数字/記号として登録されています。
 - [<] または [>] で、送信元、メール表題をスクロール表示することができます。
 - メールの表示順序を変更することができます。→「■メール表示順序」(P.99)
 - メールサーバにあるメールが2,000件を超えると、画面右下の「未読」または「既読」が表示されません。不要なメールはこまめに消去してください。→「■メール手動受信」手順6(本ページ下)、「■メールをプリントしないで消去するときは」(P.108)
- ※「未読」「既読」が表示されないと、既読メールを全消去できません。→「■メールをプリントしないで消去するときは」(P.108)

メールが1件の場合は：「▼で選択」は表示されません。手順4へ。

プリント(全部)：添付ファイルがあった場合、本文とともにプリントする

プリント(本文)：本文のみプリントする

お知らせ

- 本文のみプリントした場合、添付ファイルがあっても既読メールとなります。

メール画面に戻るときは：

[▲] または [▼] で「戻る」を選び、[セット] を押す。

途中でプリントをやめるときは (→P.106)

「メールがあります」と表示されたときは (→P.106)

[セット] を押すと、プリントしたメールがメールサーバから消去されます。

消去後の画面表示について：

- ・複数の受信メールがある場合は、次の受信メールの相手先が表示される。
- ・全ての受信メールが消去された場合は、「メールがありません」と表示される。

メールを消去しないときは：

[<] または [>] を押して「中止」を選び、[セット] を押す。

続けて他のメールを手動受信するには：手順3~6をくり返す。

7 [ストップ] を押す

■ メールをプリントしないで消去するときは：

下記の2通りの方法があります。

<方法1>

- 手順3で、[▲] または [▼] で消去するメールを選ぶ
- [消去] を押す

<方法2>

- 手順5で、[▲] または [▼] で「消去 (1件)」または「消去 (既読)」を選んで [セット] を押す
消去 (1件)：手順3で選択したメールのみ消去する
消去 (既読)：メールサーバにある既読メールを全て消去する
- [セット] を押す

消去 (1件)
消去 (既読)
▲▼で選択

お知らせ

- メール表示画面 (手順2) の右下に「未読」または「既読」が表示されていないときは、「消去 (既読)」を選んでも既読メールを全消去できません。

■ メールの相手先を電話帳に登録するときは：

手順5で、[▲] または [▼] で「アドレス登録」を選んで [セット] を押し、必要に応じて相手先の名前、読みカナ、電話番号、パソコンのアドレスか/携帯電話のアドレスかなどを登録する。→「電話帳に相手先を登録する」(P.42)

お知らせ

- 登録できるメールアドレスは50文字までです。50文字を超えた分は削除されます。

■ メールの相手先をメールフィルタリストに登録するときは：

手順5で、[▲] または [▼] で「メールフィルタリスト登録」を選んで [セット] を押す。表示されたメールアドレスを確認し、[セット] を押す。

■ メール自動受信

1 [メール] を押す

メール手動受信
メール自動受信
▲▼で選択

お知らせ

- 「メールがあります」と表示されているときは、[メール] を押しても表示が変わりません。プリント中のメールをプリントしたあとに操作してください。

2 [▲] または [▼] で「メール自動受信」を選び [セット] を押す

メール確認中

メール受信中

メールプリント中

メールサーバにあるメールを受信し、プリントしていないメール (未読メール) を自動的にプリントします。

途中でプリントをやめるときは (→P.106)

「メールがあります」と表示されたときは (→P.106)

お知らせ

- 短いメールは1枚の用紙につめて印刷されます。
- 「プリント後消去」を「する」に設定していても (→P.98)、プリントできないメールは消去できません。
- 不要なメールをプリントしたくない場合は、メールフィルタリストをご利用ください。→「メールフィルタリストに登録する」(P.100)
- メール自動受信で一度プリントしたメールは、電源を入れ直したあと [メール] を押して「メール自動受信」を選択しても、再度自動プリントされません。
- 自動プリントしたかどうかを印刷済みメール情報として記憶しています。
- メールサーバにあるメールが2,000件を超えると、メールをプリントできません。不要なメールはこまめに消去してください。→「■メール手動受信」手順6 (P.107)、「■メールをプリントしないで消去するときは」(本ページ上)

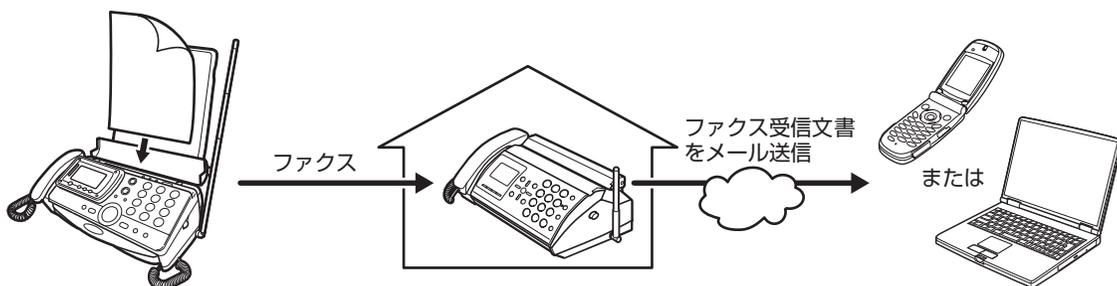
ファクス受信文書をメール送信する (ファクス to メール転送)

ファクス受信文書をPDF形式に変換し、指定した携帯電話やパソコンのメールアドレスに送信 (※) することができます。

※：送信に失敗しても、再送信は行いません。

お知らせ

- 携帯電話への転送は、機種によってできないことがあります。



転送先のメールアドレスを登録する

1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

お買い求め時の設定：しない

2 [▲] または [▼] で
「ファクス to メール転送」を選び
[セット] を押す

メモリ文書消去
受信ファクスの扱い
ファクス to メール転送
する / しない

3 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

メールアドレス

ファクス to メール転送しない場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

4 メールアドレスを入力し
[セット] を押す

メールアドレスの文字数：
最大英数字 / 記号50文字

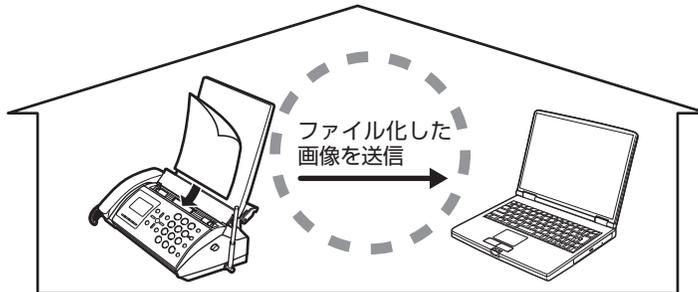
5 [ストップ] を押す

お知らせ

- **メールアドレスの表示について：**画面には全角英数字 / 記号が表示されますが、半角英数字 / 記号として登録されます。
- **メモリに残ったファクス受信文書を消去したいときは：**プリントする。プリントしないときは消去する。
 - 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」(P.62)
 - 「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.62)

スキャンした画像をパソコンに保存する (スキャンtoパソコン)

スキャンした画像をJPEG、PDFまたはTIFFの形式にファイル化し、パソコンに送信することができます。パソコンにユーティリティソフトをインストールすると (→ P.101)、自動的にパソコンのマシン名を取得して表示します (最大3台まで)。



1 原稿をセットする

→ 「原稿セットのしかた」(P.33)

2 [スタート/コピー] を押す

コピー
スキャン to PC
▲▼で選択

3 [▲] または [▼] で
「スキャン to PC」を選び
[セット] を押す

コピー
スキャン to PC
▲▼で選択

送信先PC
PC1
▲▼で選択

4 [▲] または [▼] で
送信するパソコンを選ぶ

お知らせ

- 複数のパソコンを選ぶことはできません。

転送先のパソコンが自動で見つからない場合は
(→ P.110)

- 5 **【メニュー】** を押し
【▲】 または **【▼】** で「画質」「原稿サイズ」
「ファイル形式」「濃度」を選び
【<】 または **【>】** で設定を選ぶ



→ 「画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法」(本ページ下)

- 6 **【セット】** を押す

- 7 **【スタート/コピー】** を押す

原稿読取中 P01



原稿が排出されると(読み取りを完了)、送信を開始します。

送信中
 通信終了

途中でスキャンをやめるときは:

【ストップ】 を押す。原稿が排出されずに残ったときは、もう一度**【ストップ】** を押すと排出される。

お知らせ

- 原稿は自動的に排出されます。途中で一時的に止まる場合がありますが、無理に引き抜かないでください。
- パソコンへの送信が正常に終了しないと「通信エラー」と表示されて送信されず、再送信もされません。
- **転送先のパソコンが自動で見つからない場合は**：下記の操作で、送信先のパソコンを手動設定する(3件まで)。
 1. **【メニュー】** **【7】** を順に押す
 2. **【▲】** または **【▼】** で「PC送信設定」を選び、**【セット】** を押す
 3. **【▲】** または **【▼】** で「手動宛先設定1」(または「手動宛先設定2」「手動宛先設定3」)を選び、**【セット】** を押す
 4. 送信先パソコンのIPアドレスを入力し、**【セット】** を押す
 5. **【ストップ】** を押す

画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法

【▲】 または **【▼】** で画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度を選び、**【<】** または **【>】** で設定を選びます。選択終了後、**【セット】** を押すと設定を完了します。選択できる設定と詳細は下記の通りです。

スキャンtoパソコン			
画質	【選択設定】	画像	文字
原稿サイズ	【選択設定】	A4 / A5 / B5	A4
ファイル形式	【選択設定】	JPG (JPEG) / PDF	TIFF/PDF
濃度	【選択設定】	5段階	
階調		256階調(モノクロ)	2階調(白/黒)
ファイル容量の目安/ 1枚あたり(参考値)※		約400/260/330KB (A4 / A5 / B5)	約40KB
送信可能枚数		最大5枚	

※：画質「画像」は文字と写真・絵が混在した原稿(独自)の場合、画質「文字」はA4判700字程度の原稿(独自)の場合のファイル容量の目安です。
 ファイル容量は原稿によって異なります。

(1) 「画質」の選択

「画像」…………… 文字と写真・絵が混在している原稿に適しています。

「文字」…………… 文字の多い原稿に適しています。また、ファイル容量を小さくしたいときに有効です。

(2) 「原稿サイズ」の選択

原稿サイズによって、ファイル容量が異なります。

(3) 「ファイル形式」の選択

「画像」…………… JPG(JPEG)/PDF

「文字」…………… TIFF/PDF

・PDFを表示するには送信先のパソコンにPDFビューアが必要です。

(4) 「濃度」の選択

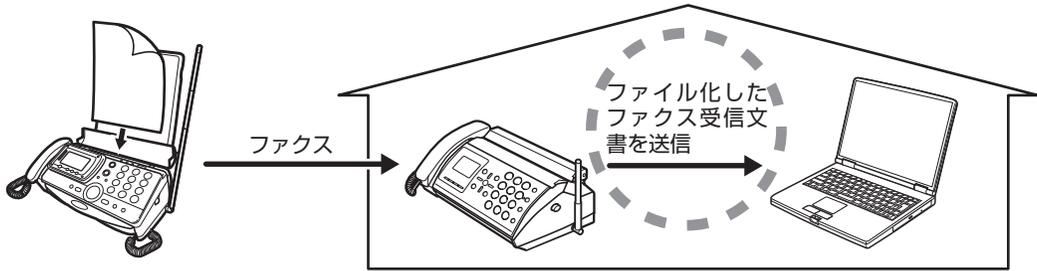
読み取り濃度を5段階で設定します。

(5) 送信可能枚数

6枚以上の原稿を送る場合、送信の途中で原稿を追加せず、何回かに分けて送信してください。

ファクス受信文書をパソコンに保存する (ファクスtoパソコン)

ファクス受信文書をPDF形式に変換し、パソコンに送信することができます。パソコンにユーティリティソフトをインストールすると (→P.101)、自動的にパソコンのマシン名を取得します (最大3台まで)。正常にパソコンに送信されると、ファクス受信文書はメモリから削除されます。送信に失敗したときは、1分間隔で5回再送されます。再送に失敗したとき、ファクス受信文書はメモリに残ります。



転送先にするパソコンを設定する

1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

2 [▲] または [▼] で
「受信ファクスの扱い」を選び
[セット] を押す

メモリ文書消去
受信ファクスの扱い
ファクス to メール転送

受信ファクスの扱い
プリント
<>で選択

3 [<] または [>] で
「PCへ転送」を選び
[セット] を押す

PCへ転送

転送先PC
PC 1
▲▼で選択

4 [▲] または [▼] で
保存するパソコンを選び
[セット] を押す

5 [ストップ] を押す

お買い求め時の設定：プリント

受信ファクスの扱いについて

プリント：紙にプリントする (→「電話やファクスを受ける」(P.39))

PCへ転送：ファクス受信後にパソコンに転送する

Web閲覧：ファクス受信文書をメモリに蓄積し、Webブラウザで見ることができる (→「パソコンで設定や閲覧をする (機能設定メニュー)」(P.112))

お知らせ

●「PCへ転送」を設定すると、メモリの中に残っていたファクス受信文書もパソコンに転送されます。

お知らせ

●転送待ち文書がある場合は、転送先を変更できません。転送するのを待たずに転送先を変更したい場合は、転送をキャンセルまたは中止して設定してください。

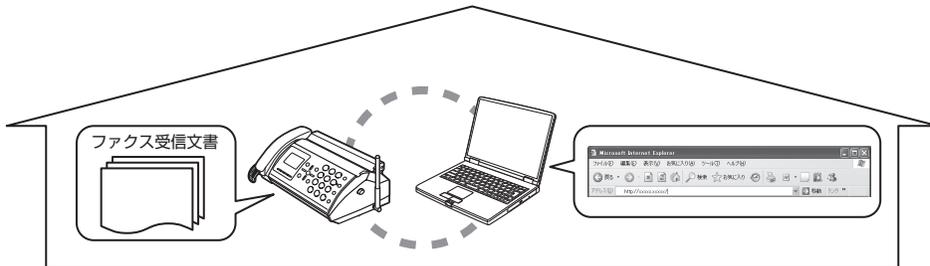
転送先のパソコンが自動で見つからない場合は (→P.110)

パソコンで設定や閲覧をする（機能設定メニュー）

Internet ExplorerなどのWebブラウザで、電話帳の編集や受信したファクス受信文書を見ることができます。

ユーティリティソフトをインストール後に、パソコンのタスクトレイに表示される「AddressResolver」のアイコンから操作を進めます。詳しい使いかたはネットワークガイドをご覧ください。

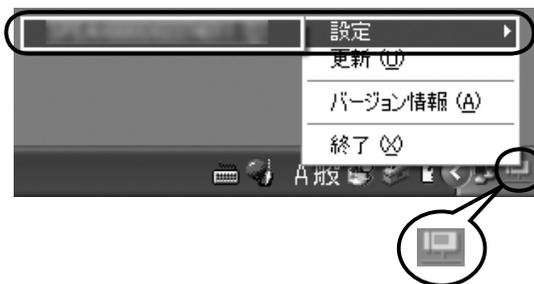
パソコンで設定や閲覧をする場合、推奨解像度は1024×768ピクセル以上です。



- 1 タスクトレイの [AddressResolver] () アイコンを右クリックし、[設定] から機器を選択する

お知らせ

● 本商品の装置名が表示されない (Not Foundと表示された) 場合は：タスクトレイの [AddressResolver] アイコンを右クリックし、[更新] をクリックすると本商品の装置名が表示される。→  「■装置名を登録するには」(P.93)



- 2 「メニュー」の「機能」から項目を選択して操作を進める

機能：機器情報表示

受信ファクス画像閲覧

電話帳



■ ログインユーザ名、ログインパスワードを設定するには

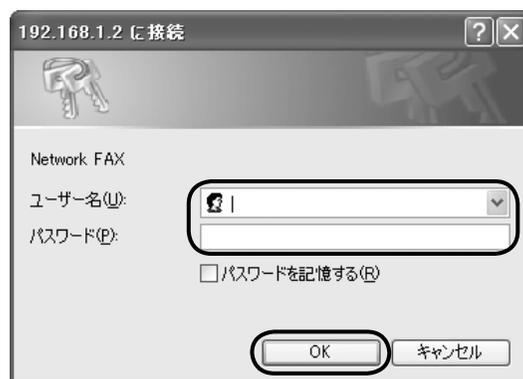
「Webログイン認証」を「する」に設定すると、右下の画面が表示されます。お買い求め時、ログインユーザ名は「user」、ログインパスワードは「password」に設定されています。

1. [メニュー] [1] を順に押す
2. [▲] または [▼] で「Webログイン設定」を選び、[セット] を押す
3. [＜] または [＞] で「Webログイン認証」を「する」を選び、[セット] を押す
4. ログインユーザ名を入力（最大半角英数字10文字）(※) し、[セット] を押す
5. ログインパスワードを入力（最大半角英数字10文字）(※) し、[セット] を押してから [ストップ] を押す

※：ログインユーザ名、ログインパスワードの入力画面では、入力した文字が半角で表示されます。記号は入力できません。

ログインユーザ名とログインパスワードを設定すると：「パソコンで設定や閲覧をする（機能設定メニュー）」( 本ページ上) の手順1のあと、右の画面が表示されます。ログインユーザ名とログインパスワードを入力し、[OK] をクリックして手順2へ進んでください。

「Unauthorized」と表示された場合は：ユーザー名またはパスワードを間違えています。正しいユーザー名とパスワードを入力してください。



こんなときは

困ったときは

紙づまりのとき

紙づまりが起きるとディスプレイに次のメッセージが表示されます。メッセージに応じてつまった紙を取り除いてください。

ディスプレイの表示	原因/対処方法/参照先
記録紙づまり 「パネル開けて下さい」と交互に表示される。	・記録紙がつまっているときは、つまった紙を取り除いてください。 ・記録ローラの汚れが考えられます。記録ローラをお掃除してください。 → 「日ごろのお手入れ」(P.129)
原稿づまり	・原稿がつまっているときは、つまった紙を取り除いてください。

つまった紙を取り除く

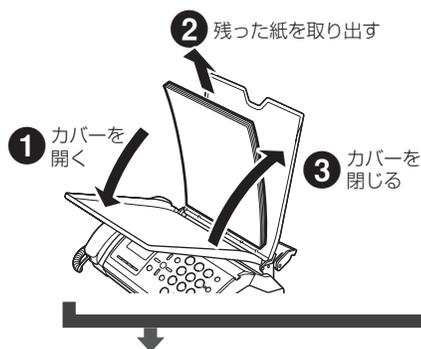
お知らせ

- 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
- 作業中は指などをはさまないように注意してください。

■ 記録紙カセットを使用している場合

1 記録紙カセットに残った紙を取り出す

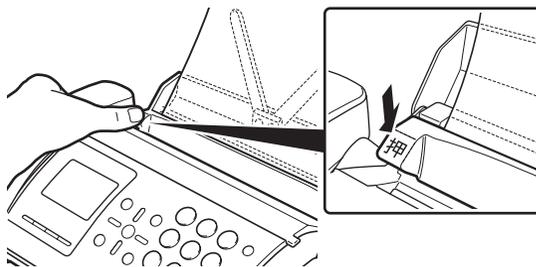
- ① 記録紙カバーを開き、手前におす
- ② 残った紙を取り出す
- ③ 記録紙カバーを閉じる



■ 記録紙サポーターを使用している場合

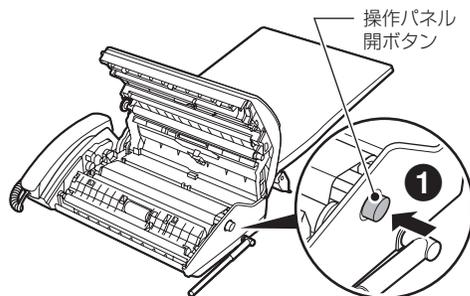
1 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

- ① 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
- ② 記録紙セットレバーから手を離す
- ③ 記録紙サポーターを収納する



2 つまんだ紙を取り除く

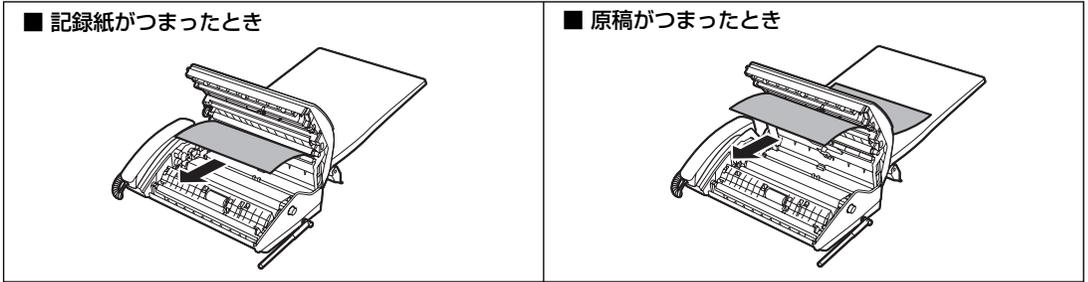
- ① 操作パネル開ボタンを押して図のように操作パネルを開く
・確実にいっぱいまで開いてください。



困ったときは

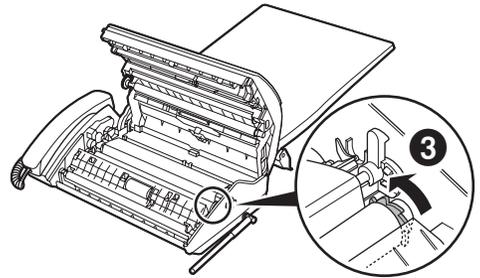
こんなときは

② つまった紙を図に示す矢印の方向にゆっくりと引き抜く



・破れたときは紙片を残さず取り除いてください。

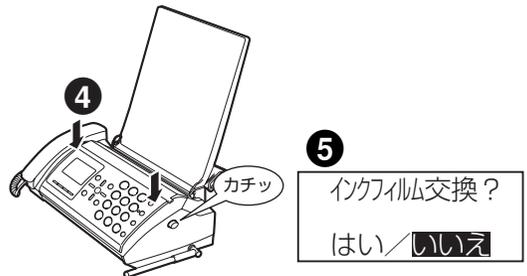
③ 図に示すように青色のギヤを回してインクフィルムのたるみをとる



④ 操作パネルを閉じる

- ・図のように左右の端を上の方から、カチッと音がするまで押さえます。
- ・手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。

⑤ 右に示すメッセージが表示されたら、[<] または [>] で「いいえ」を選び、[セット] を押す



3 記録紙を入れる

→ 「記録紙のセット」(P.27)

つまった紙を取り除いても次のメッセージが表示されることがあります。メッセージに応じて対処してください。

ディスプレイの表示	原因/対処方法/参照先
記録紙づまり	記録ローラの汚れが考えられます。ローラをお掃除してください。 → 「日ごろのお手入れ」(P.129)
操作パネル確認	操作パネルが完全に閉まっていません。もう一度、カチッと音がするまで閉め直してください。
ローラ清掃 「原稿づまり」と交互に表示されます。	原稿送り用ローラの汚れが考えられます。ローラをお掃除してください。 → 「日ごろのお手入れ」(P.129)

ファクスが正常に送れない/受けられないとき

ファクスの送信中/受信中に異常があるとディスプレイにメッセージが表示されます。それぞれの状況に応じて対処してください。

ディスプレイの表示	送信中/受信中	レポートのプリント
通信異常 この他にも異常を示すメッセージがあります。	送信中	「不達レポート」がプリントされます(不達レポート→ P.61)。
	受信中	「通信管理レポート」をプリントしてください。→ 「リストをプリントする」(P.89)

それぞれのレポートには「通信結果」を示す欄があります。レポートに記されたエラーコード(2桁の数字)からエラーコード表の「内容と対処方法」を参照し、対処してください。→ 「エラーコード表」(P.90)

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機／子機ともにご利用になれません。

親機で電話帳などの登録中、各種設定の操作中、ファクスの送信中／受信時、メッセージなどの録音中に停電したときは、操作を完了していない登録内容、設定値、送信内容／受信内容、メッセージ、用件は保存されません。

親機に記録された設定や情報には、停電したときに消えてしまうものと消えないものがあります。

消えない設定／情報	参照先
親機	
・メモリ代行受信したファクス受信文書	P.62
・自作の応答メッセージ	P.65
・留守番電話の用件	P.35
・保存したさかのぼり録音の内容	P.50
・通信管理レポート	P.89
・インクフィルム残量の記録	P.19
・電話帳に登録した内容	P.42
・おやすみモードの開始時刻／終了時刻	P.69
・各種設定	P.138
・印刷済みメール情報	P.106, 108

消えてしまう設定／情報	参照先
親機	
・リダイヤルに記録された電話番号	P.41
・時計の設定	P.26
・着信データ※	P.76
・おやすみモード	P.68
・スキャンtoメール、スキャンtoパソコン	P.104, 109

※：ナンバー・ディスプレイをご利用のとき

■ 停電から復旧したら

本商品は自動的に使用できる状態に戻ります。

- ・親機に現在の時刻を設定してください。☞「回線種別や時刻を設定する」手順2 (P.26)

■ 子機の場合

停電しても、子機の設定／情報に影響はありません。ただし、電池パックを抜くと消えてしまう設定／情報がありますのでご注意ください。☞「■電池パックを外したあとの設定／情報」(P.128)

操作ができなくなったとき

親機または子機のボタンを押しても何も反応しないときは、次の操作をお試しください。

親機	電源プラグをコンセントからいったん抜いて、再度差し込む。
子機	電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度差し込む。

お知らせ

- この操作を行うと、消えてしまう設定／情報がありますのでご注意ください。

親機：☞「停電したとき」(本ページ上)

子機：☞「■電池パックを外したあとの設定／情報」(P.128)

- 本商品の自己診断機能が異常と判断した場合、自動的にリセット処理を行う場合があります。

困ったときは (Q&A)

	こんなときは	内容	参照ページ
待受中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？	P.25
	“操作パネル確認”と表示が出た	・操作パネルを閉じてください。	P.114
	“インクフィルム交換”と表示が出た	・インクフィルムがなくなっています(残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください)。	P.126
	“メモリ受信文書あり”“インクフィルム交換”と表示が出た	・メモリ代行受信したファクス受信文書がありますが、インクフィルムがないためプリントできません。まず、インクフィルムを交換してください。(インクフィルムが残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください。)次に記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.27, 126
	“記録紙づまり”“パネル開けて下さい”と交互に表示が出た	・記録紙がつまっていますか？ 記録紙がつまっている場合は、操作パネルを開けて記録紙を取り除いてください。 ・記録ローラを清掃してください。	P.113 P.129
	“メモリ受信文書あり”“スタート押下”と交互に表示が出た	・メモリ代行受信したファクス受信文書のプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.27, 62

	こんなときは	内容	参照ページ
待 中	“レポートあり” “スタート押下”と交互に表示が出た	・リストやレポートのプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.89 P.27
	“チャイルドロック中 解除 #を2秒押す”と表示が出た	・[#]を2秒以上押し、チャイルドロックを一時的に解除してください。	P.86
電 話 （ 親 機 ／ 子 機 ）	受話器から何も聞こえない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線、受話器用コードが接続されていますか？ ・子機を使用中ではありませんか？	P.25 P.31
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？ ・ターミナルアダプタ（TA）を使用していませんか？	P.26 ※
	電話をかけることはできるが、受けることができない	・ナンバー・ディスプレイやダイヤルインのサービスに加入している場合は、必ず「利用する」に設定してください。 ・ターミナルアダプタ（TA）を使用していて、ターミナルアダプタ（TA）側でダイヤルインの設定をしている場合は、本商品側のダイヤルインの設定を「利用しない」にしてください。	P.70、81 P.81
	呼出ベルが鳴っているのに、親機で電話を受けることができない	・受話器が外れていませんか？ 受話器を親機に戻し、再度受話器をとってみてください。	—
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？	P.55
	ベルの音が小さい（大きい）	・ベルの音量を調整してください。	P.55
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手先がファクスかもしれません。親機の【スタート/コピー】（子機では【内線】を押ししたあと【6】）を押してください。	P.39、57
	相手先の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。	P.56
	着信ベル/呼出ベルの意味がわからない	・「電話やファクスを受ける」（☎ P.39）、「ベルが鳴る回数を変える」（🔊 P.87）をご覧ください。	—
	公衆電話で電話をかけた相手先から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・「ベルが鳴る回数を変える」（☎ P.87）をご覧ください。	—
	電話をかけたとき、相手先に自分の電話番号が表示されるのか？	・相手先が当社のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 ・ファクス送信のとき、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手先のファクスに表示されます。	P.70 P.59
	親機から子機を呼び出せない 子機から、親機や他の子機が呼び出せない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ ・子機を親機に近づけてみてください。 ・親機あるいは子機の近くに無線 LAN 機器や電子レンジがありませんか？ あるいは 3m 以上離してご使用ください。 ・近くで他のコードレス電話機を使用していませんか？ ・子機は充電されていますか？	P.25 P.21 P.10 P.22
	通話中に雑音が入るとき	・親機のアンテナの向きを変えてみてください。	P.21
	電話をかけてから呼出音が聞こえ始めるまでに時間がかかる	・相手先がナンバー・ディスプレイを利用している場合は、接続までに時間がかかることがあります。 ・事業者識別番号を自動的につけて電話をかけた場合は、接続までに時間がかかることがあります。	P.70 P.53
	“回線確認”と表示が出た	・電話機コードが抜けていませんか？ ・話し中に相手先が電話を切り、一定の時間が経つと表示されます。	P.25
受話器が温かい	・コピーやファクスを送受信したあとは、受話器が温かくなることがありますが、問題なくご使用いただけます。	—	
トーン（プッシュ）信号の送出しがたは？	・「ダイヤル回線でトーン信号を送る」（☎ P.56）をご覧ください。	—	

※：付属の「ネットワーク設定 操作ガイド」をご覧ください。

	こんなときは	内容	参照ページ
ファックス (コピー)	原稿をセットすると“原稿づまり”の表示が出る 原稿をセットしたのに“原稿がありません”の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	<ul style="list-style-type: none"> ・いったん操作パネルを開け、操作パネルを閉じてください。 ・原稿送り用ローラと原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。 ・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 ・原稿が本商品で読み取れるサイズや厚さではありません（厚すぎる／薄すぎる／小さすぎる）。他のコピー機で普通紙にコピーしてからファックスしてください。 	P.113 P.129 P.33
	原稿が斜めに入った	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 ・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。 	P.113 P.33 P.129
ファックス (送信)	原稿の読み取り中に「ピーピーピーピーピー」という音がして止まってしまい、“原稿づまり”と“ローラ清掃”という表示が交互に出た	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を取り除き、やり直してください。 ・原稿送り用ローラと原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。 	P.113 P.129
	原稿が送られず、“相手先無応答”と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、かけ直してください。 ・相手先のファックスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送り直してください。 ・相手先が番号非通知の着信を拒否している可能性があります。電話番号を通知して、もう一度送り直してください。 	— P.72
	原稿が送られず、“相手先話し中”と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先が話し中です。しばらくしてから、かけ直してください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください。 	—
	何回送信しても“リダイヤル待ち”になる	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先が話し中です。 ・電話がかかけられるかを確認してください。 ・電話をかけてそのまま通話中に送信してみてください。 ・「ダイヤルトーン検出」を「しない」に設定してみてください。 	P.34 P.57 P.60
	送信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先のファックスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してください。 	—
	送信に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> ・画質の設定が「写真」のときは、「普通」や「小さい」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。 	P.58
	モーター音が大きくなることがある	<ul style="list-style-type: none"> ・送信に時間がかかるときには、モーター音が若干大きくなる場合がありますが、故障ではありません。 	P.58
	海外への送信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。電話をかけてそのまま通話中に送信した方が確実に送れます。 ・海外通信の設定をすると、ファックス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。 	P.57 P.60
	送受信でサイズが違う	<ul style="list-style-type: none"> ・ファックスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。 	—
	送信した原稿が相手先で白紙になる	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？ 送る面を「裏向き」にセットし、もう一度送り直してください。 ・相手先の記録紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送り直してください。 	P.33
	相手先で受信した記録がかすれた／うすい	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください。 	P.58
相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> ・本商品でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。コピーが鮮明なときは回線または相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください。 ・画質を変えてもう一度送り直してください。 	P.34, 129 P.79 P.58	
相手先で受信した記録に黒いすじが入る	<ul style="list-style-type: none"> ・本商品でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。コピーが正常なときは、相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。 	P.34, 129	

	こんなときは	内容	参照ページ
	“少しお待ち下さい”と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	—
	“操作パネル確認”と表示が出た	・操作パネルを閉じてください。	P.114
	“インクフィルム交換”と表示が出た	・インクフィルムがなくなっています（残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください）。	P.126
	“記録紙ありません”と表示が出た	・プリント中に記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。	P.27
	“記録紙づまり”と表示が出た	・記録紙がつまっています。 ・記録ローラを清掃してください。	P.113 P.129
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・コピー中や登録・設定中のときは、 【ストップ】 を押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。手動受信を行ってください。 ・「着信ベル回数」が「8回」以上に設定されている場合、相手先が電話をかけずにファクスを送ったときは受信できないことがあります。 ・「着信モード」を「電話専用」に設定しているときは自動受信できません。 ・応答メッセージやさかのぼり録音、留守電の用件でメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。不要な用件を消去してください。	P.57 P.87 P.84 P.37
	受信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・ 【ストップ】 を押すと音が止まります。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。 ・インクフィルムがなくなっています。 ・相手先のファクスに原稿づまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、送り直してもらってください。	P.27 P.27、113 P.126
ファクス (受信)	受信した記録紙が白紙になる	・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	—
	受信した記録紙のほかに白紙が出た	・送信側で原稿を読み取る際、本来の長さより伸びたり縮んだりすることがあります。読み取りが伸びた場合に、受信側で余白部分を2枚目と認識して白紙の記録紙を出力することがあります。 ・「受信縮小率」を「100%」に設定している場合は、記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。	P.63
	受信した画像が鮮明でない	・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください。 ・本商品でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または相手先に原因があると思われます。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください。	P.79 P.34
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本商品でコピーをとってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手先に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。	P.34 P.129
	記録紙を入れるたびに、同じ内容が印刷される	・A4長を超える原稿を受信した場合、記録紙が2枚以上に分割されます。このとき、記録紙が1枚しかセットされていないと、プリント中に記録異常となり、記録紙を追加しても、はじめからプリントし直します。記録紙は常に多めにセットしておいてください。	—
	記録紙がつまる 記録紙が送られない	・当社指定の記録紙を使用してください。 ・セットできる枚数は、記録紙力セット使用時は20枚まで、記録紙サポーター使用時は5枚までです。 ・記録紙を補充するときは、記録紙力セットまたは記録紙サポーターに残っている記録紙を全て取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。 ・しわのある記録紙、折れている記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。 ・記録ローラ、ゴム板を清掃してください。	P.27 P.129

	こんなときは	内容	参照ページ
ファクス (受信)	記録紙が一度に複数枚送られる	<ul style="list-style-type: none"> ・当社指定の記録紙を使用してください。 ・記録紙を補充するときは、記録紙カセットまたは記録紙サポーターに残っている記録紙を全て取りだし、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。 ・しわのある記録紙、折れている記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。 ・ゴム板を清掃してください。 	P.27 P.129
	プリントした記録紙が汚れるとき	<ul style="list-style-type: none"> ・記録ローラを清掃してください。 	P.129
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・応答メッセージやさかのぼり録音、留守電の用件でメモリがいっぱいになっていると、メモリ代行受信ができません。不要な用件などを消去してください。メモリ内にファクス受信文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。 	P.37、 62、65
	メモリオーバーによる通信異常が多発する	<ul style="list-style-type: none"> ・本商品は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信がはたらくように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> － 不要な用件を消去する － メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする － メモリ内の不要なファクス受信文書を消去する 	P.37 P.62
	海外からの受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・国によっては著しく回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。 	P.35
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信」を「する」に設定しておく方がよいのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・海外通信の設定は、ファクスを送るとき機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。 	—
	ファクスかんたん受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・「ファクスかんたん受信」が「する」に設定されていますか？ ・受話器から「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・周囲に騒音などありませんか？ ・相手先がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。親機の[スタート/コピー]を押してください。子機では[内線]を押したあとに[6]を押してください。 ・受信したファクスをプリント中は受信できません。 	P.61 P.39
	A4の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先(送信側)で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。 ・「受信縮小率」を「93%」、「90%」、「85%」に設定していませんか？ 	P.63
	記録紙、インクフィルムがなくなったときはどうなるのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・記録紙、インクフィルムがなくなったページからメモリ代行受信します。 	P.62
	子機で受けたときのファクスの受信方法は？	<ul style="list-style-type: none"> ・[内線]を押したあとに[6]を押してください。 	P.57
留守 番 電 話	留守設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。メモリ代行受信したファクス受信文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。 	P.37、 62、65
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・「トールセイバ」を「しない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。 	P.68
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまう(用件件数は表示されている)	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタスピーカ音量が「切」になっています。 	P.56
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ・「着信ベル回数」を「7回」以下に設定してください。 	P.87

	こんなときは	内容	参照ページ
留守番電話	外出先から操作（リモート操作）できない	<ul style="list-style-type: none"> 留守設定にしておりますか？ パスワードは登録しましたか？ プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ 「リモート操作」を「する」に設定しておりますか？ 	P.35 P.66
	応答メッセージが流れない	<ul style="list-style-type: none"> 着信中に【留守】を押したとき、留守設定はされますが、モニタスピーカからメッセージは流れません。 おやすみモードになっていませんか？ 	P.36 P.68
いろいろなサービス	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	「キャッチホン」(☎ P.79) をご覧ください。	—
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	使用できません。	P.81
	当社のボイスワープ（転送サービス）に加入したが、電話への転送ができるか？	<ul style="list-style-type: none"> 「着信ベル回数」を、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本商品が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにしなければなりません。 ボイスワープに加入すると、相手先が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。 	P.87
	ナンバー・ディスプレイに加入し、使用しているが、着信データが親機には残るが、子機に残らないときがある	<ul style="list-style-type: none"> 子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？ 子機を親機に近づけてみてください。 子機の呼び出しが行われる前に親機で電話に出ていますか？ 着信拒否やプライベートコール設定により、子機の呼び出しが行われず着信データが子機に残らないことがあります。 	P.21 P.72、75
接続方法	ホームテレホンまたはビジネスホンをファクスを接続できるか？	接続できません。	—
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	「IP 電話機能付き ADSL モデムに接続したときの注意」(☎ 付属の「ネットワーク設定 操作ガイド」) をご覧ください。	—
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。本商品とパソコンを離して置いてみてください。	P.21
その他	“原稿づまり”と表示されるが、原稿が取れない	操作パネルを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.113
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	数字は「文字入力について」(☎ P.144) に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	—
	さかのぼり録音ができない	用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。メモリ代行受信したファクス受信文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。	P.37、 62、65
	本商品のどのボタンを押しても何も反応しない	<ul style="list-style-type: none"> 親機の場合は、電源プラグをコンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。 	P.25 P.22
	引越しなどで電話番号が変更になったときは？	<ul style="list-style-type: none"> 回線種別の設定が合っているか確認してください。 回線付加サービスに加入している方は再度、サービスごとの設定を確認してください。 親機に、発信元や自分の電話番号を登録している場合は、新しい電話番号を登録し直してください。 	P.26 P.30 P.59
	操作を間違えた	親機は【ストップ】を、子機は【切】を押し、操作や設定をキャンセルします。	—
	ネットワーク機能(全般)	ネットワーク通信がうまくいかない	<ul style="list-style-type: none"> 本商品を含めたルータに接続されている機器全てを、「DHCP を使用」を「する」に設定して使用することを推奨いたします。 ルータや他の機器を含めたネットワークの設定を再度ご確認ください。
通信エラー XXXXX と表示された	エラー番号表をご覧ください	P.93、94	
通信エラー XXXXX と表示されたが、メモをとる前に消えてしまった	「最新のエラー番号を表示させるには」(☎ P.93) をご覧ください。最後に発生したエラー番号が表示されます。	—	
通信エラーと表示されるだけで、エラー番号が表示されない	「エラー表示設定」を「する」に設定してください。	P.93	

	こんなときは	内容	参照ページ
ネットワーク機能(全般)	固定の IP アドレスに設定していて、本商品の登録/設定をお買い求め時の状態に戻したい	・本商品を固定 IP アドレスを設定して使用している場合に登録/設定をお買い求め時に戻す操作を実行すると、「DHCP を使用」が「する」に設定されるため、ネットワークやブラウザにつながらなくなることがあります。 本商品で「出荷時に戻す」を実行するとき ：LAN ケーブル（緑カパー付き）をいったん抜いてから操作してください。実行後、「IP アドレス設定」を設定し直し、LAN ケーブル（緑カパー付き）を接続してください。 パソコンで「設定初期化」を実行するとき ：実行後、アクセス中のブラウザを閉じ、本商品で「IP アドレス設定」を設定し直してください。	P.92、132、※ 1
	お買い求め時の状態に戻す操作を実行したら、ネットワークやブラウザにつながらなくなった	・本商品を固定 IP アドレスを設定して使用している場合に登録/設定をお買い求め時に戻す操作を実行すると、ネットワークやブラウザにつながらなくなることがあります。（☞上記） アクセス中の Web ブラウザを閉じ、本商品で「IP アドレス設定」を設定し直してください。	P.92
	パソコンの名称が正しく表示されない	・パソコンの名称は半角英数字のみ対応しています。全角文字の場合、正しく表示されません。	—
	LAN ケーブル（緑カパー付き）を差し込むと「ピッ」という音が鳴る	・本商品がネットワークに接続されると、確認のため「ピッ」という音が鳴ります。	—
	LAN ケーブル（緑カパー付き）を差し込んで「ピッ」という音が鳴らない	・ネットワーク接続、またはネットワーク機器に問題があります。次を参考に現在の設定環境をご確認ください。 －「キータッチトーン」が「しない」に設定されていませんか？ －本商品の LAN 端子と、接続先の機器（ルータ、ハブ等）の LAN 端子に、LAN ケーブル（緑カパー付き）が正しく接続されていますか？ －本商品やルータの電源を入れ直してみてください。 ・上記で改善されなければ、本商品、ルータ、ハブが故障している可能性があります。	P.85 ※ 2 P.25、※ 2
	LAN ケーブル（緑カパー付き）を差し込んで「ピッ」という音が鳴ったのに、ネットワークにつながらない	・IP アドレスの設定を間違えている可能性があります。次のことをご確認ください。 －「IP アドレス表示」で、「0.0.0.0」以外の IP アドレスが表示されることをご確認ください。「0.0.0.0」が表示されている場合は、IP アドレスが正しく取得できていません。 正しく IP アドレスが取得できていない場合は、「DHCP を使用」を「する」に設定してください。 －「DHCP を使用」が「する」に設定されていても IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合は、お使いのルータの DHC サーバ機能が無効になっている、または固定 IP アドレスを使用する設定になっている可能性があります。 ルータの DHCP サーバ機能を使用する設定にするか、本商品の「DHCP を使用」を「しない」に設定し、「手動」で固定 IP アドレスを設定してお使いください。 ※ IP アドレスを固定で設定するときは、本商品の IP アドレスが、ルータやパソコンなどの他の機器と重複しないようご注意ください。 他の機器と重複する IP アドレスを本商品に設定すると、正常に通信できません。	P.92
	「IP アドレス設定」を行うと「ピッ」という音が鳴る	・「IP アドレス設定」を行うと、本商品のネットワークがいったん切断されて、接続されます。本商品がネットワークに接続されると、確認のため「ピッ」という音が鳴ります。	P.92
	ネットワーク設定を変更していないのに、突然通信エラーが出て通信できなくなった	・「ネットワーク修復」を実行してみてください。正常に戻る場合があります。「ネットワーク修復」を行うと、本商品のネットワークがいったん切断されて、接続されます。本商品がネットワークに接続されると、確認のため「ピッ」という音が鳴ります。	P.93
	パソコンから「ネットワーク設定」で「DHCP 使用：する」から「DHCP 使用：しない」に変更し、IP アドレスの設定したが、【登録】をクリックしても登録完了画面が表示されない	・IP アドレスを変更したため、ブラウザ表示ができなくなっています。 【AddressResolver】アイコンを右クリックしてタスクトレイの【更新】をクリックし、同じタスクトレイの【設定】をクリックして本商品の装置名を選択してください。	P.112

	こんなときは	内容	参照ページ
ネットワーク機能 (メール送受信)	IMAP4はサポートしているか？	・メール受信はPOP3のみ対応しています。IMAP4はサポートしていません。	P.95
	「添付ファイルは印刷することができませんでした」とプリントされる	・次のような受信メールの場合、本商品で添付ファイルをプリントできないことがあります。 －JPG (JPEG)、TIFF、PDF、TXT 以外の形式のファイルが添付されている場合 －添付ファイルが壊れている場合 －添付ファイルのサイズが大きすぎる場合	－
	添付ファイルがないのに「添付ファイルは印刷することができませんでした」が印刷される	・メールの送り主のメールソフトが、本商品で対応していない形式のファイルを、自動的に添付することがあるため、メール送り元で添付ファイルをつけていないにもかかわらず、このメッセージがプリントされることがあります。	－
	“メール本文が見つからないため、印刷できませんでした”が表示される 本文が空白となって印刷される	・相手先がHTML形式でメール送信したり、本文を入力せずにメール送信すると、相手先のメーラによっては本商品でメール本文をプリントできません。 相手先に、テキスト形式にして送り直してもらい、本文を入力して送り直してもらい、パソコンでメールを受信する等をお試しください。	－
	メール表題が文字化けしたり、メール to プリントが正常に動作しない／絵文字が印刷されない	・本商品で対応している文字コードは「JIS」等、一部の文字コードのみです。その他の文字コードでエンコードされたメールや、携帯電話や PHS 等の絵文字には対応していません。	P.106
	「未対応の文字コードを使用しているため印刷できませんでした」とプリントされる	・本商品で未対応の文字コードを使用している受信メールはプリントできません。パソコンでメールを受信し直してください。	－
	“メールがあります” “スタート押下” と交互に表示が出た	・メールのプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.27, 106
	メール to プリントで印刷可能なファイルは？	・PDF、JPG (JPEG)、TIFF、TXT です。同じ機種から発信されたファイルのみサポートします。	－
	メール受信ができない	・本商品に登録されたメール受信設定の内容が間違えている可能性があります。「POP3 アドレス」、「POP3 ユーザー名」、「POP3 パスワード」、「POP3 ポート番号」、「APOP 認証」(APOP 認証が必要な場合) が正しく設定されているかをご確認ください。	P.95、97
	メール送信ができない	・本商品に登録されたメール送信設定の内容が間違えている可能性があります。「SMTP アドレス」、「SMTP ポート番号」※1、「SMTP 認証」※2、「送信前に受信」※3 が正しく設定されているかをご確認ください。 ※1：SMTP 認証をお使いのお客様は、特にお気をつけください。 ※2：お使いのメールサーバで、SMTP 認証が必要かをご確認ください。 ※3：お使いのメールサーバで、「POP before SMTP」の設定が必要かをご確認ください。	P.95、96
	受信メールをプリントすると、「本文または添付ファイルが、印刷できませんでした」とプリントされる	・次の場合、受信メールを本商品でプリントできないことがあります。 －受信メールのサイズが大きすぎる場合 －受信メールの1行あたりの文字数が多すぎる場合 －画像などで装飾してあるメールや、特殊な形式のメールを受信した場合 －対応していないフォーマットの場合 プリントできない場合は、相手先に印刷できる形式で送信し直していただくか、パソコンでメールを受信し直してください。	－
	「未対応のフォーマットのため印刷できません」とプリントされる	・本商品で未対応のフォーマットを使用している受信メールはプリントできません。パソコンでメールを受信し直してください。	－
	メールプリント中に用紙切れになった	・“メールがあります” “スタート押下” が交互に表示されます。記録紙をセットして【スタート/コピー】を押すと、用紙切れになったページからプリントされます。	P.27, 106
手動プリント中にインクフィルムがなくなった	・インクフィルムを交換し、メールをプリントし直してください。	P.107、126	

	こんなときは	内容	参照ページ
ネットワーク機能 (メール送受信)	メールプリント中に用紙切れになり、「記録紙をセットしてスタート押下」と表示されている間に記録紙をセットして【スタート/コピー】を押したが、プリントが再開されない	・プリントを再開する際、プリントするページが多いと、印刷していないページの検索に数分かかる場合があります。故障ではありませんので、しばらくお待ちください。	—
	メールを確認するとき、新しいメールを先に確認したいのに、古い順に表示される	・メールの表示順序は、ご契約されているプロバイダのメールサーバの設定によって異なります。「メール表示順序」で設定を変更してください。	P.97
	POP3 ユーザ名、POP3 サーバ名を変更したあと、一度プリントしたメールが再度プリントされた	・POP3 ユーザ名、POP3 サーバ名を変更すると、変更する前の印刷済みメール情報が失われます。 ※POP3 ユーザ名、POP3 サーバ名を元に戻しても、印刷済みメール情報は元に戻りません。	—
	いったん自動プリントしたメールは、本商品の電源を入れ直すと再度プリントされるのか？	・印刷済みメール情報はバックアップされているため、電源を入れ直しても印刷済みのメールは自動プリントされません。	P.106
	自動プリントした受信メールを自動的に消去するように設定したが、自動プリントしても受信メールが消去されない	・添付ファイルの内容が全てプリントされないと消去されません。プリントできないファイルが添付されたメールは手動で消去してください。	P.106
	メールを確認中に「メール削除済み」と表示される	・メールを確認中に消去したメールがある場合、「メール削除済み」と表示されます。	—
	本商品でメールを削除していないのに「メール削除済み」と表示される	・パソコン等の機器で、同じメールアドレスを使用していないか？ ご契約のメールアカウントによっては、同一アカウントへの同時ログインを許可している場合があります。その場合、本商品がメールサーバにアクセスしているときに、他の機器からメールを削除すると「メール削除済み」が表示されます。	—
	メールのプリントを行うと、通信エラーになる	・メールサーバによっては、メール受信と中断を何度も繰り返し行くと、通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生した場合は、しばらく時間を置いてから操作してください。	—
	本商品から突然「ピーピーピー」という音が鳴った	・次の場合、メールの自動到着確認の動作時にアラーム音が鳴りますのでご確認ください。 — LAN ケーブル（緑カバ付）が抜けているとき — IP アドレスの設定が間違えているとき	P.25、※ P.92
	プリントされた添付ファイル名が実際のファイル名と異なる	・次の場合、実際のファイル名と異なる名前が、添付ファイル名がプリントされることがあります。 — ファイル名や拡張子が長い場合 — ファイル名や拡張子に対応していない文字コードを使用している場合	—
	添付ファイルを複数つけたメールを受信したが、添付ファイル名が全てプリントされない	・受信したメールに、プリントできない形式の添付ファイルが複数添付されていた場合、そのうちの1つのファイル名をプリントします。	—
	1回のメール送信に、複数の相手先を指定できるのか？	・最大5宛先まで指定できます。	P.104
	複数の相手先を指定してメールを送信するとき、パソコンのアドレスと携帯電話のアドレスを同時に指定できるのか？	・パソコンのアドレスと携帯電話のアドレスを、メール送信先として同時に指定することはできません。	—
	A5サイズの記録紙にメールをプリントしたい	・「メール to プrint」は、A4サイズ以外の記録紙を使用すると正しくプリントできません。A4サイズの記録紙をご使用ください。	—

※：付属の「ネットワーク設定 操作ガイド」をご覧ください。

	こんなときは	内容	参照ページ
ネットワーク機能 (ファクストイレール転送)	ファクス to メール転送を行うと、通信エラーが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンから「機能設定メニュー」を開けますか？ 開けない場合は、ネットワーク機能の設定が正しくないことが考えられますので、ご確認ください。また、エラー番号もご確認ください。 ・メールの送受信の設定をご確認ください。 ・「受信ファクスの扱い」を「Web 閲覧」にしている場合、本商品に蓄積できるファクス受信文書は 10 件までです。10 件を超えた分はファクス受信されないため、ファクス to メール転送も行われません。 	<p>P.93、94、112</p> <p>P.96、97 P.111</p>
	転送時のファイル形式を変更できるか？	<ul style="list-style-type: none"> ・転送時のファイル形式は PDF のみです。ファイル形式を変更することはできません。 	—
	ファクス to メール転送で、送信メールの表題、メール本文を変更することはできるか？	<ul style="list-style-type: none"> ・送信メールの表題、メール本文は固定のものを使用しています。変更することはできません。 	—

お手入れのしかた

インクフィルムを交換する

インクフィルムがなくなるとディスプレイに次のメッセージが表示されます。また、「インクフィルム残量」の表示を見るとおよその残量がわかります。メッセージに応じてインクフィルムを交換してください。

ディスプレイの表示



インクフィルム交換

🔊 「ディスプレイの見かた」(P.19)

お知らせ

印刷できる枚数（インクフィルム1本、記録紙サイズA4の場合）

テスト用インクフィルム（付属）：約15枚

交換用インクフィルム（別売り）

品名 ファクシミリ用P形A4インクリボン（13）（24m）：約75枚

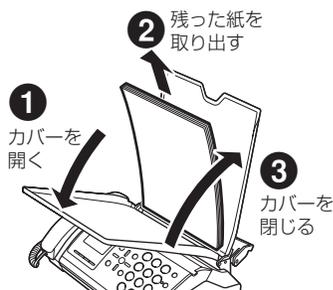
※ NEC製インクフィルム（品名 SP-FA524S（24m））もお使いになれます。

- 当社指定のインクフィルム以外はお使いになれません。
- 指定のインクフィルムをお使いにならないと、きれいな印字ができないことがあります。また、故障の原因になることがあります。
- 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
- 作業中は指などをはさまないように注意してください。
- インクフィルムがない状態で操作パネルを閉じると、「パチッ」という音がする場合があります。これは内部のギヤのかみ合いの音です。インクフィルムがないまま操作パネルの開閉を続けると、故障の原因となることがあります。

■ 記録紙カセットを使用している場合

1 記録紙カセットに残った紙を取り出す

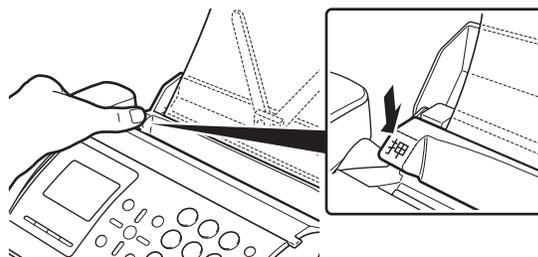
- 1 記録紙カバーを開き、手前にたおす
- 2 残った紙を取り出す
- 3 記録紙カバーを閉じる



■ 記録紙サポーターを使用している場合

1 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

- 1 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
- 2 記録紙セットレバーから手を離す
- 3 記録紙サポーターを収納する

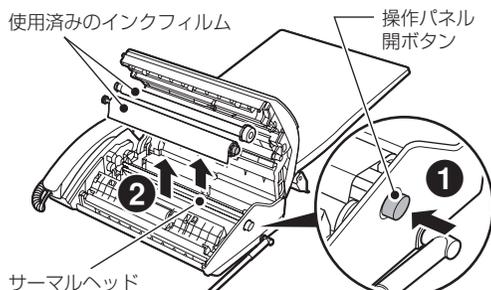


2 インクフィルムを交換する

- 1 操作パネル開ボタンを押し、図のように操作パネルを開く
・ 確実にいっぱいまで開いてください。
- 2 使用済みのインクフィルム（巻き取られたインクフィルムとカラになった白色の棒の2本）を取り出す
・ サーマルヘッドの両端にある金属部分には手を触れないでください。

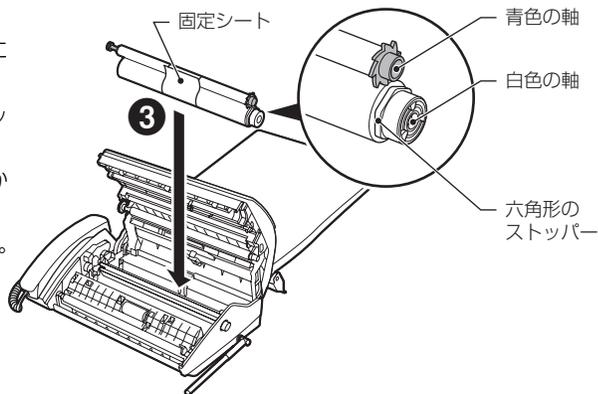


サーマルヘッドやその周辺には手を触れないでください。高温でやけどすることがあります。



③ 新しいインクフィルムを入れる

- ・ 固定シートをつけたまま図のように本商品の奥にある溝に入れます。
- ・ 白色の軸のロールを下側にして、六角形のストッパーがある方を右側にします。
- ・ 六角形のストッパーが、本商品の取付部にしっかりとハマっていることを確かめてください。
- ・ 白色の軸の左側もしっかり取り付けてください。

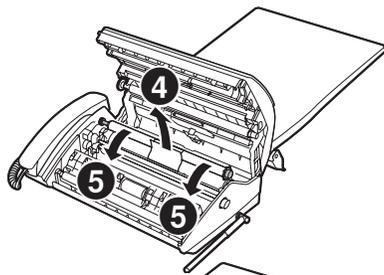


④ インクフィルムの固定シートをはがす

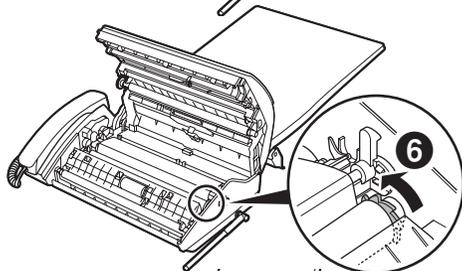
- ・ 接着された部分をはがし、図に示す矢印の方向に抜き取ります。

⑤ 青色の軸をセットする

- ・ 青色の軸を持ってインクフィルムを少し引き出し、そのまま青色の軸を本商品の手前にある溝にセットします。

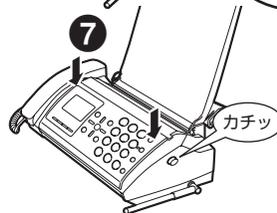


⑥ 青色のギヤを回してインクフィルムのたるみをとる



⑦ 操作パネルをゆっくり閉じる

- ・ 図のように左右の端を上の方から、カチッと音がするまで押さえます。
- ・ 手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。



3 インクフィルムの残量表示をリセットする

- ① 右に示すメッセージが表示されたら、[セット] を押す
 - ・ 「はい」を選ばないとインクフィルム残量が正しく表示されません。
- ② 右に示すメッセージが表示されたら、[セット] を押す
 - ・ リセットしないとインクフィルム残量が正しく表示されません。



4 記録紙を入れる

📄 「記録紙のセット」(P.27)

お知らせ

- 新しいインクフィルムを取り付けたときは、インクフィルム残量をリセットします(手順3)。リセットしないとインクフィルム残量が正しく表示されません。使用中のフィルムを入れ直したときは、リセットしなければもとの残量を表示できます。
- インクフィルムは、廃棄するときを除いて分解しないでください。
- 巻き戻したインクフィルムはお使いにならないでください。きれいに印字できなったり故障の原因になることがあります。

■ 使用済みのインクフィルムの処分

- ・ 使用済みのインクフィルムにはプリントした内容が残ります。内容を見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
- ・ お住まいの地域で定められたゴミの分別ルールに従って処分してください。
フィルム：ポリエステル 芯：ポリスチレン、ポリアセタール、ABS樹脂

子機の電池パックを交換する

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、電池パックを交換してください。

■ 電池パックを安全にお使いいただくためのご注意

⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因になることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

■ 電池パックのリサイクルについて

 電池パックにはニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池パックや、本商品を廃棄する際に取り出した電池パックは、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、当社のサービス取扱所、お買い求めになった販売店、またはお近くの「ニッケル水素電池リサイクル協力店」へお持ちください。

- 「ニッケル水素電池リサイクル協力店」へのお問い合わせは下記へお願いします。
 - ・ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店
 - ・ 「(社)電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ」事務局 ((社)電池工業会ホームページ <http://www.baj.or.jp/> (平成19年10月現在) をご参照ください)

交換用の電池パックは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

ニッケル水素電池 3.6V 600mAh

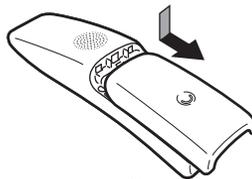
品名：電池パック-099

お知らせ

- 必ず指定の電池パックをお使いください。
- 電池パックを外すと消えてしまう情報があります。必要な情報はあらかじめメモをとるなど記録しておいてください。➡
「■電池パックを外したあとの設定/情報」(本ページ下)
- 電池パックのコードは強く引張らないでください。また電池カバーを取り付けるときに、はさまないでください。
- 電池パックが入っていない子機を充電器に置かないでください。

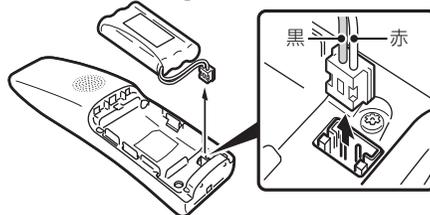
1 電池カバーをあける

図のように電池カバーを下に押しながら手前に引きます。



2 古い電池パックを取り出す

コネクタをまっすぐ上に引き抜きます。



3 新しい電池パックを取り付け、電池カバーを取り付ける

➡「子機を組み立てる」(P.22)

お知らせ

- 新しい電池パックは充電されていません。子機に入れたあと充電してください(約10時間)。➡「子機を充電する」(P.22)

■ 電池パックを外したあとの設定/情報

消えてしまう設定/情報	参照先	消えない設定/情報	参照先
・着信データ※	P.76	・電話帳に登録した内容	P.45
・リダイヤルに記録された電話番号	P.41	・各種設定	—
・時計	P.23		

※：ナンバー・ディスプレイをご利用のとき

日ごろのお手入れ

本商品を良好な状態でお使いになるためには、定期的に外装や内部をお掃除してください。

お知らせ

- お手入れの前には電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜くと消えてしまう設定や情報があります。必要な情報はあらかじめメモをとるなど記録しておいてください。☞「停電したとき」(P.115)

親機／子機の外装のお掃除

うすめた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞ってから、本商品の表面の汚れを拭き取ってください。そのあとは、乾いた柔らかい布で拭いてください。水拭きをするときは布を固く絞ってから拭いてください。

お願い

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

親機内部のお掃除（原稿送り用ローラ／記録ローラ／ゴム板／インクフィルム押さえ部／原稿読み取り部）

こんなときにお掃除してください	お掃除する箇所	お掃除の周期
原稿が送れない	原稿送り用ローラ	月に1度ぐらい
記録紙がうまく送れない	記録ローラ、ゴム板	
プリントした記録紙が汚れる	記録ローラ、インクフィルム押さえ部	記録紙が汚れるとき
コピーや相手先の記録紙に汚れが写る	原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）	月に1度ぐらい

お知らせ

- 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
- 作業中は指などをはさまないように注意してください。

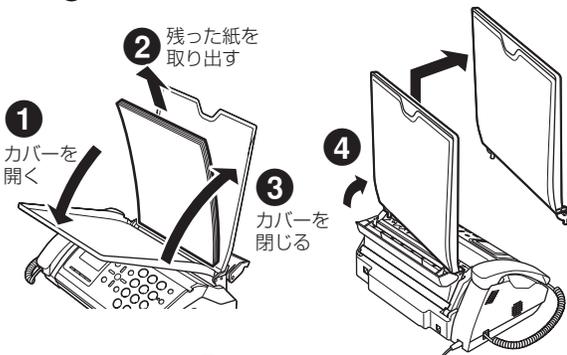
1 電源プラグをコンセントから抜き、電話機コードを親機から抜く

☞「親機の接続」(P.24)

■ 記録紙カセットを使用している場合

2 記録紙カセットに残った紙を取り出し、記録紙カセットを取り外す

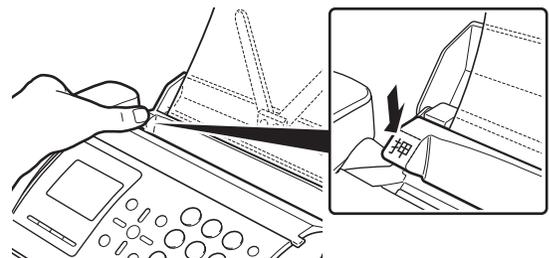
- 1 記録紙カバーを開き、手前におす
- 2 残った紙を取り出す
- 3 記録紙カバーを閉じる
- 4 記録紙カセットを取り外す



■ 記録紙サポーターを使用している場合

2 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

- 1 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
- 2 記録紙セットレバーから手を離す
- 3 記録紙サポーターを収納する



手順3へ

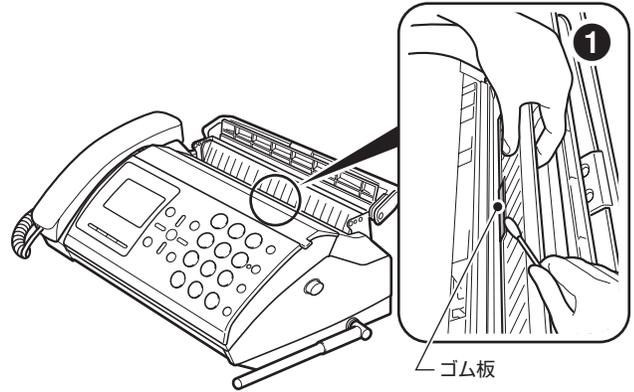
お
手
入
れ
の
し
か
た

こ
ん
な
と
き
は

3 ゴム板を掃除する

片方だけ水に浸した綿棒を用意してください。

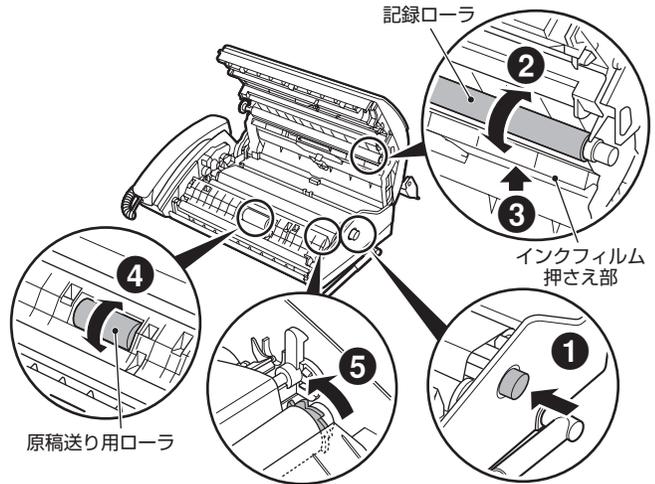
- 1 ゴム板が付いている部分を図のように指で開く
- 2 ゴム板部分にできた隙間に綿棒を差し込んで、ゴム板を拭く
・綿棒の水に浸した方でゴム板の汚れを拭き取ったあと、乾いた側で水分を拭き取ります。



4 ローラ、インクフィルム押さえ部を掃除する

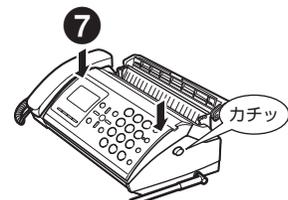
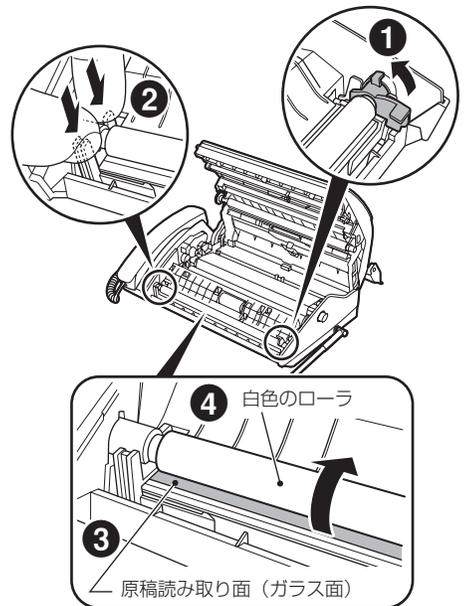
水に浸した布を固くしぼり、ローラを図に示す矢印の方向に回しながら拭きます。

- 1 操作パネル開ボタンを押して図のように操作パネルを開く
・確実にいっぱいまで開いてください。
- 2 記録ローラを拭く
- 3 インクフィルム押さえ部を拭く
- 4 原稿送り用ローラを拭く
- 5 青色のギヤを回してインクフィルムのたるみを取る



5 原稿読み取り部を掃除する

- 1 白色のローラの右端にある緑色のレバーを図に示す矢印の方向に起こす
・原稿読み取り部の右側が白色のローラから少し離れます。
- 2 原稿読み取り部の左端を固定している白色の突起を左手の指で押し下げる
・原稿読み取り面と白色のローラの掃除が終わるまで押し下げたままにします。
- 3 原稿読み取り面（ガラス面）を柔らかい布または綿棒で拭く
・白色のローラとの間にできた隙間に布を差し込んで拭きます。
- 4 白色のローラを拭く
・水に浸した布を固くしぼり、ローラを図に示す矢印の方向に回しながら拭きます。
・矢印と反対の方向に回すと、緑色のレバーが倒れてしまうことがあります。
- 5 白色の突起から左手を離し、緑色のレバーをもとに戻す（倒す）
- 6 青色のギヤを回してインクフィルムのたるみを取る → 手順4⑤（本ページ上）
- 7 操作パネルを閉じる
・左右の端を上の方から、「カチッ」と音がするまで押さえます。
・手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。



6 記録紙カセットを設置、または記録紙サポーターを 起こし、回線や電源をもと通りに接続する

→ 「親機の接続」(P.24)

7 記録紙を入れる

→ 「記録紙のセット」(P.27)

インクフィルム／記録紙の保管

品質の劣化したインクフィルムや記録紙をお使いになると、きれいにプリントできなったり故障の原因になったりします。インクフィルムや記録紙の保管には次のことをお守りください。

■ インクフィルム（本商品にセットする前のもの）

- ・ 直射日光が当たる場所を避け、袋に入れて気温が0～35℃の場所に保管してください。
- ・ 結露があるインクフィルムは乾燥させてからお使いください。

■ 記録紙

- ・ 湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。
- ・ 本商品の記録紙カセットに長期間セットしたままにしないでください。

消耗品・別売品／増設／廃棄

消耗品・別売品のご案内

■消耗品

消耗品については、パーツサービスセンタ（☎ 0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。本商品を長い間安心にお使いいただくためにも、当社指定品をお使いください。

消耗品	品名	仕様
インクフィルム	ファクシミリ用P形A4インクリボン(13)	A4サイズ（セキュリティ強化タイプ） 24m ※ NEC製インクフィルム（24m）もお使いになれます。 品名 ：SP-FA524S ※ 使用済みインクフィルムの抜けあとが、見えにくくなります。
電池パック	電池パック-099	コードレス子機用 ニッケル水素電池
記録紙	普通紙 A4	A4サイズ（250枚 1組） ※一般のコピー用紙もお使いいただけます。ただし、本商品を安定した性能でお使いいただくために、次のような記録紙をお使いください。 オーバーコートなど表面処理をしていない普通紙（コピー用紙） サイズ ：A4 厚さ ：0.08mm～0.1mm （500枚包でおおよそ40mm～50mmの厚さ） （この取扱説明書の本ページの厚さが約0.08mmです）

■別売品

より便利にお使いになるための別売品が用意されています。別売品をご利用になるときは、当社サービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

別売品	品名	仕様
増設コードレス電話機セット(※)	2.4Gデジタルコードレス電話機「N1」	子機増設用 色：パールホワイト 漢字表示
充電器	2.4Gデジタルコードレス電話機「N1」 充電器	コードレス電話機用

※：増設用の子機には、充電器と電池パックがセットされています。

子機を増設するとき

増設する子機は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

お求めの際は、必ず子機の品名をご指定ください。📖 「消耗品・別売品のご案内」（本ページ上）

お知らせ

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて合計で3台です。📖 「本書の見かた」（P.11）
- 増設子機を使える状態にするには、増設の操作をしていただく必要があります。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- 子機の増設には工事担当者による登録工事が必要です。お客様ご自身による登録工事は行わないでください。

本商品の登録／設定をお買い求め時に戻したいとき

本商品を廃棄、譲渡などで手放す際は、本商品に登録、記録されたお客様の大事な情報を、全て消去することをおすすめします。登録、記録された情報を全て消去し、お買い求め時の設定に戻すには次の操作をします。

お知らせ

- 外線通話中および親機と子機での内線通話中は操作できません。
- 子機と子機での内線通話中（子機が2台以上のとき）は操作が可能ですが、操作後、再起動するときに内線通話が切れます。

親機

1 [メニュー] [0] を順に押す

出荷時へ戻す

実行／中止

2 [セット] を押す

少しお待ち下さい

中止するときは：

[<] または [>] で [中止] を選び、[セット] を押す。

3 この後、本商品を使わないときは
右のメッセージが表示されてから
電源プラグを抜く

出荷時へ
戻しました

電源に接続したまましばらくすると、本商品が再起動します。このとき、「再起動します」とメッセージが表示されます。

子機

1 [メニュー] を押す

メニュー
◆電話帳登録

[通話] が点灯しているときは：

[切] を押してから [メニュー] を押す。

2 [▲] または [▼] で
「出荷時へ戻す」を選び
[メニュー] を押す

メニュー
◆出荷時へ
戻す

実行
しますか？
◆はい

3 [メニュー] を押す

少しお待ち
ください

中止するときは：

[▲] または [▼] で「いいえ」を選び、[メニュー] を押す。

実行しました

付 録

主な仕様

ファクス

原稿サイズ	最大：210（幅）× 600（長さ）mm 最小：128（幅）× 128（長さ）mm
記録紙サイズ	普通紙 ・ A4 サイズ（210 × 297mm） ・ 厚さ 0.08 ～ 0.1mm
記憶容量*1	A4（700文字程度）の原稿で約 95 枚（最大 10 文書）
有効読取幅	208mm
有効記録幅	205mm
読取方式	CIS による原稿移動型平面走査
走査線密度	主走査 8 画素 /mm 副走査 小さい： 7.7 本 /mm 普通： 3.85 本 /mm
通信モード	G3/ECM
通信速度	9600/7200/4800/2400bit/s
電送時間*2	G3：約 27 秒 ECM：約 15 秒
記録方式	熱転写記録方式
適用回線	・ 一般電話回線 ・ モデムダイヤルイン回線
自動受信	有（電話／ファクス自動切替機能内蔵）
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	待機時：約 3.8W 送信時：約 16W（標準的原稿） 受信時：約 17W（標準的原稿） コピー時：約 26W（標準的原稿） 最大時：約 120W
直流抵抗	110 Ω（20mA）
外形寸法 （アンテナな どの突起部を 除く）	約 297（幅）× 224（奥行）× 111（高 さ）mm 約 297（幅）× 224（奥行）× 207（高 さ）mm（記録紙サポーター使用時） 約 297（幅）× 226（奥行）× 365（高 さ）mm（記録紙カセット使用時）
質量	約 3.0kg（記録紙、インクフィルムを除く）
使用環境	温度：5 ～ 35℃ 湿度：35 ～ 85%
推奨環境	温度：15 ～ 30℃ 湿度：35 ～ 70%

お知らせ

- 本商品の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本商品を設置する場所が、当社の交換機施設から離れていると、使用できないことがあります。当社のサービス取扱所にご相談ください。

コードレス電話

使用可能距離	見通し距離：約 100m
使用周波数帯	2.4～2.4835GHz
〈子機〉	
電源	DC 3.6V（専用ニッケル水素電池使用）
電池充電時間	約 10 時間
電池持続時間	連続待受時：約 300 時間*3 連続通話時：約 6 時間*4
外形寸法	約 44（幅）× 34（奥行）× 159（高さ）mm
質量	約 130g（電池パックを含む）
〈子機充電器〉	（充電端子のない無接点充電方式です。）
外形寸法	約 87（幅）× 87（奥行）× 43（高さ）mm
質量	約 130g（電源コード含む）
消費電力	約 1.0W（充電時）／約 0.3W（充電器のみ）
電源	AC 100V 50/60Hz

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1 件につき 3 分
合計録音時間	約 45 分
最大録音件数	30 件
応答メッセージ	自作：2 固定：1

ネットワーク

インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX
通信プロトコル	TCP/IP,SMTP,POP3,HTTP,DHCP,DNS
利用可能OS	Windows®XP 日本語版（Windows® XP Professional x64 Editionは除く）／ Windows Vista® 正規版（日本語版） （Windows Vista® x64 Editionは除く）
対応ブラウザ	Windows® Internet Explorer® Ver.6.0以上

*1：記憶容量は、留守番電話の応答メッセージや件数、さかのぼり録音、メモリ代行受信などを含む全ての記憶容量となります。

*2：電送時間は、A4判700文字程度原稿を画質モード「普通」（8×3.85本/mm）、通信速度9600bit/sで送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。実際の通信時間は、原稿の内容、相手先の機種、回線の状態により変化します。

*3：待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間が短くなります。また、親機の電源がオフのときも短くなります。

*4：ダブルアクセス（P.90）を「OFF」に設定した場合の連続通話時間です。「ON」に設定した場合は約4時間、「AUTO」にした場合は約4～6時間になります。

操作早わかりガイド

親機

 : 受話器をとる  : 受話器を戻す ○ : ボタンを押す

電話	
電話をかける	 → 相手先番号 → 通話 → 
オンフックでかける	オンフックキャッチ ○ → 相手先番号 →  → 通話 → 
リダイヤルする	 →  → 相手先を選ぶ →  → 通話 → 
電話を受ける	着信音 (ベル) →  → 通話 → 
保留にする	通話中 →  → 
電話に戻る	保留中 →  → 通話
子機で話す	保留中 →  → 通話 → 子機で通話 →  または  切
転送子機へ	外線と通話中 →  → 保留/内線 → 内線番号* → 転送を伝える →  ・子機が出ないときは【保留/内線】ボタンを押します。
〈子機〉	親機からの呼出 →  → 通話 → 親機と通話 → 外線と通話
内線通話	保留/内線 ○ → 内線番号* →  → 子機と通話 → 
〈子機〉	親機からの呼出 →  → 通話 → 親機と通話 →  または  切
電話帳でかける	 →  → 相手先を選ぶ →  → 通話 → 
さかのぼり録音	通話中に操作する 外線と通話中 →  →  電話を切ったから操作する  → 保持時間内に 
録音内容を聞く	再生  → 再生  → ストップ  ・外線と通話中に【再生】を押すと、録音内容や留守電の用件を相手先と一緒に聞けます。

電話	
迷惑電話お断り	着信があった通話のとき →  →  → 
音量調整	ベル音量 待受中 →  →  → 切 → 1 ~ 6 → ステップアップ
	モニタスピーカ音量 オンフックキャッチ ○ →  →  → 切 → 小 → 中 → 大
	受話音量 通話中 →  →  → 小 → 中 → 大
トーン信号を送る	電話をかける →  以後のダイヤルはトーン (プッシュ) 信号で送出される
キャッチホンの利用	外線と通話中 → 「ブルー・ブープ」 →  → 次の人と通話 ↑ 最初の人と通話 ← 
チャイルドロックの一時解除	 2秒以上押す

ファクス/コピー	
送信	原稿セット → 相手先電話番号 →  スタート/コピー
電話帳で送信	原稿セット →  →  → 相手先を選ぶ →  スタート/コピー
手動送信	原稿セット →  → 相手先番号 → 通話 →  → 相手先が受信操作 →  スタート/コピー → 
手動受信	かんたん受信「する」 着信音 (ベル) →  → 「ポーポーポー」 → 「ファクシミリを受信します…」 → 
	かんたん受信「しない」 着信音 (ベル) →  → 「ポーポーポー」 →  スタート/コピー → 
	通話してから受信する 通話中 → 相手先が送信操作 → 「ポーポーポー」 →  スタート/コピー → 
コピー	原稿セット →  →  スタート/コピー →  スタート/コピー

*内線番号 ・親機……………内線1
 ・付属の子機…内線2
 ・増設子機………1台目:内線3*、2台目:内線4
 ・全ての子機を一斉に呼びとぎ…[*]
 (子機を2台以上使用している場合)
 **P-721NDWでは内線3も付属の子機となります。

留守番	
留守の設定/解除	留守
用件の再生	再生 → 再生 ※聞き終えた用件を一度に消去したいときは「用件は以上です」のあと「消去」を押します。
用件の消去	消去したい用件を再生中 → 消去
おやすみモードの設定/解除	おやすみ

ネットワーク機能	
スキャンした画像をメール送信する	<p>原稿セット → → → 相手先を選ぶ →</p> <p>→ → → 「画質」等* →</p> <p>→ → スタートコピー</p> <p>※：「画質」「原稿サイズ」「ファイル形式」「濃度」を選択できます。</p>
メール手動受信	<p> → → 「メール手動受信」を選ぶ → →</p> <p>→ → → →</p> <p>→ → 「プリント（全部）」または「プリント（本文）」を選ぶ → →</p> <p>→ → (プリント済みメールを消去しない場合は、[セット]を押す前に[<]または[>]で「中止」を選んでください。)</p>
手動でメールを受信・プリントする	
メール自動受信	<p> → → 「メール自動受信」を選ぶ → →</p>

子機

↑：充電器からとる ↓：充電器に戻す ○：ボタンを押す

クイック通話がONのとき

電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機をとると【通話】を押さずに相手先と話することができます。

クイック通話がOFFのとき

電話がかかってきたとき、相手先を確認してから、【通話】を押して相手先と話することができます。

(本ガイドは、クイック通話OFFのときの説明です。)

電話	
電話をかける	→ → 相手先番号 → → または →
オンフックでかける	→ 相手先番号 → → → または →
リダイヤルする	→ → → → → または →
電話を受ける	着音音(ベル) → → → → または →
保留にする	通話中 → → または →
電話に戻る	保留中 → → →
親機で話す	保留中 → → 親機で通話
迷惑電話お断り	着音があった通話のとき → → → または →
転送	<p>外線と通話中 → → ① → 転送を伝える → または → </p> <p>・親機が出ないときは【内線】を押し、外線通話に戻ります。</p> <p>〈親機〉 子機からの呼出 → → 子機と通話 → 外線と通話</p> <p>他の子機へ 外線と通話中 → → 内線*番号 → 転送を伝える → または → </p> <p>・子機が出ないときは【内線】を押し、外線通話に戻ります。</p> <p>〈子機〉 子機からの呼出 → → → 転送を受ける → 外線と通話</p>

*内線番号
 ・親機……………内線1
 ・付属の子機…内線2
 ・増設子機………1台目：内線3**、2台目：内線4
 ・全ての子機を一斉に呼びとぎ…【*】
 (子機を2台以上使用している場合)

**P-721NDwでは内線3も付属の子機となります。

電話	
内線通話 親機へ	
<親機>	子機からの呼出 → 子機と通話
他の子機へ	内線* → 子機と通話
<子機>	子機からの呼出 → 子機と通話
電話帳でかける	電話帳 → 相手先を選ぶ → 通話
すばやく探してかける	電話帳 → 該当する行のダイヤルボタンを何度か押し、相手先を表示させる → 通話
さかのぼり録音	外線と通話中 → メニュー → 「録音」を選ぶ → メニュー → 録音
ベル音量	待受中 → 音量調整ダイヤル → 切 → 小 → 中 → 大
音量調整 受話音量	待受中 → 通話 → 音量調整ダイヤル → 音量1 → 音量2 → 音量3 → 音量4 → 通話
モニタスピーカ音量	オフ → 音量調整ダイヤル → 音量1 → 音量2 → 音量3 → 音量4 → 通話
トーン信号を送る	電話をかける → * → 後のダイヤルはトーン（プッシュ）信号で送られる
キャッチホンの利用	外線と通話中 → 「ブループプ」 → キャッチ → 次の人と通話 → キャッチ → 最初の人と通話
チャイルドロックの一時解除	# → 2秒以上押す

*内線番号 親機……内線1 付属の子機…内線2
 ・増設子機……1台目：内線3**、2台目：内線4
 ・全ての子機を一斉に呼ぶとき…[*]（子機を2台以上使用している場合）
 **P-721NDwでは内線3も付属の子機となります。

ファクス	
手動受信 かんたん受信「する」	着信音（ベル） → 通話 → 「ポーポー」 → 「ファクシミリを受信します…」 → または 切
かんたん受信「しない」	着信音（ベル） → 通話 → 「ポーポー」 → 内線 → 6 → または 切
通話してから受信する	通話中 → 相手先が送信操作 → 「ポーポー」 → 内線 → 6

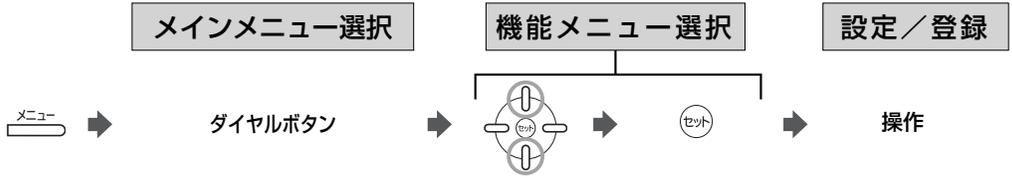
留守番	
設定	待受中 → 「リモコン操作」を選ぶ（下記参照） → 1分以内に7 → または 切
解除	待受中 → 「リモコン操作」を選ぶ（下記参照） → 1分以内に9 → または 切
用件の再生	待受中 → 「リモコン操作」を選ぶ（下記参照） → 1分以内に2 → 再生 → または 切
早送り	用件を再生中 → 3
巻き戻し	用件を再生中 → 1
再生中の用件を消去	用件を再生中 → 8
間き終えた用件を一度に消去	用件を再生 → 「用件は以上です」 → 「ピッピ」 → 6秒以内に8 → または 切

「リモコン操作」の選びかた
 メニュー → 「リモコン操作」が表示されるまでくり返し押す → メニュー → 「リモコン中」と表示される

外出先からの操作（外線リモート）	
本商品に電話をかける	# パスワード # → 操作コード（下記） ———プッシュ回線———
操作コード	<ul style="list-style-type: none"> ・巻き戻し… # 1 # ・留守設定解除… # 9 # ・用件再生… # 2 # ・用件消去… # 8 # ・早送り… # 3 # ・留守設定… # 7 #

機能設定 / 登録早見表

<手順>



メインメニュー	機能メニュー	設定 / 登録 (<input type="text"/> はお買い求め時の状態です)	参照ページ
① 初期設定	日付・時刻	年月日と時刻の設定	P.27
	回線種別	PB、 <input type="text"/> DP、自動回線選択	P.26
	表示濃度	■□□□、■■□□□、 <input type="text"/> ■■■□□、■■■■□、■■■■■	P.85
	自分の電話番号	自分の電話番号 (最大20桁) を登録する	P.59
	発信元記録	<input type="text"/> する、 <input type="text"/> しない	P.60
	発信元登録	自分の名前 (最大40文字) を登録する	P.59
	キータッチトーン	<input type="text"/> する、 <input type="text"/> しない	P.85
	チャイルドロック	する、 <input type="text"/> しない	P.86
	Web ログイン設定	する、 <input type="text"/> しない、ログインユーザ名 (最大半角英数字10文字 : <input type="text"/> user)、ログインパスワード (最大半角英数字10文字 : <input type="text"/> password)	P.112
② 電話機能	ベル音・メロディ	<input type="text"/> ベル (標準)、ベル (鳴り分け)、メロディ (A~C)	P.87
	着信モード	<input type="text"/> 電話 / ファクス切替、 <input type="text"/> ファクス専用、 <input type="text"/> 電話専用	P.84
	着信ベル回数	0~19回、 <input type="text"/> 6回	P.87
	呼出ベル回数	1~19回、 <input type="text"/> 10回	P.88
	携帯通話設定	する、 <input type="text"/> しない、事業者識別番号 (最大10桁) の登録	P.53
	IP電話解除	する、 <input type="text"/> しない、IP電話解除番号 (最大16桁) の登録	P.54
	保留メロディ	<input type="text"/> 聖者の行進、 <input type="text"/> 茶色の小瓶	P.88
	電話帳転送	親機の電話帳を子機に転送する (一斉転送、個別転送)	P.44
	WIFI BAND	設定1、 <input type="text"/> 設定2、設定3、設定4	P.84
③ ファクス機能	ファクスかんたん受信	<input type="text"/> する、 <input type="text"/> しない	P.61
	海外通信	する、 <input type="text"/> しない	P.60
	不達レポート	<input type="text"/> する、 <input type="text"/> しない	P.61
	受信縮小率	85%、90%、 <input type="text"/> 93%、100%	P.63
	分割記録	<input type="text"/> する、 <input type="text"/> しない	P.63
	ダイヤルトーン検出	する、 <input type="text"/> しない	P.60
	メモリ代文書消去	メモリ代行受信したファクス受信文書を消去する	P.62
	受信ファクスの扱い	<input type="text"/> プリント、 <input type="text"/> PCへ転送、 <input type="text"/> Web閲覧	P.111
		以下は受信ファクスの扱いを「PC転送」に設定した場合のみ	
		<input type="text"/> 転送先にするパソコンを設定する	P.111
	ファクス to メール転送	する、 <input type="text"/> しない	P.109
転送先メールアドレス	転送先のメールアドレス (最大英数字 / 記号50文字) を登録する	P.109	
④ 留守番電話機能	全用件消去	全ての用件を消去する	P.65
	応答メッセージ録音	応答メッセージの録音 (応答メッセージ1・応答メッセージ2)	P.65
	応答メッセージ消去	応答メッセージの消去 (応答メッセージ1・応答メッセージ2)	P.66
	トールセイバ	する、 <input type="text"/> しない	P.68
	リモート操作	する、 <input type="text"/> しない、リモートパスワード (4桁) の登録	P.66

メインメニュー		機能メニュー	設定／登録 (<input type="checkbox"/> はお買い求め時の状態です)	参照ページ
④ 留守番電話機能		おやすみタイム切替	おやすみ開始タイム：する、 <input type="checkbox"/> しない、おやすみ開始時刻の設定 おやすみ終了タイム：する、 <input type="checkbox"/> しない、おやすみ終了時刻の設定	P.69
		さかのぼり録音	<input type="checkbox"/> する、 <input type="checkbox"/> しない、保持時間の設定 (<input type="text" value="0分"/> 、5分、無制限)、 自動録音モード1 (<input type="checkbox"/> しない、みんな録音、非通知録音)、 自動録音モード2 (<input type="checkbox"/> しない、迷惑電話録音)	P.50
⑤ ナンバー・ディスプレイ		ナンバー・ディスプレイ	<input type="checkbox"/> する、 <input type="checkbox"/> しない	P.70
		以下はナンバー・ディスプレイを「する」に設定した場合のみ		
		鳴分&プライベートコール	着信鳴り分け指定 (<input type="checkbox"/> 指定なし、ベル (標準)、 ベル (鳴り分け)、メロディ (A~C))、 プライベートコール指定 (<input type="checkbox"/> すべて、内線番号*)	P.72
		とくていコール	する、 <input type="checkbox"/> しない 電話帳設定： <input type="checkbox"/> 電話帳すべて、電話帳個別 公衆・圏外設定： <input type="checkbox"/> なし、公衆電話、表示圏外、公衆&圏外	P.73
		番号リクエスト	する、 <input type="checkbox"/> しない	P.74
		着信拒否	<input type="checkbox"/> する、 <input type="checkbox"/> しない	P.75
		公衆電話	する、 <input type="checkbox"/> しない	P.76
		表示圏外	する、 <input type="checkbox"/> しない	P.76
		着信拒否リスト設定	着信拒否リスト (最大 20 件) の登録、確認	P.75
		応答メッセージ選択	する、 <input type="checkbox"/> しない	P.72
		キャッチホン	する、 <input type="checkbox"/> しない	P.79
		ダイヤルイン	する、 <input type="checkbox"/> しない	P.81
			以下はダイヤルインを「する」に設定した場合のみ	
		<input type="checkbox"/> ファクス専用 (する、 <input type="checkbox"/> しない)、 ファクスと親機の番号 (4桁) の登録、 共通鳴動 (する、 <input type="checkbox"/> しない)、 子機用番号 (4桁) の登録	P.81	
⑥ リストプリント		電話番号リスト	親機の電話番号リストをプリントする	P.89
		着信データリスト	親機に記録された着信データをプリントする	P.89
		システムリスト	各種設定内容をプリントする	P.89
		通信管理レポート	通信管理レポートをプリントする	P.89
		メールアドレス リスト	メールアドレスリストをプリントする	P.89
⑦ ネットワーク設定		IPアドレス設定		P.92
		DHCPを使用	<input type="checkbox"/> する、 <input type="checkbox"/> しない	P.92
		以下はDHCPを使用「する」に設定した場合のみ		
		DNS設定	手動、 <input type="checkbox"/> 自動	P.92
		以下はDNS設定を「手動」に設定した場合のみ		
			DNSサーバ1、DNSサーバ2のアドレスを設定する	P.92
		以下はDHCPを使用「しない」に設定した場合のみ		
			本商品のIPアドレスを設定する、 サブネットマスクを設定する、 ゲートウェイを設定する、 DNSサーバ1、DNSサーバ2のアドレスを設定する	P.92
		IPアドレス表示	IPアドレスを表示する	P.93
		MACアドレス表示	MACアドレスを表示する	P.93
	装置名	装置名 (最大英数字20文字) を変更する	P.93	
	PC送信設定	送信先のパソコンを手動で設定する (3件まで)	P.110	

* 内線番号 ・ 親機……………内線 1 ・ 付属の子機…内線 2 ・ 増設子機……1 台目：内線 3**、2 台目：内線 4

**P-721NDw では内線 3 も付属の子機となります。

メインメニュー		機能メニュー	設定／登録 (<input type="text"/> はお買い求め時の状態です)	参照ページ
⑦	ネットワーク設定	PC送信ポート番号	<input type="text" value="25"/> , 10025、20025、30025、40025、50025、60025	P.102.※
		ネットワーク修復	ネットワークを修復する	P.93
		エラー表示設定	<input type="text" value="する"/> , しない	P.93
		最新のエラー番号	最新のエラー番号を表示する	P.93
⑧	メール基本設定	送信元メールアドレス	自分のメールアドレス (最大英数字／記号50文字) を登録する	P.95
		SMTPアドレス	SMTPサーバのアドレス (最大英数字／記号50文字) を設定する	P.95
		POP3アドレス	POP3サーバのアドレス (最大英数字／記号50文字) を設定する	P.95
		POP3ユーザ名	POP3サーバのユーザ名 (最大英数字／記号50文字) を設定する	P.96
		POP3パスワード	POP3サーバのパスワード (最大英数字／記号32文字) を設定する	P.96
⑨	メールオプション	メール送信設定		P.96
		送信前に受信	する、 <input type="text" value="しない"/>	P.96
		SMTP認証	する、 <input type="text" value="しない"/>	P.96
			以下はSMTP認証を「する」に設定した場合のみ	
			SMTP認証のユーザ名 (最大英数字／記号50文字) と、SMTP認証のパスワード (最大英数字／記号32文字) を設定する	P.97
		SMTPポート番号	任意のポート番号 (1～65535、 <input type="text" value="25"/>) を設定する	P.97
		メール表題		P.97
		メール表題編集	する、 <input type="text" value="しない"/>	P.97
			以下はメール表題編集を「する」と選択した場合のみ	
			送信メールのタイトル (件名) (最大全角20文字) を登録する <input type="text" value="ファイルを送ります"/>	P.97
		メール本文		P.97
		メール本文編集	する、 <input type="text" value="しない"/>	P.97
			以下はメール本文編集を「する」と選択した場合のみ	
			メール本文に挿入するテキスト (最大全角50文字) を登録する <input type="text" value="このメールには、画像データが添付されています"/>	P.97
		メール受信設定		P.97
		APOP認証	する、 <input type="text" value="しない"/>	P.99
		POP3ポート番号	任意のポート番号 (1～65535、 <input type="text" value="110"/>) を設定する	P.99
		自動到着確認	する、 <input type="text" value="しない"/>	P.98
			以下は自動到着確認を「する」と選択した場合のみ	
			到着確認間隔 (5～90分、 <input type="text" value="10分"/>) の設定、 自動プリント (する、 <input type="text" value="しない"/>)、	P.98
自動プリント		P.98		
プリント後消去	する、 <input type="text" value="しない"/>	P.98		
メールフィルタを使用	する、 <input type="text" value="しない"/>	P.98		
ヘッダプリント	<input type="text" value="する"/> , しない	P.99		
プリント縮小率	100%、 <input type="text" value="93%"/> , 90%、85%	P.99		
プリント分割	<input type="text" value="する"/> , しない	P.99		
メール表示順序	<input type="text" value="昇順"/> , 降順	P.99		
メールフィルタ リスト設定	登録、確認	P.100		
	以下はメールフィルタリスト設定で「登録」を選択した場合のみ			
	メールフィルタリストにメールアドレスを登録する (20件まで)	P.100		
⑩	出荷時へ戻す	記憶した情報 (登録した内容や録音された用件など) を消去する	P.132	

※ : ネットワークガイドをご覧ください。🔗 「ネットワークガイドの開きかた」 (P.103)

索引

英数字

30 秒スキップ再生.....	38
ADSL 回線.....	24
APOP 認証.....	99
F ネット (ファクシミリ通信網サービス).....	64
IP アドレス.....	92
IP 電話.....	25、54
IP 電話解除番号.....	54
LAN ケーブル.....	20、25
LAN 端子.....	15
MAC アドレス.....	93
PC 送信設定.....	110
PC 送信ポート番号.....	102
POP3 サーバアドレス.....	96
POP3 サーバパスワード.....	96
POP3 サーバユーザ名.....	96
POP3 ポート番号.....	99
Q&A.....	115
SMTP アドレス.....	95
SMTP 認証.....	96
SMTP 認証パスワード.....	97
SMTP 認証ユーザ名.....	97
SMTP ポート番号.....	97
Web ログイン設定.....	112
WIFI BAND (ワイファイ バンド).....	10、84

ア行

アース接続.....	24
アース端子.....	15、24
安全にお使いいただくために.....	2
アンテナ.....	15
アンテナの調整.....	21
インクフィルム	
交換.....	126
残量の表示.....	19
保管.....	131
インストール (ユーティリティソフト).....	101
絵表示 (ディスプレイ表示).....	19
エラー番号.....	93、94
えらべる受信スタイル.....	28
応答メッセージ	
選択.....	66、72
録音/消去.....	65、66
オートリダイヤル.....	34
お手入れのしかた.....	126
インクフィルム押さえ部の お掃除.....	129
親機/子機の外装のお掃除.....	129
原稿送り用ローラ/ 記録ローラのお掃除.....	129
原稿読み取り部のお掃除.....	129
ゴム板のお掃除.....	129
おやすみモード.....	68
おやすみモードタイマ切替.....	69
オンフックダイヤル.....	41
音量調整.....	55

カ行

海外へ送るとき (ファクス).....	60
外出先から操作する (外線リモート).....	66
外出先から用件の再生.....	67
外出先から留守設定をする.....	67
回線種別を設定する.....	26
外線転送.....	48
外線リモート.....	66
外線リモート操作.....	68
かんたん登録.....	77
キータッチトーン.....	85
機能設定/登録早見表.....	138
キャッチホン.....	79
キャッチホン・ディスプレイ.....	79
共通鳴動.....	82
記録紙	
おすすめする記録紙.....	27
記録紙づまり.....	113、114
セット.....	27
保管.....	131
記録紙力セット.....	15、28
記録紙サポーター.....	15、28、29
記録紙セットレバー.....	15、28、29
記録紙挿入口.....	15、29
記録紙挿入口カバー.....	15
記録紙排出口.....	15
クイック通話.....	32
携帯通話設定.....	53
原稿	
画質.....	58
原稿セットのしかた.....	33
原稿づまり.....	113、114
読み取り濃度.....	58
読み取れる原稿のサイズ/ 読み取れる範囲.....	33
原稿セットガイド.....	33
原稿挿入口カバー.....	15
原稿排出口.....	15
コールバック.....	77
子機	
キータッチトーンの設定.....	85
子機から子機にかける.....	49
充電.....	22
充電器.....	18、20、22
受話音.....	56
使用できる範囲.....	21
スピーカの音量.....	56
増設子機.....	132
電池パックの交換.....	128
電池パックの取り付け.....	22
電波に関するご注意.....	10
電話帳の登録.....	45
ベルの音量.....	55
固定応答メッセージの種類.....	36
固定電話から携帯電話への 通話サービスを簡単に使う.....	53
コピー.....	33、34
コピーが禁止されているもの.....	34

サ行

再生音 (スピーカ) の音量.....	56
再ダイヤル (リダイヤル).....	41
さかのぼり録音.....	50
自動録音モード.....	50
保持時間.....	50
さかのぼり録音ランプ.....	51
事業者識別番号.....	53
時刻を設定する.....	23、26、27
自分の名前や電話番号.....	59
充電 (子機の充電).....	22
充電器.....	18、20、22
縮小率.....	63
受信	
自動受信.....	39、40
縮小率.....	63
手動受信.....	57
ファクスかんたん受信.....	61
分割記録.....	63
メモリ代行受信.....	62
受話音.....	56
受話器.....	15
受話器端子.....	15、25
受話器の取り付け.....	25
受話器用コード.....	15、25
仕様.....	134
消耗品.....	132
スキャン to パソコン.....	109
スキャン to メール.....	104
ステップアップ着信音量.....	55
スペース (設置する場所).....	21
接続.....	24
ADSL 回線.....	24
IP 電話機能付き機器.....	25
ISDN 回線.....	24
アース.....	24
電源.....	25
電話回線.....	25
ひかり回線.....	24
設置する場所.....	21
設定	
APOP 認証.....	99
IP アドレス設定.....	92
PC 送信設定.....	110
PC 送信ポート番号.....	102
SMTP 認証.....	96
Web ログイン設定.....	112
WIFI BAND (ワイファイ バンド).....	84
エラー表示設定.....	93
応答メッセージの選択.....	72
おやすみモードタイマ切替.....	69
海外通信.....	60
回線種別.....	26
画質.....	58
キータッチトーン.....	85
キャッチホン・ディスプレイ.....	79
クイック通話.....	32
携帯通話設定.....	53
さかのぼり録音.....	50
時刻設定.....	23、26、27
自動到着確認.....	98
自動プリント.....	98

受信縮小率.....	63
受信ファクスの扱い.....	111
送信前に受信.....	96
ダイヤルイン.....	81
ダイヤルトーン検出.....	60
ダブルアクセス.....	90
チャイルドロック.....	86
着信拒否.....	75
着信鳴り分け.....	72
着信ベル回数.....	87
電話専用(着信モード).....	84
電話/ファクス切替 (着信モード).....	84
トールセイバ.....	68
とくていコール.....	73
ナンバー・ディスプレイ.....	70
発信元記録.....	60
番号リクエスト.....	74
表示濃度(ディスプレイ).....	85
ファクス to メール転送.....	108
ファクスかんたん受信.....	61
ファクス専用(着信モード).....	84
不達レポート.....	61
プライベートコール.....	72
プリント後消去.....	98
プリント縮小率.....	99
プリント分割.....	99
分割記録.....	63
ヘッダプリント.....	99
ベルの音色/メロディ.....	87
保留メロディ.....	88
メール表示順序.....	99
メールフィルタを使用.....	98
呼出ベル回数.....	88
読み取り濃度.....	58
リモート操作.....	66
留守設定.....	35
操作ができなくなったとき.....	115
操作パネル.....	15、16
操作パネル確認.....	114
操作パネル開ボタン.....	15
操作早わかりガイド.....	135
送信	
海外へ送るとき(ファクス).....	60
自動送信.....	34
手動送信.....	57

タ行

ダイヤル回線.....	26
ダブルアクセス.....	10、90
端子	
アース端子.....	15、24
電話回線端子.....	15
チャイルドロック.....	86
着信拒否	
設定/登録/確認/消去.....	75
着信データ	
コールバック.....	77
消去.....	76
着信データを使って	
電話をかける.....	77
着信データを電話帳に	
登録する.....	77

表示.....	76
留守中に受けた電話を 確認する.....	78
着信鳴り分け.....	72
着信ベル.....	40、87
着信モード.....	84
直接配線.....	24
通信異常.....	114
通話圏外.....	10
通話時間表示.....	19
通話の内容を録音する.....	50
ディスプレイ表示(絵表示).....	19
表示濃度.....	85
停電したとき.....	115
電源コード.....	15
電源の接続.....	25
転送.....	48
電池バック.....	20、128
電池バックの取り付け.....	22
電池バックを交換する.....	128
電話	
受ける.....	39
かける.....	31
電話回線	
電話回線を接続する.....	25
電話機コード.....	20
電話回線端子.....	15
電話専用(着信モード).....	84
電話帳.....	47
登録.....	42、45
電話帳転送.....	44
電話/ファクス切替 (着信モード).....	84
電話用コンセント.....	24
登録	
IP 電話解除番号.....	54
POP3 サーバアドレス.....	96
POP3 サーバパスワード.....	96
POP3 サーバユーザ名.....	96
POP3 ポート番号.....	99
SMTP アドレス.....	95
SMTP 認証パスワード.....	97
SMTP 認証ユーザ名.....	97
SMTP ポート番号.....	97
親機の電話帳.....	42
子機の電話帳.....	45
事業者識別番号.....	53
自分の電話番号.....	59
送信元メールアドレス.....	95
装置名.....	93
着信拒否.....	75
着信データ.....	77
転送先メールアドレス.....	109
発信元.....	59
メール表題.....	97
メールフィルタリスト.....	100
メール本文.....	97
リダイヤルデータ.....	46
リモートパスワード.....	66
ログインパスワード.....	112
ログインユーザ名.....	112
登録/設定をお買い求め時に 戻す.....	132
トールセイバ.....	68

トーン信号(プッシュ信号).....	56
とくていコール.....	73

ナ行

内線通話.....	49
内線番号.....	48
ナンバー・ディスプレイ.....	70
相手の表示.....	71
キャッチホン・ ディスプレイ.....	79
コールバック.....	77
自作の応答メッセージを使う.....	72
着信拒否の設定/登録/確認/ 消去.....	75
着信データの表示/消去.....	76
着信データを電話帳に	
登録する.....	77
着信データをプリントする.....	89
着信鳴り分け/ プライベートコール.....	72
電話番号を通知する/ 非通知にする.....	72
とくていコール.....	73
番号リクエスト.....	74
迷惑電話を着信拒否リストに 登録する.....	53、75、77
留守録着信データ.....	78
ネーム・ディスプレイ.....	71
ネットワークガイド.....	103
ネットワーク機能.....	91
受信したメールを	
プリントする.....	106
スキャンした画像をパソコンに 保存する.....	109
ネットワークガイド.....	103
ネットワークの設定.....	92
パソコンで設定や 閲覧をする.....	112
ファクス受信文書をパソコンに 保存する.....	111
ファクス受信文書を	
メール送信する.....	108
メール受信設定.....	97
メール送信設定.....	96
メールの設定.....	95
メールフィルタリスト.....	100
メールを送信する.....	104
ユーティリティソフト.....	101
ネットワーク修復.....	93

ハ行

バックライト.....	19
発信元記録.....	60
番号リクエスト.....	74
ピクト(ディスプレイ表示).....	19
非通知の相手に番号通知を お願いする.....	74
ファクシミリ通信網サービス (F ネット).....	64
ファクス	
受ける.....	39、57
送る.....	33、34、57

ファクス to パソコン.....	111
ファクス to メール転送.....	108
ファクスかんたん受信.....	61
ファクス専用 (着信モード).....	84
不達レポート.....	61
ブッシュ回線.....	26
ブッシュ信号 (トーン信号).....	56
プライベートコール.....	72
プラグ式.....	24
ランチ接続.....	24
プリント	
システムリスト.....	89
着信データリスト.....	89
通信管理レポート.....	89
電話番号リスト.....	89
不達レポート.....	61
分割記録.....	63
メール to プリント.....	106
メールアドレスリスト.....	89
メモリ代行受信.....	62
ベル	
着信ベル.....	40、87
ベル音の音量.....	55
ベルの音色やメロディ.....	87
呼出ベル.....	40、87、88
ポーズ.....	17
保守サービスのご案内.....	147
保留.....	47
保留メロディ.....	88

マ 行

迷惑電話お断り.....	53
メール to プリント.....	106
自動プリント.....	106
手動プリント.....	107
メッセージ	
固定の応答メッセージ.....	36
自作の応答メッセージ.....	65
メニューの使いかた.....	17
メモリ	
メモリ代行受信.....	62
メモリに蓄積した	
ファクス受信文書の消去.....	62
メモリ容量	
(記憶容量).....	120、134
メロディ	
ベルの音色やメロディ.....	87
保留メロディ.....	88
文字入力	
親機.....	144、145
子機.....	146
文字入力一覧表.....	144、146
モデムダイヤルイン.....	81
モニタ	
モニタ音 (スピーカ) の音量.....	56
モニタスピーカ.....	15

ヤ 行

ユーティリティソフト	
(インストール).....	101

用件を消す.....	37、65
読み取り	
画質.....	58
原稿のサイズ.....	33
読み取り濃度.....	58
読み取れる範囲.....	33

ラ 行

リダイヤル (再ダイヤル).....	41
オートリダイヤル.....	34
電話帳に登録する.....	46
リモート	
外線リモート.....	66
外線リモート操作.....	68
リモート操作を設定する.....	66
リモートパスワードの登録.....	66
留守設定.....	35、67
留守設定の解除.....	36、68
留守番電話.....	35、65
外出先から用件を再生する.....	67
外出先から留守設定をする.....	67
消去する.....	37、65
通話中に用件を再生する.....	53
用件を聞く.....	37
留守録着信データ.....	78
レポート	
通信管理レポート.....	89
不達レポート.....	61
録音	
応答メッセージを録音する.....	65
さかのぼり録音.....	50
残量の表示.....	19

文字入力について

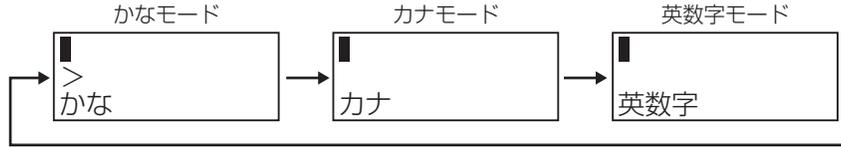
文字はダイヤルボタンで入力します。電話帳の相手先の名前など文字を入力する操作のときに、ダイヤルボタンを押すと文字や記号が表示されます。

ダイヤルボタンには50音の各行の最初の文字が記されています。同じボタンを何度か押すとその行の文字が順番に表示されます。さらに押すと数字や英字、記号が表示されます。表示された文字がそのまま入力されます。

親機

[カナ/英] を押すごとに、入力モードが切り替わります。

例：電話帳の相手先の名前を入力する場合



文字入力一覧表

ダイヤルボタン	かなモード										カナモード													
①	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ				
②	か	き	く	け	こ	カ	キ	ク	ケ	コ														
③	さ	し	す	せ	そ	サ	シ	ス	セ	ソ														
④	た	ち	つ	て	と	っ	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ												
⑤	な	に	ぬ	ね	の	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ														
⑥	は	ひ	ふ	へ	ほ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ														
⑦	ま	み	む	め	も	マ	ミ	ム	メ	モ														
⑧	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ												
⑨	ら	り	る	れ	ろ	ラ	リ	ル	レ	ロ														
⑩	わ	を	ん	。	、	-	()	?	!	[]	ワ	ヲ	ン	。	、	-	()	?	!	[]
#	ゝ	゜																						

ダイヤルボタン	英数字モード1										英数字モード2																													
①	1	-	.	&							1	-	.	&																										
②	A	B	C	2							a	b	c	A	B	C	2																							
③	D	E	F	3							d	e	f	D	E	F	3																							
④	G	H	I	4							g	h	i	G	H	I	4																							
⑤	J	K	L	5							j	k	l	J	K	L	5																							
⑥	M	N	O	6							m	n	o	M	N	O	6																							
⑦	P	Q	R	S	7						p	q	r	s	P	Q	R	S	7																					
⑧	T	U	V	8							t	u	v	T	U	V	8																							
⑨	W	X	Y	Z	9						w	x	y	z	W	X	Y	Z	9																					
⑩	0	（スペース）	()	*	#	0	（スペース）	()	*	#	:	:	/	?	!																							
#													@	,	^	_	"	\$	%	'	+	<	=																	
													>	[¥]	'	{		}	~																			

お知らせ

- かなモード、カナモードの太線で囲まれた記号は、「メール表題」「メール本文」入力時のみ使用可能です。
- メールアドレス入力時とネットワーク機能操作時には英数字モード2を、それ以外の英数字入力時には英数字モード1を参照してください。
- メールアドレスおよびネットワーク機能操作時の入力画面には全角英数字/記号が表示されますが、半角英数字/記号として登録されます。
 - ・「」（バッククォート）を入力する場合は「'」を入力してください。（※1）
 - ・「」（チルダ）を入力する場合は「~」を入力してください。（※2）

文字入力のしかた

入力例：「友人」と入力する場合

1 ⑧を2回押す

>かな

2 ①を3回押す

>ゆうかな

3 ③を2回押す

>ゆうじかな

4 ④を押す

>ゆうじかな

5 ⑨を3回押す

>ゆうじんかな

6 [変換]を押して漢字に変換する

>友人かな 1/1

7 [セット]を押す

友人
>
かな

同じ行の文字を続けて入力する場合は：

カーソルを右に移動してからダイヤルボタンを押す。

カーソル（入力位置）を移動するには：

[<] または [>] を押す。

文字の消去方法：

カーソルを消去したい文字に合わせて [消去] を押すと、カーソルの文字が消去されます。

入力を間違えたときは：

修正する文字を消去し、入力し直します。

画面の右下に変換候補数が表示されます。

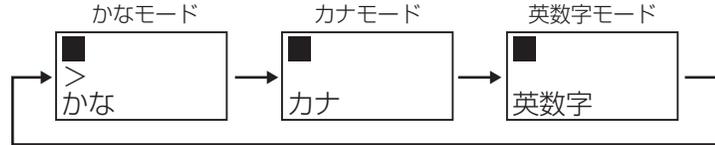
他の変換候補を表示するときは：

[▲] または [▼] を押します。

子機

【カナ／英】を押すごとに、入力モードが切り替わります。

例：電話帳の相手先の名前を入力する場合



文字入力一覧表

ダイヤルボタン	かなモード	カナモード (半カナモード)	英数字モード (半英数字モード)
①あ	あ い う え お	ア イ ウ エ オ	1 ー . &
②か	か き く け こ	カ キ ク ケ コ	A B C 2
③さ	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ	D E F 3
④た	た ち つ て と	タ チ ツ テ ト	G H I 4
⑤な	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ	J K L 5
⑥は	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ	M N O 6
⑦ま	ま み む め も	マ ミ ム メ モ	P Q R S 7
⑧や	や ゆ よ や ゆ よ	ヤ ユ ヨ ヤ ユ ヨ	T U V 8
⑨ら	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ	W X Y Z 9
⑩わ	わ を ん 。 、 -	ワ ヲ ン 。 、 -	0 (スペース) () * #
#	ゝ 。	ゝ 。	

お知らせ ●半カナモードで⑩わを押すと、「。」は「.」、「、」は「,」で入力されます。

文字入力のしかた

入力例：「友人」と入力する場合

1 ⑧やを2回押す

>かな

2 ①あを3回押す

>ゆかな

3 ③さを2回押す

>ゆうかな

4 #を押す

>ゆうかな

5 ⑩わを3回押す

>ゆうじんかな

6 [変換]を押して漢字に変換する

>友人
かな 01/01

7 [メニュー]を押す

友人
>かな

同じ行の文字を続けて入力する場合は：

カーソルを右に移動してからダイヤルボタンを押す。

カーソル (入力位置) を移動するには：

[<] または [>] を押す。

文字の消去方法：

カーソルを消去したい文字に合わせて [保留 消去] を押すと、カーソルの文字が消去されます。全ての文字を消去するには、[保留 消去] を2秒以上押しします。

入力を間違えたときは：

修正する文字を消去し、入力直します。

画面の右下に変換候補数が表示されます。

他の変換候補を表示するときは：

[▲] または [▼] を押しします。

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

受付時間 24時間365日

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受け付けしており、順次ご対応いたします。

※故障修理などの受付時間：9:00～17:00

- 修理時に、本商品に登録された電話帳などのデータが消失する場合がありますが、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

登録した電話帳などの重要な情報は、修理を依頼する前にプリントしたりメモして保管してください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

- 本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

 0120-970413

（03-5667-7100※）

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります

受付時間 9:00～21:00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

- 本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

 0120-109217

※PHS・携帯電話・050IP電話からのご利用は

東海、北陸、近畿、中国、四国地区

06-6341-5411（通話料がかかります）

九州地区

092-720-4862（通話料がかかります）

受付時間 9:00～21:00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使いかたなどでご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

 0120-970413

(03-5667-7100※)

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります

受付時間 9:00~21:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

 0120-109217

※PHS・携帯電話・050IP電話からのご利用は

東海、北陸、近畿、中国、四国地区

06-6341-5411（通話料がかかります）

九州地区

092-720-4862（通話料がかかります）

受付時間 9:00~21:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2007 NTEAST・NTTWEST



本2897-1(2007.10)
G3-<P721NDW/P721ND>-FAXH地
AM1-000690-001